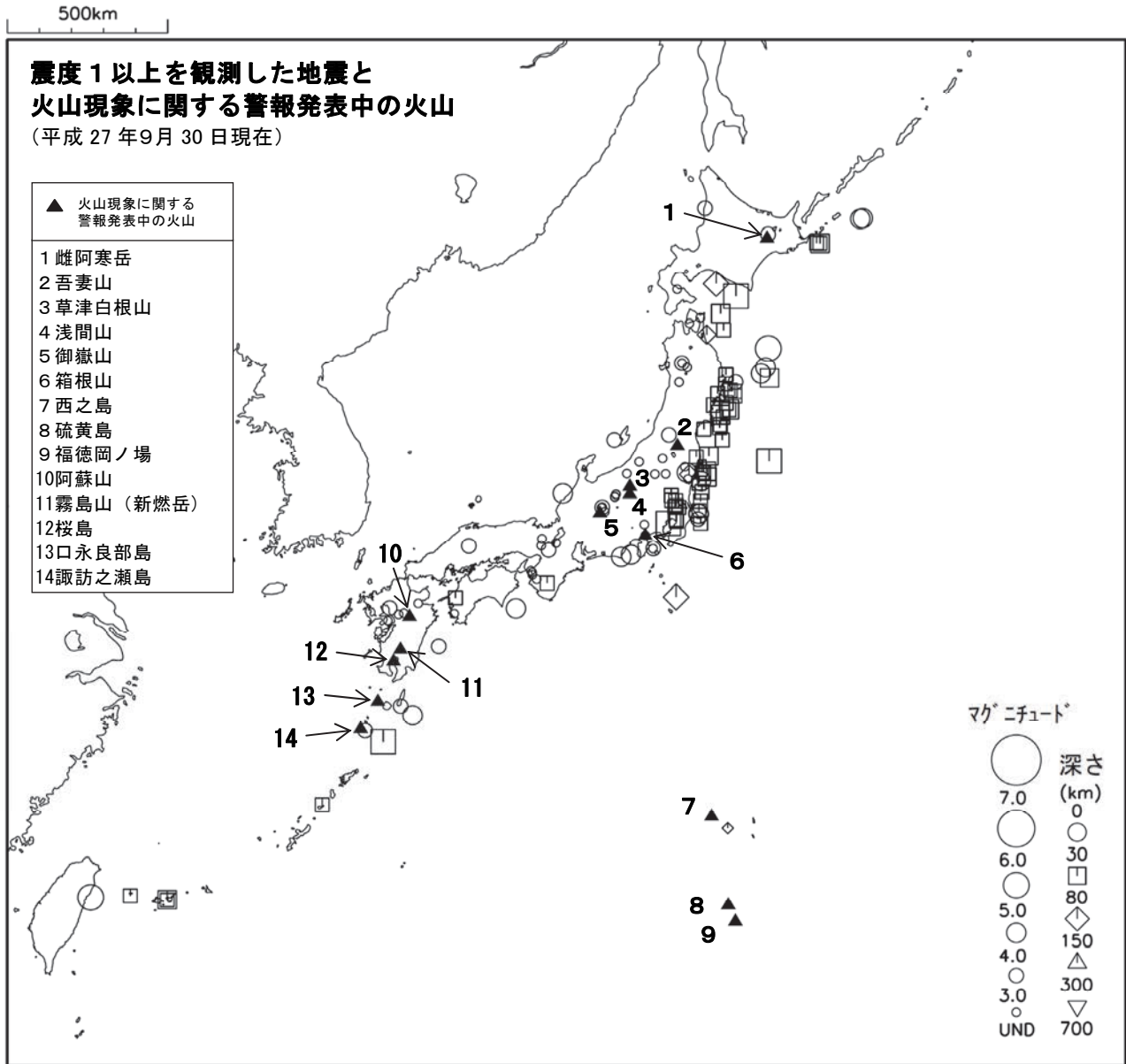


平成 27 年 9 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

September 2015



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行しているものである。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 平成 27 年 9 月 30 日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の 47 都道府県、8 政令指定都市。

注** 平成 27 年 9 月 30 日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、IRIS の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□ 本書利用上の注意

・ 震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・ 発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・ 発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・ Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・ M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・ 震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1 月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・ 震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・ 地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・ 火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・ 本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・ 図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	6
東北地方の地震活動	8
関東・中部地方の地震活動	10
近畿・中国・四国地方の地震活動	14
九州地方の地震活動	15
沖縄地方の地震活動	17
その他の地域の地震活動	18
● 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果	19
● 日本の主な火山活動	31
北海道地方	33
東北地方	34
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	34
九州地方及び南西諸島	37
資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ	41
● 世界の主な地震	45
● 世界の主な火山活動	47
● 特集 2015 年 9 月 17 日 チリ中部沿岸の地震	48
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	55
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	75
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	76
4. 緊急地震速報の提供状況	77
5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	78
● 正誤表	79

●日本及びその周辺での主な地震活動

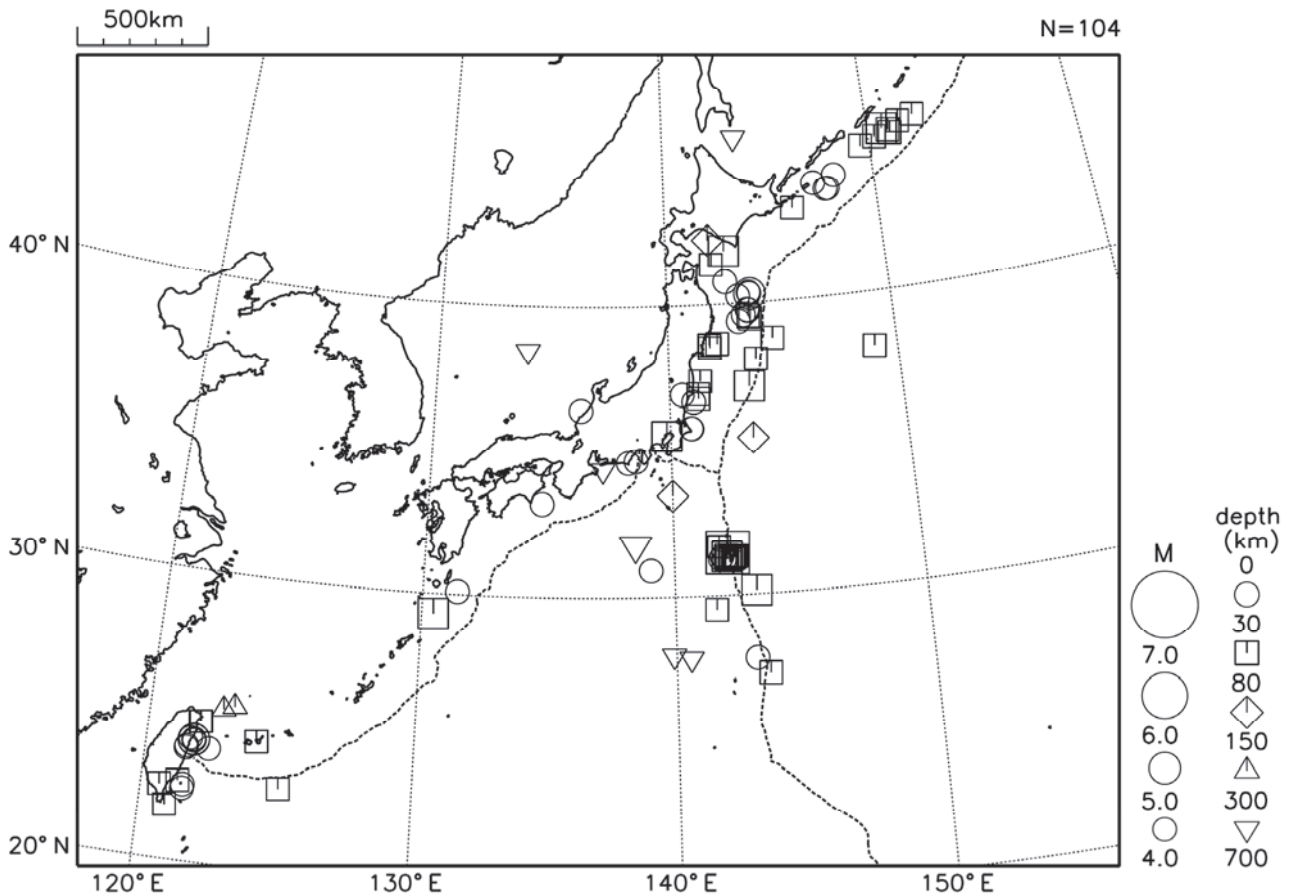


図 1 平成 27 年 9 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

9 月 12 日 05 時 49 分に東京湾で M5.2 の地震が発生した。この地震により、東京都調布市で最大震度 5 弱を観測したほか、関東地方を中心に、東北地方から中部地方にかけて震度 4～1 を観測した。この地震により、負傷者 7 人の被害を生じた（総務省消防庁による）。

平成 27 年（2015 年）9 月に日本国内で震度 1 以上を観測した地震の回数は 130 回（8 月は 165 回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 104 回（8 月は 80 回）であった。

9 月中に発生した主な地震を表 1（次ページ）に示す。9 月中に震度 5 弱以上を観測した地震は 1 回であった。津波を観測した地震（海外で発生）は 1 回であった。（8 月は震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった）。

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震は次第に少なくなってきているものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な活動が継続している。9 月中に発生した M5.0 以上の地震の回数は 2 回（8 月は 5 回）であった。

9 月 17 日 07 時 54 分（日本時間）にチリ中部沿岸*で Mw8.3（Mw は気象庁 CMT 解によるモーメントマグニチュード）の地震が発生し、気象庁は北海道から沖縄県にかけての太平洋沿岸等に津波注意報を発表した。この地震により北海道から沖縄県にかけての太平洋沿岸等で津波を観測した。

※情報発表に用いた震央地名は「チリ中部沖」である。

表 1 平成 27 年 9 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等 (注 5)	掲載 ページ
1	9 2 0 25	鳥島近海	6.1	5.9	M . . .	震度 1 以上を観測した地点なし	11
2	9 4 13 49	奄美大島北東沖	5.3	5.3	3 : 鹿児島県 鹿児島十島村諏訪之瀬島*	4、16
3	9 8 20 22	駿河湾	4.6	4.4	3 : 静岡県 伊豆市中伊豆グラウンド など 1 県 14 地点	4、12
4	9 12 5 49	東京湾	5.2	5.0	. H S .	5 弱 : 東京都 調布市西つつじヶ丘* 被害 : 負傷者 7 人	4、13
5	9 12 22 38	浦河沖	5.4	5.5	. . S .	4 : 北海道 浦河町築地* など 1 道 3 地点	5、7

(注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

(注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

(注 3) M_w欄の「-」はM_wが求められていないことを示す。

(注 4) M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

(注 5) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

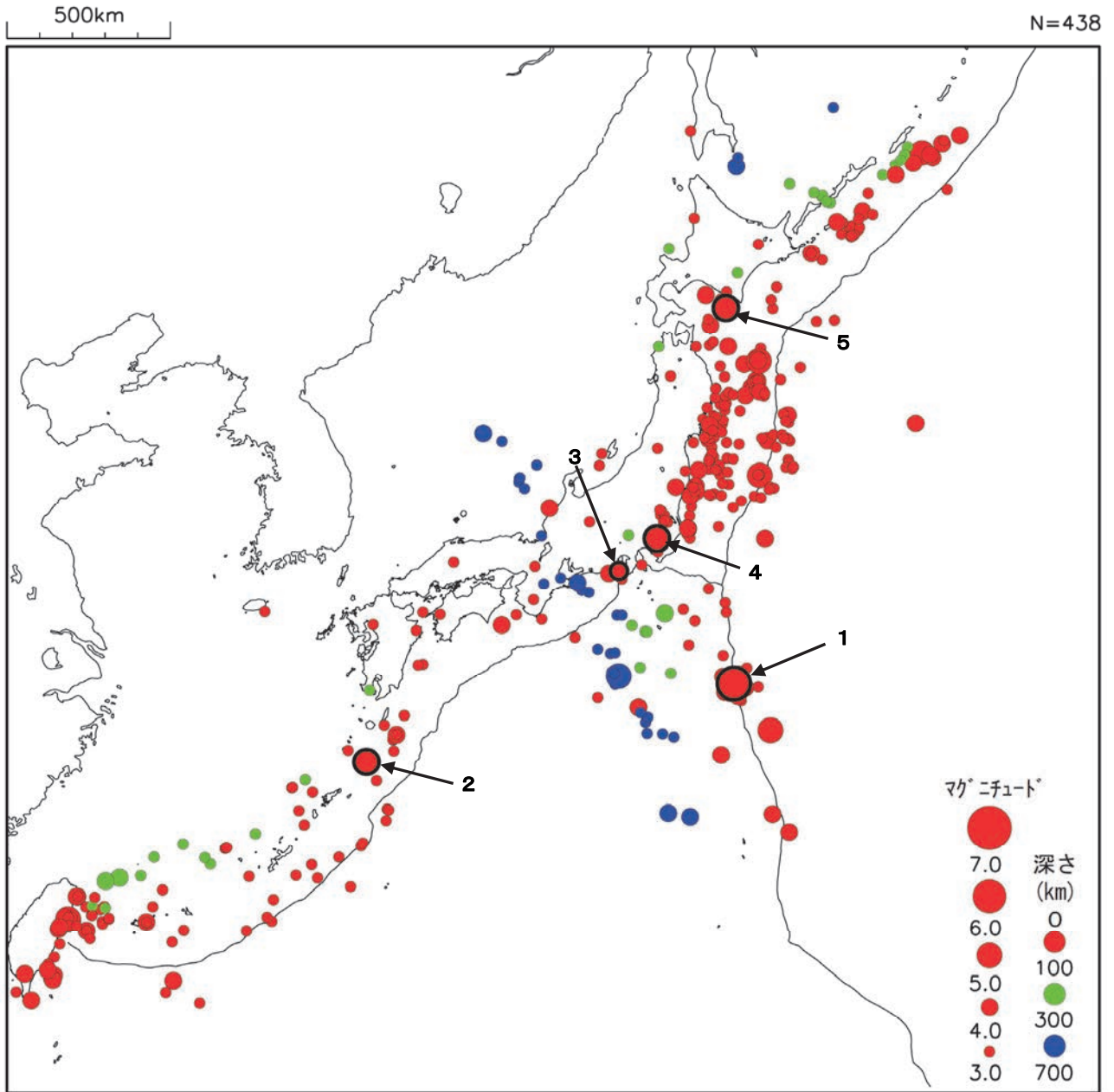
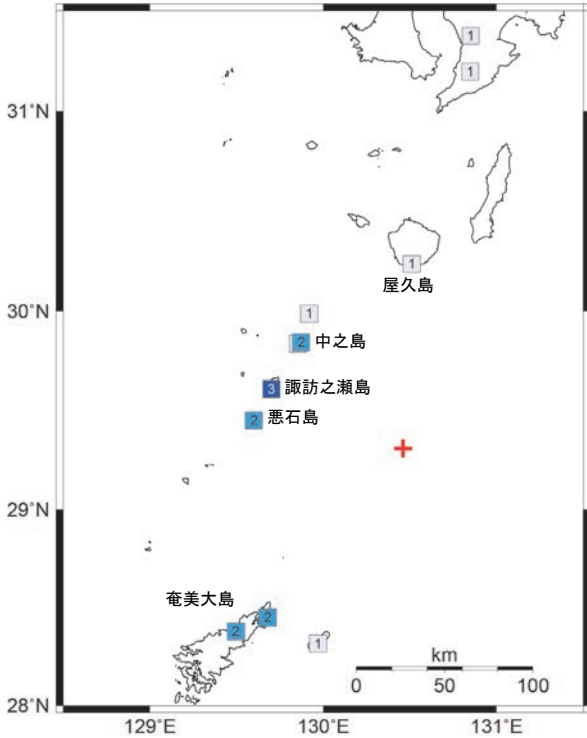
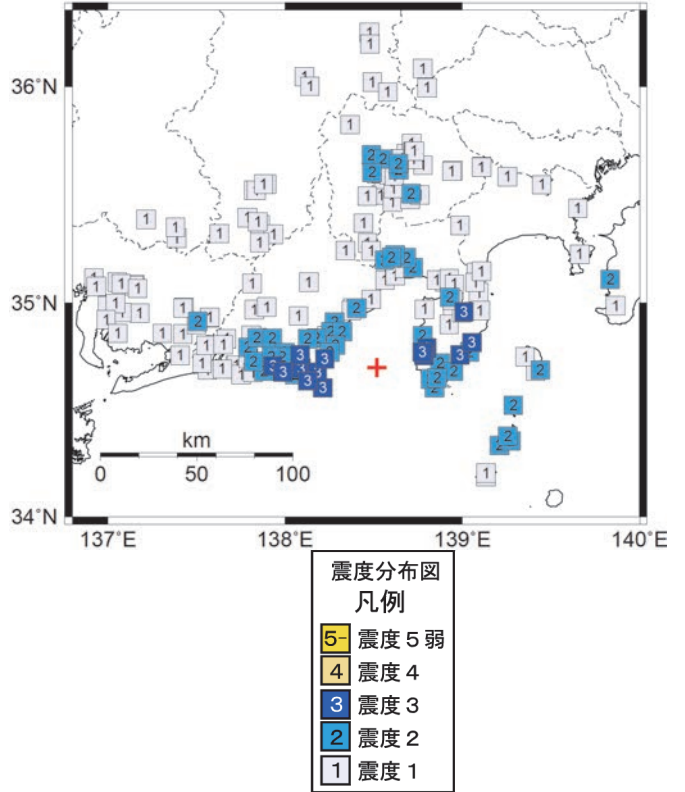


図 2 平成 27 年 9 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応)

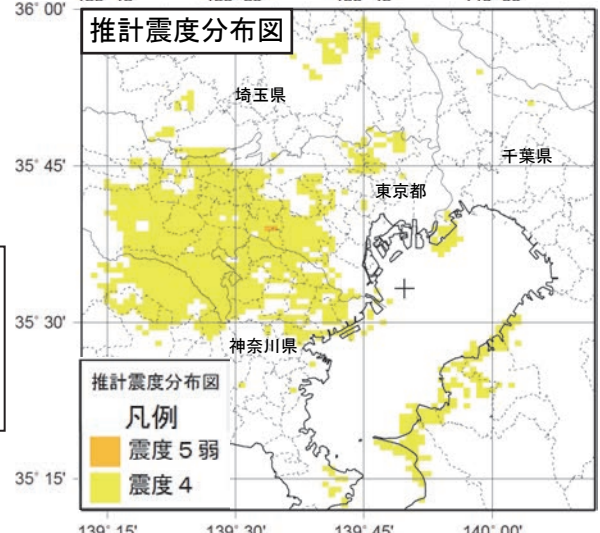
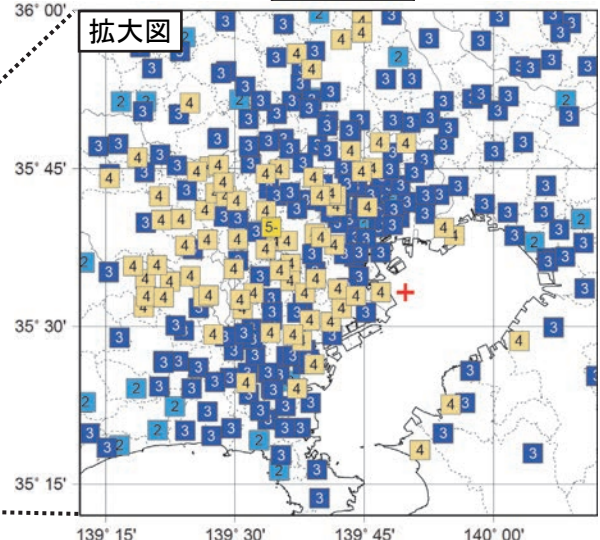
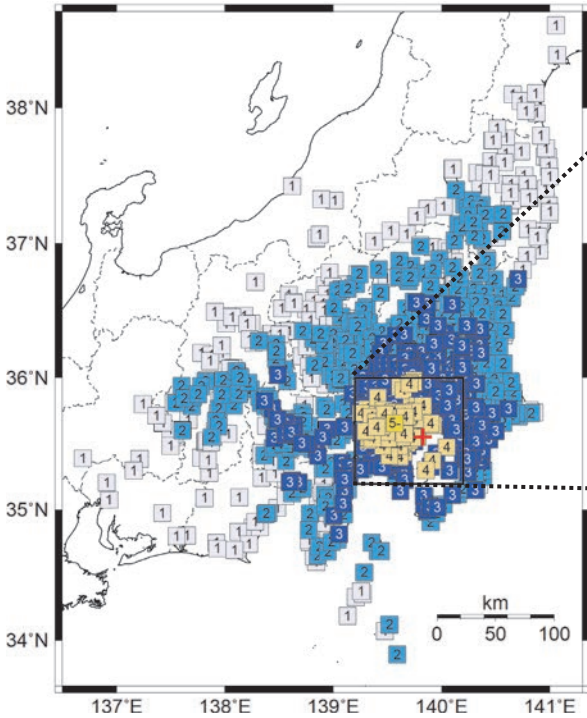
2 9月4日13時49分 奄美大島北東沖
(M5.3、最大震度3)



3 9月8日20時22分 駿河湾
(M4.6、深さ23km、最大震度3)



4 9月12日05時49分 東京湾
(M5.2、深さ57km、最大震度5弱)



＜推計震度分布図について＞
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。
このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

(表示範囲は震度分布図の拡大図(上図)に等しい)

図3-1 震度分布図(各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。)

5 9月12日22時38分 浦河沖
(M5.4、深さ56km、最大震度4)

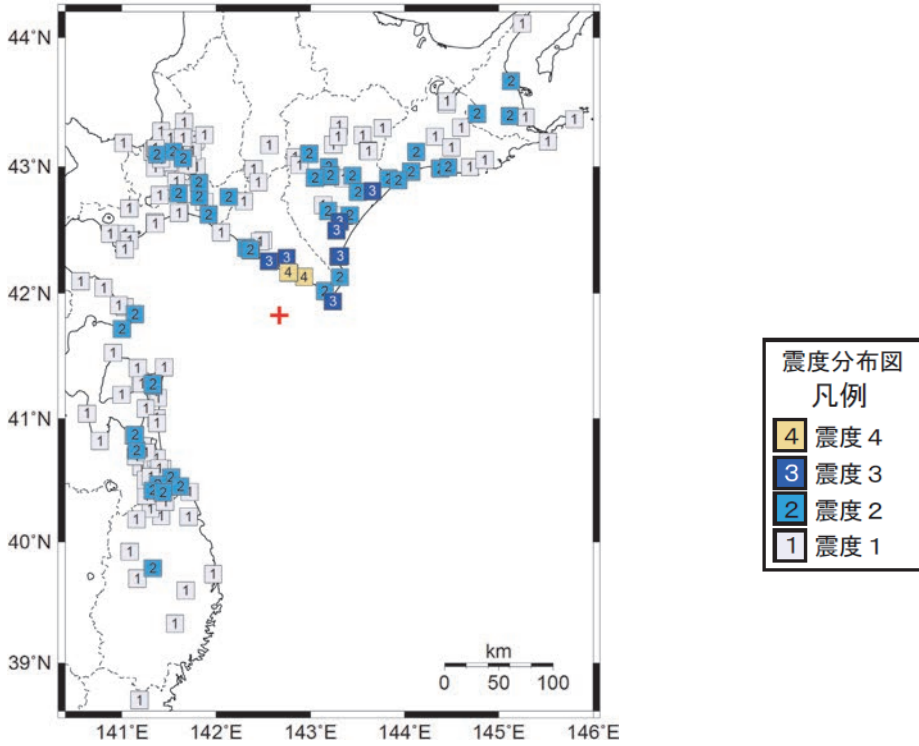


図 3 - 2 震度分布図（各図の左上の数字は表 1、図 2 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

○北海道地方の地震活動

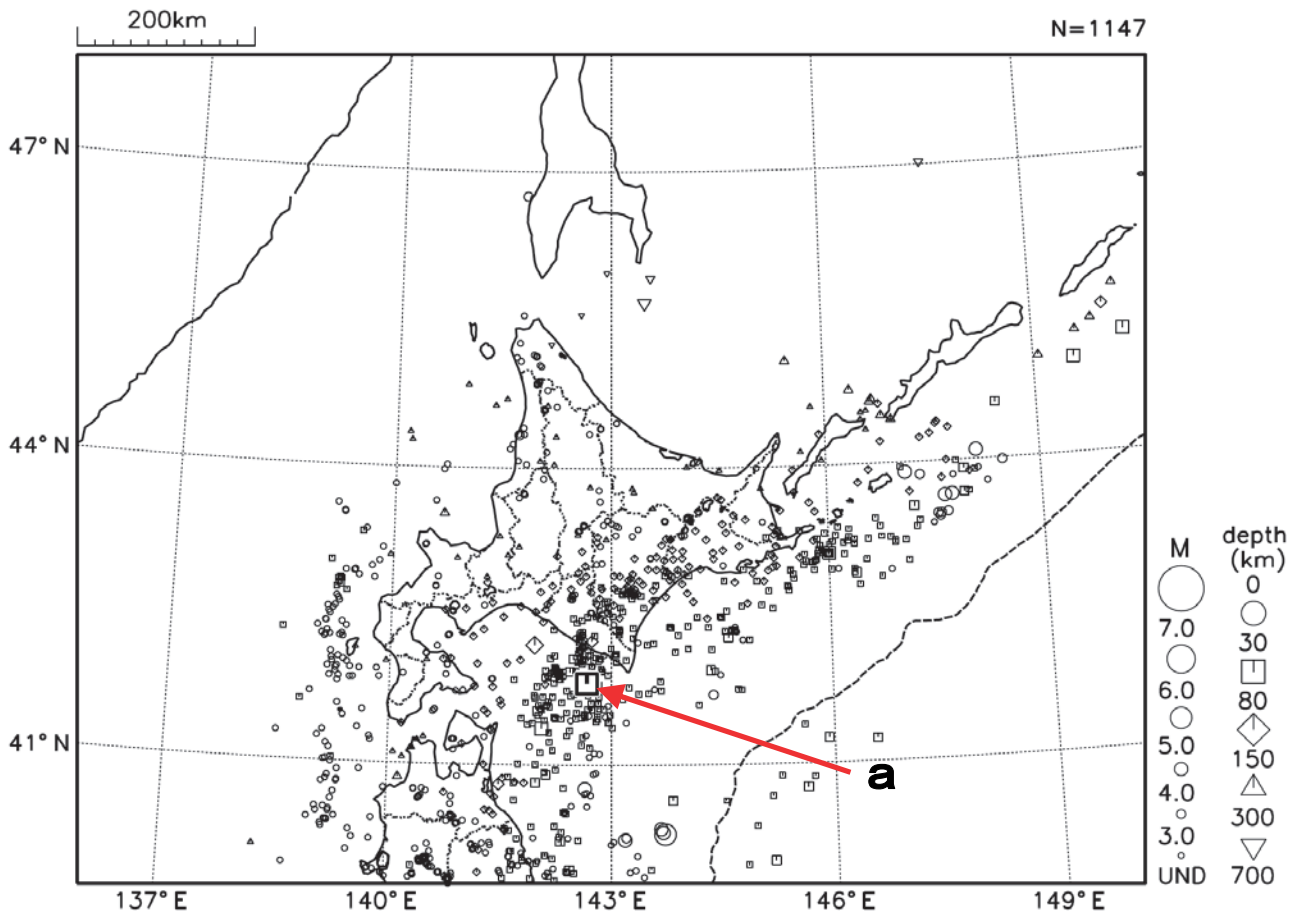


図 4 北海道地方の震央分布図（2015 年 9 月 1 日～9 月 30 日）

〔概況〕

9月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は11回（8月は20回）であった。
9月中の主な活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

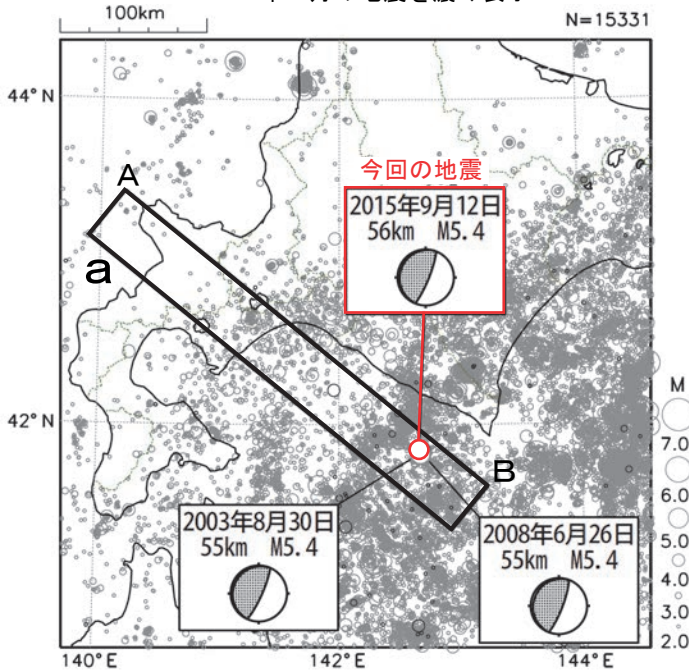
12日22時38分に浦河沖の深さ56kmでM5.4の地震（図4中のa）が発生し、浦河町と様似町で震度4を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度3～1を観測した（p.5、7参照）。

17日07時54分（日本時間）にチリ中部沿岸で発生したMw8.3の地震（上図範囲外）により津波が発生し、太平洋沿岸で津波を観測した（p.48～54参照）。

情報発表に用いた震央地名は〔チリ中部沖〕である。

9 月 12 日 浦河沖の地震

震央分布図
 (2001 年 10 月 1 日～2015 年 9 月 30 日、
 深さ 0～150km、 $M \geq 2.0$)
 2015 年 9 月の地震を濃く表示

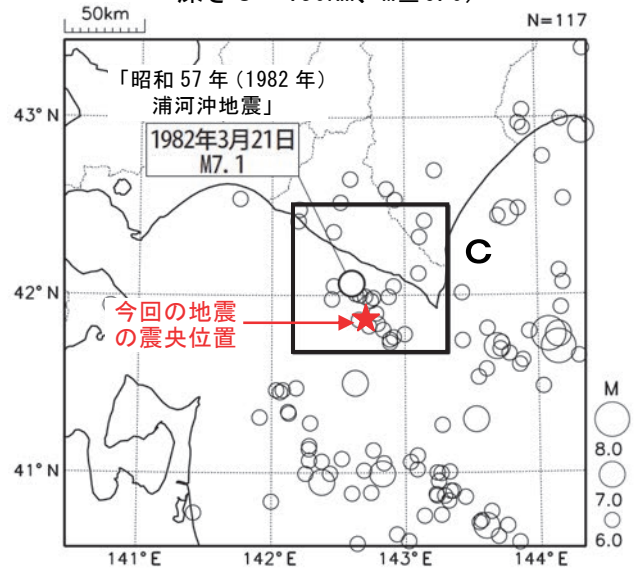


2015 年 9 月 12 日 22 時 38 分に浦河沖の深さ 56km で $M5.4$ の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

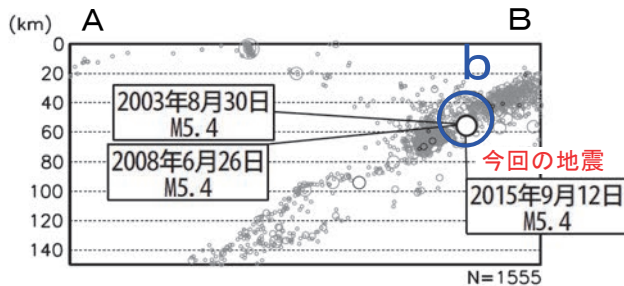
2001 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、2003 年 8 月 30 日及び 2008 年 6 月 26 日に $M5.4$ の地震 (いずれも最大震度 4) が発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、 $M6.0$ 以上の地震がしばしば発生しており、「昭和 57 年 (1982 年) 浦河沖地震」 ($M7.1$ 、最大震度 6) では、重軽傷者 167 人、住家全半壊 41 棟などの被害を生じた (「昭和 57・58 年災害記録 (北海道、1984)」による)。

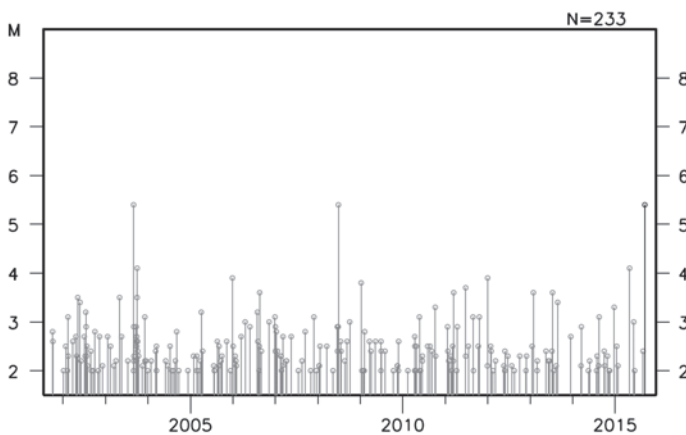
震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2015 年 9 月 30 日、
 深さ 0～150km、 $M \geq 6.0$)



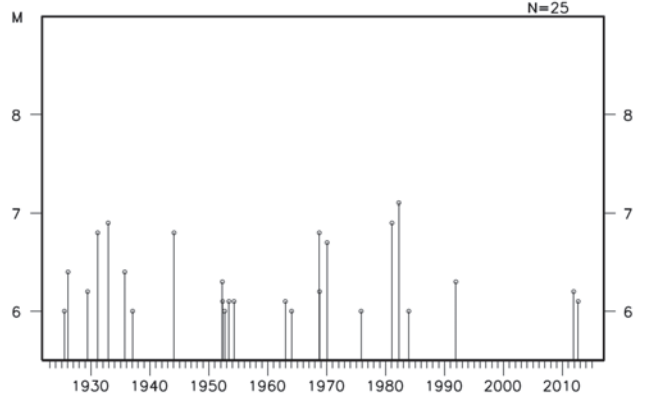
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図



○東北地方の地震活動

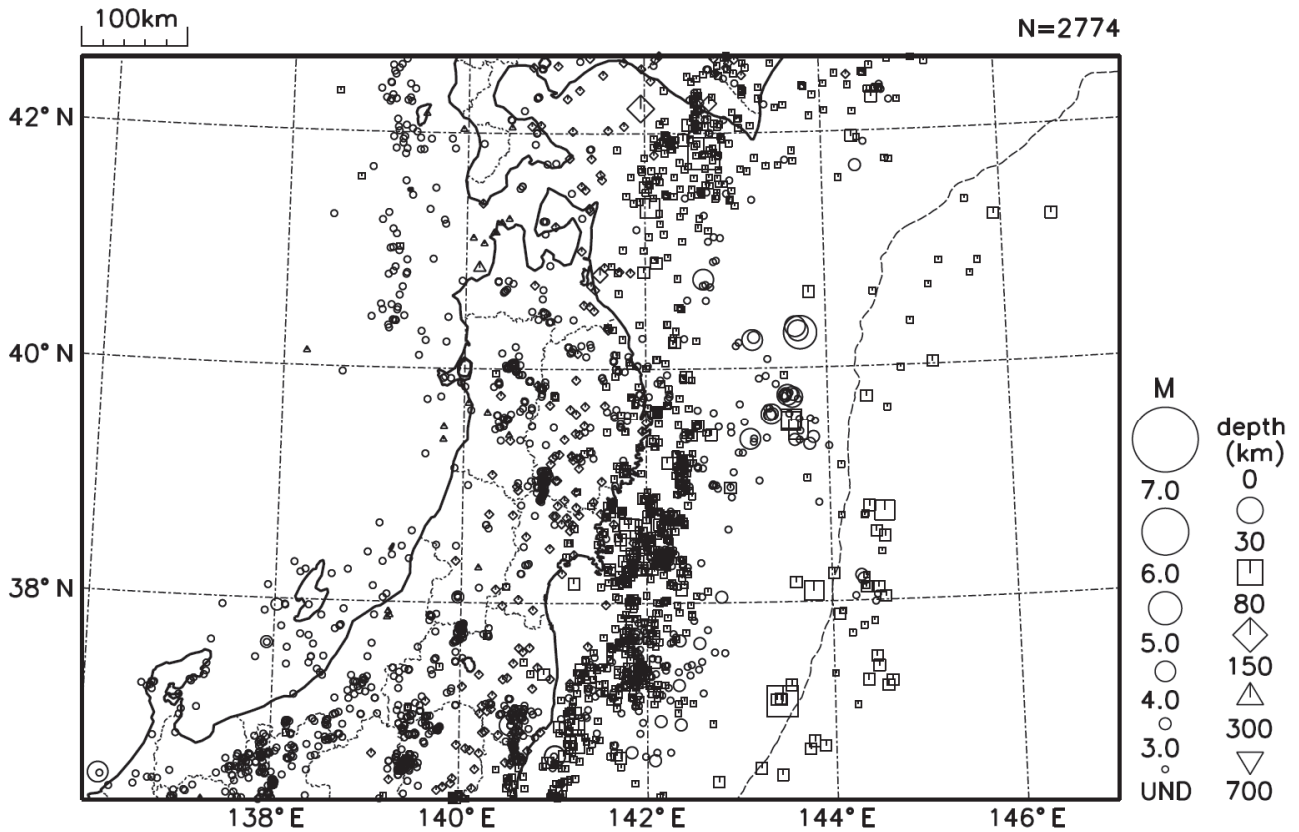


図5 東北地方の震央分布図（2015年9月1日～9月30日）

〔概況〕

9月に東北地方で震度1以上を観測した地震は54回（8月は60回）であった。9月中の主な活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（図5、p.9参照）。

17日07時54分（日本時間）にチリ中部沿岸で発生したMw8.3の地震（上図範囲外）により津波が発生し、太平洋沿岸で津波を観測した（p.48～54参照）。

情報発表に用いた震央地名は〔チリ中部沖〕である。

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2015 年 9 月は、領域 a（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震は 2 回発生した。また、最大震度 4 以上を観測する地震はなかった。

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は次第になくなってきているものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な地震活動が継続している。

領域 a で 2015 年 9 月に発生した M5.0 以上の地震は以下のとおり。

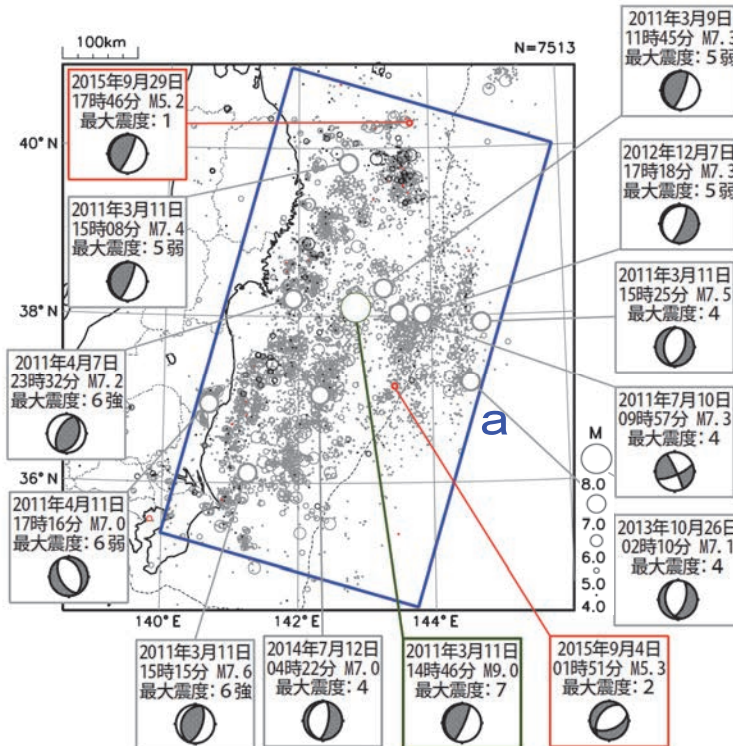
2015 年 9 月に領域 a 内で発生した M5.0 以上の地震

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT 解）
09 月 04 日 01 時 51 分	福島県沖	5.3	5.3	2	北西－南東方向に張力軸を持つ正断層型
09 月 29 日 17 時 46 分	三陸沖	5.2	5.2	1	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

震央分布図

（2011 年 3 月 1 日～2015 年 9 月 30 日、深さすべて、 $M \geq 4.0$ ）

2011 年 3 月からの地震を薄く、2014 年 9 月から 2015 年 8 月の地震を濃く、2015 年 9 月の地震を赤く表示。発震機構は CMT 解。



領域 a 内の M7.0 以上の地震と 2015 年 9 月に発生した M5.0 以上の地震に吹き出しをつけた。



○関東・中部地方の地震活動

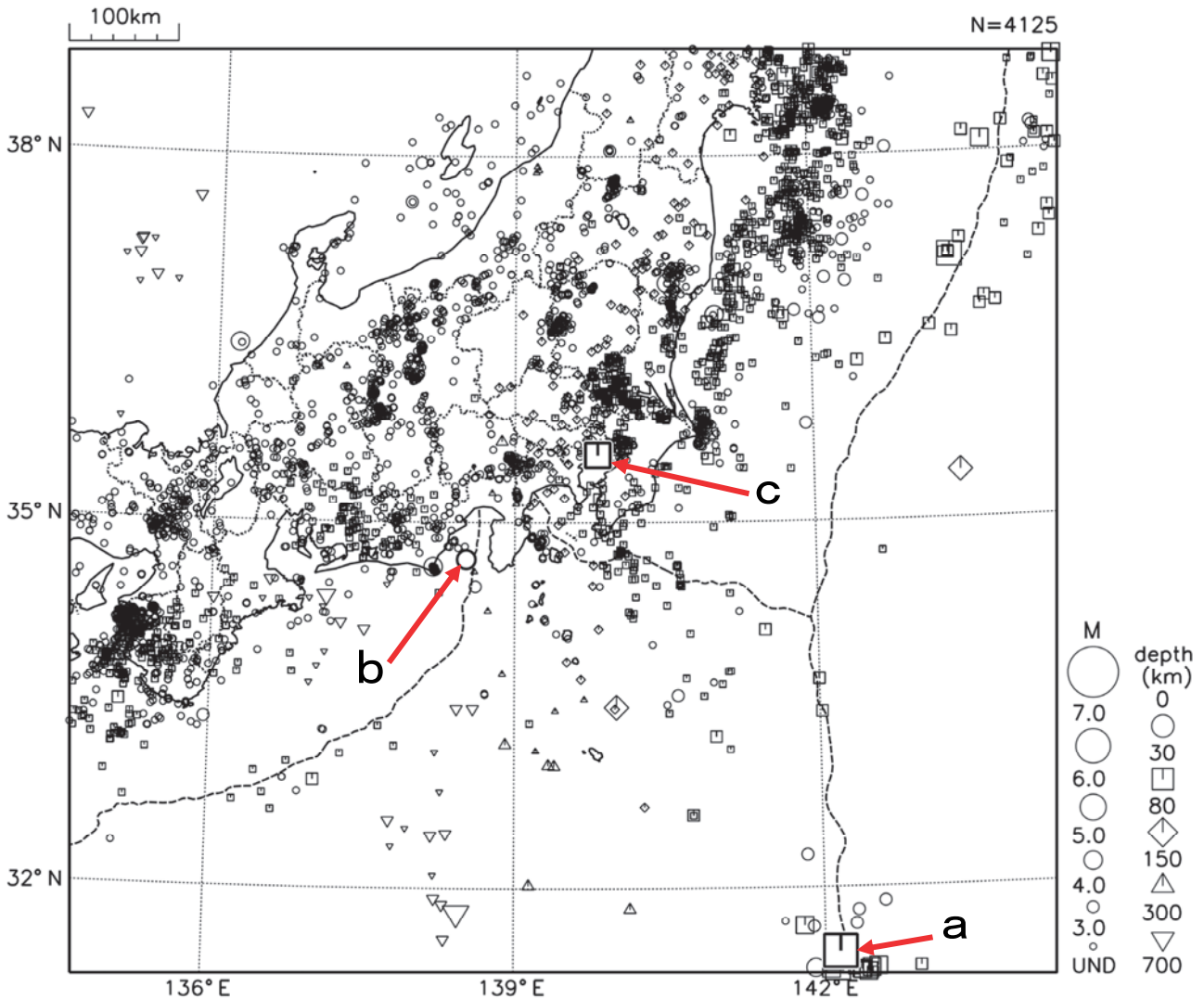


図6 関東・中部地方の震央分布図（2015年9月1日～9月30日）

[概況]

9月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は53回（8月は62回）であった。9月中の主な地震活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（p. 8の図5、p. 9参照）。

2日00時25分に鳥島近海でM6.1の地震（図6中のa）が発生した。震度1以上を観測した地点はなかった（p. 11参照）。

8日20時22分に駿河湾の深さ23kmでM4.6の地震（図6中のb）が発生し、静岡県で震度3を観測したほか、関東甲信地方から東海地方にかけて震度2～1を観測した（p. 4、12参照）。

12日05時49分に東京湾の深さ57kmでM5.2の地震（図6中のc）が発生し、東京都調布市で震度5弱を観測したほか、関東地方を中心に、東北地方から中部地方にかけて震度4～1を観測した（p. 4、13参照）。

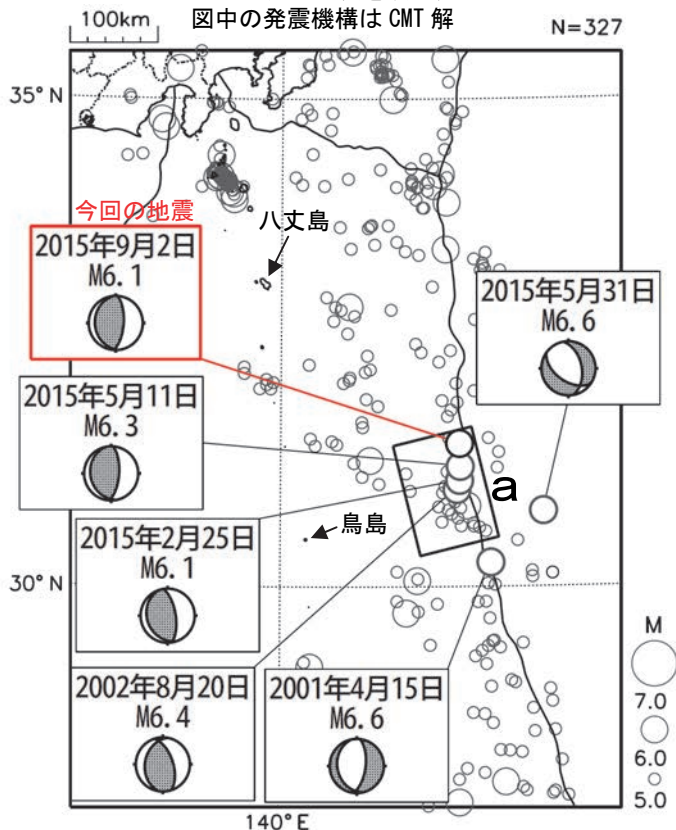
17日07時54分（日本時間）にチリ中部沿岸で発生したMw8.3の地震（上図範囲外）により津波が発生し、太平洋沿岸や伊豆・小笠原諸島で津波を観測した（p. 48～54参照）。

情報発表に用いた震央地名は〔チリ中部沖〕である。

9月2日 鳥島近海の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2015年9月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2015年9月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

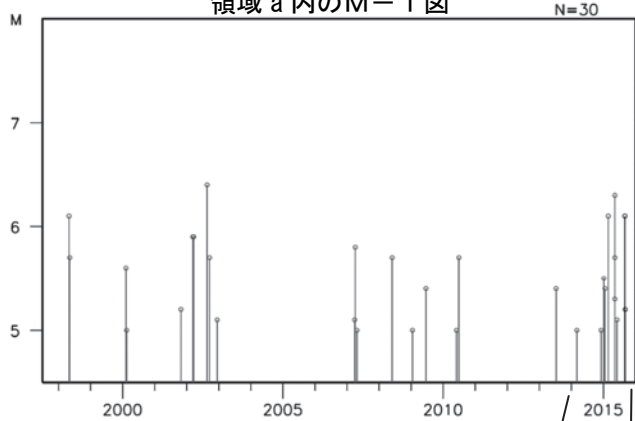


2015年9月2日00時25分に鳥島近海でM6.1の地震(震度1以上を観測した地点はなし)が発生した。発震機構(CMT解)は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

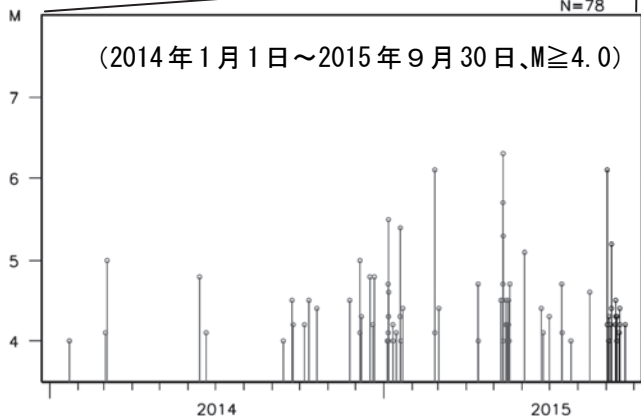
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M6.0以上の地震が5回(今回の地震を含む)発生している。2014年12月頃から地震活動がやや活発になっており、2015年2月25日にはM6.1の地震、5月11日にはM6.3の地震が発生した。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震が時々発生しているが、被害を伴う地震は発生していない。1977年3月30日にはM6.9の地震が発生している。また、2006年10月24日の地震(M6.8、最大震度2)では三宅島で16cmの津波を観測した。

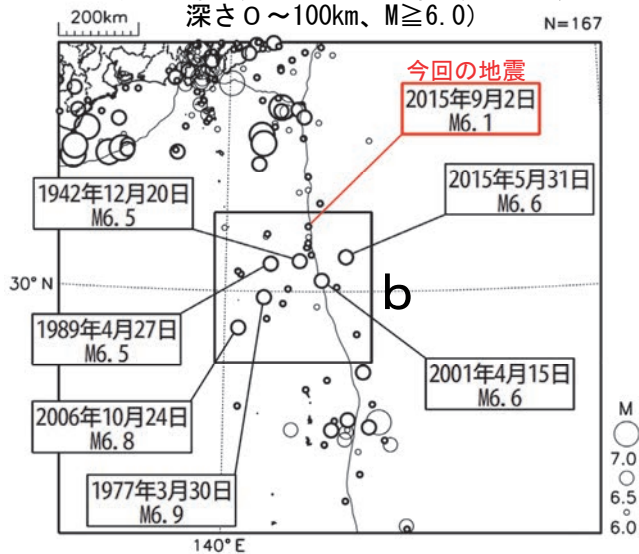
領域 a 内の M-T 図



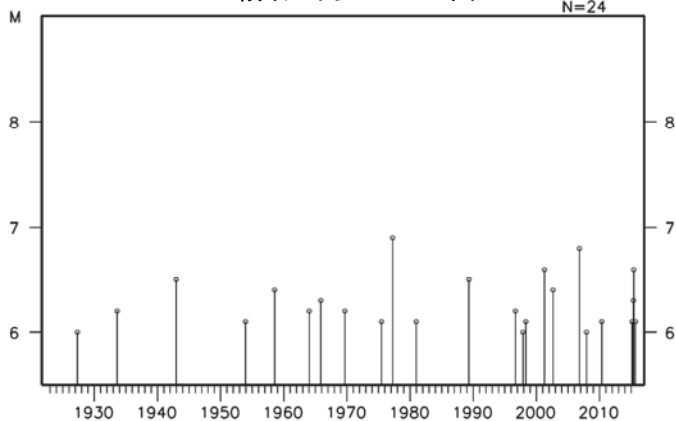
(2014年1月1日～2015年9月30日、 $M \geq 4.0$)



震央分布図
(1923年1月1日～2015年9月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

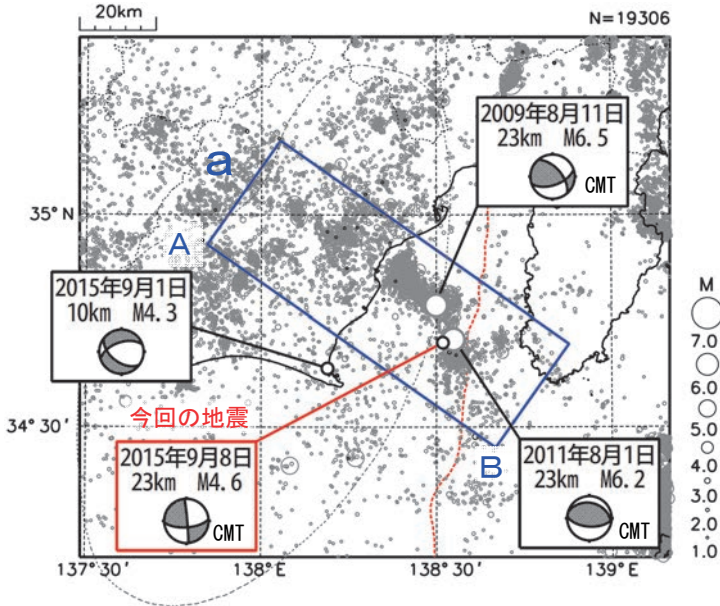


領域 b 内の M-T 図



9 月 8 日 駿河湾の地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2015 年 9 月 30 日、
 深さ 0～50km、M≥1.0)
 2015 年 9 月以降の地震を濃く表示
 破線は東海地震の想定震源域を示す

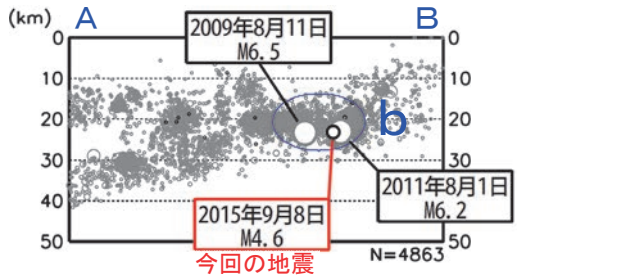


2015 年 9 月 8 日 20 時 22 分に駿河湾の深さ 23km で M4.6 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT 解) が北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

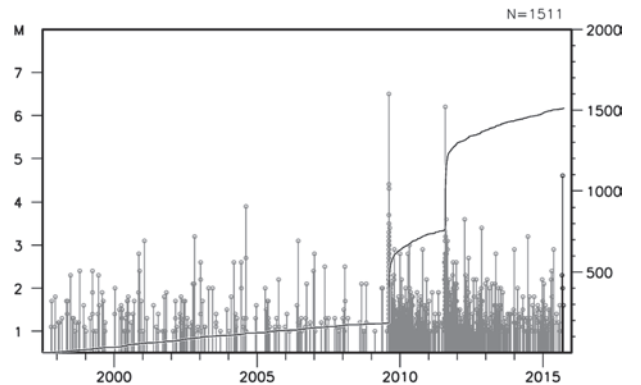
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺 (領域 b) では、M6.0 以上の地震が 2 回発生している。2009 年 8 月 11 日には M6.5 の地震 (最大震度 6 弱) が発生し、死者 1 人、負傷者 319 人などの被害を生じた (総務省消防庁による)。また、2011 年 8 月 1 日には今回の地震とほぼ同じ場所で M6.2 の地震 (最大震度 5 弱) が発生し、負傷者 13 人、住家等一部損壊 15 棟などの被害を生じた (静岡県による)。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0 以上の地震が時々発生している。1974 年 5 月 9 日には「1974 年伊豆半島沖地震」が発生し、死者 30 人、家屋全壊 134 棟などの被害を生じた (「日本被害地震総覧」による)。

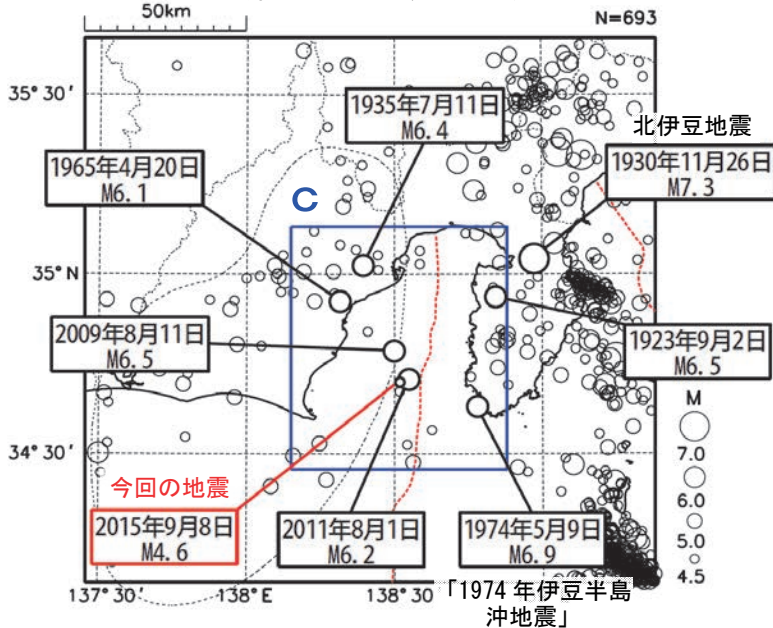
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



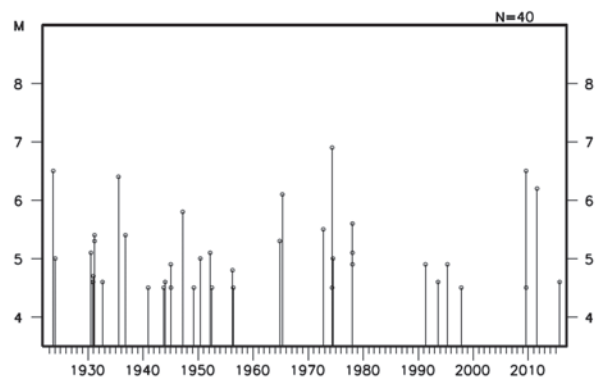
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2015 年 9 月 30 日、
 深さ 0～60km、M≥4.5)

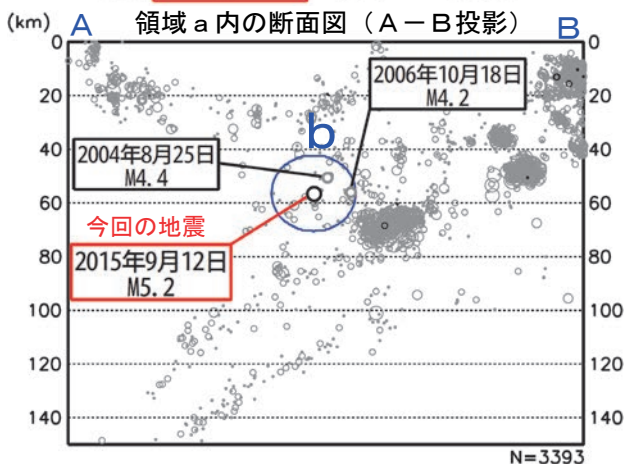
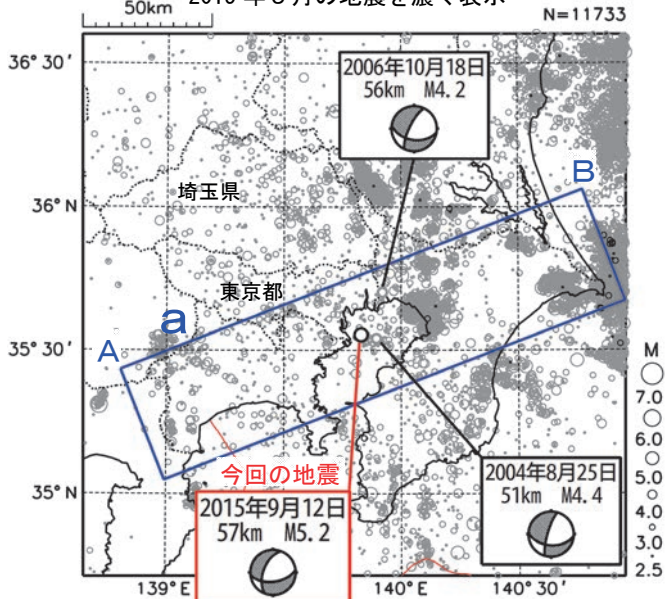


領域 c 内の M-T 図

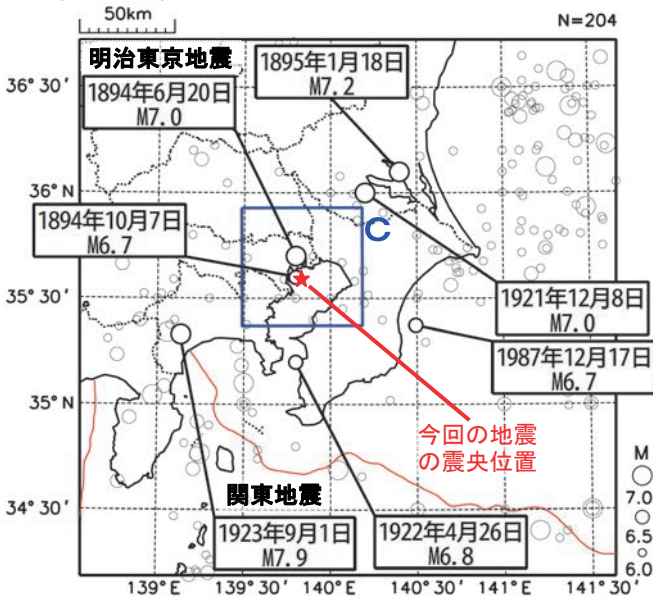


9 月 12 日 東京湾の地震

震央分布図
(1997 年 10 月 1 日～2015 年 9 月 30 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 2.5$)
2015 年 9 月の地震を濃く表示



震央分布図
(1885 年 1 月 1 日～2015 年 9 月 30 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 6.0$)
震源要素は、1885 年～1922 年は茅野・宇津 (2001)、
宇津 (1982, 1985) による*。

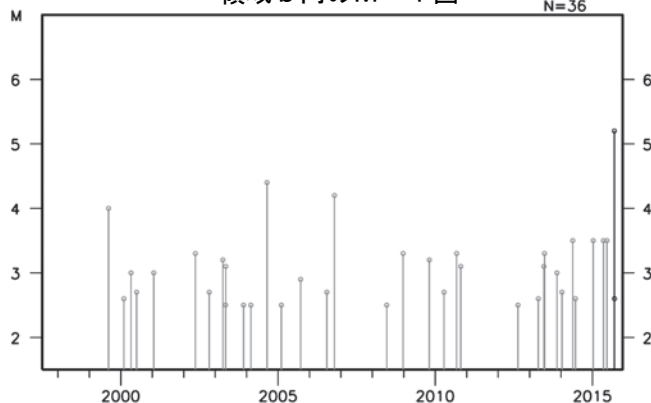


2015 年 9 月 12 日 05 時 49 分に東京湾の深さ 57km で $M 5.2$ の地震 (最大震度 5 弱) が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。この地震により負傷者 7 人の被害を生じた (総務省消防庁による)。余震活動は低調であった。

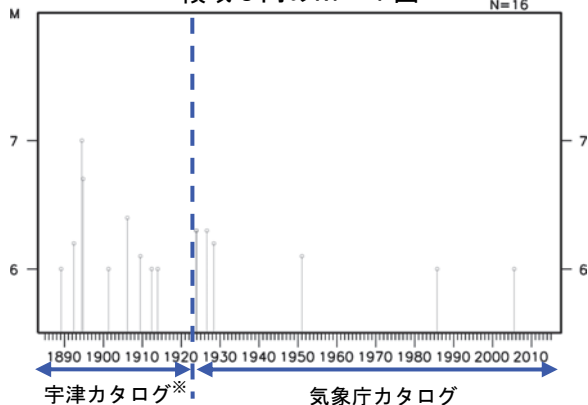
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺 (領域 b) では、 $M 4.0$ 以上の地震が時々発生しているが、 $M 5.0$ 以上の地震はこれまで発生していなかった。

1885 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、1923 年以降 $M 6.5$ 以上の地震は発生していない。1894 年 6 月 20 日に発生した $M 7.0$ の地震 (明治東京地震) では、東京、横浜などの東京湾岸を中心に死者 31 人、家屋全半壊 130 棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。また、それ以前の 1855 年 11 月 11 日に今回の地震の震央周辺で発生した地震 (安政江戸地震) では死者 7468 人などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図



*宇津徳治, 日本付近の $M 6.0$ 以上の地震及び被害地震の表: 1885 年～1980 年, 震研彙報, 56, 401-463, 1982.
宇津徳治, 日本付近の $M 6.0$ 以上の地震及び被害地震の表: 1885 年～1980 年 (訂正と追加), 震研彙報, 60, 439-642, 1985.
茅野一郎・宇津徳治, 日本の主な地震の表, 「地震の事典」第 2 版, 朝倉書店, 2001, 657pp.

○近畿・中国・四国地方の地震活動

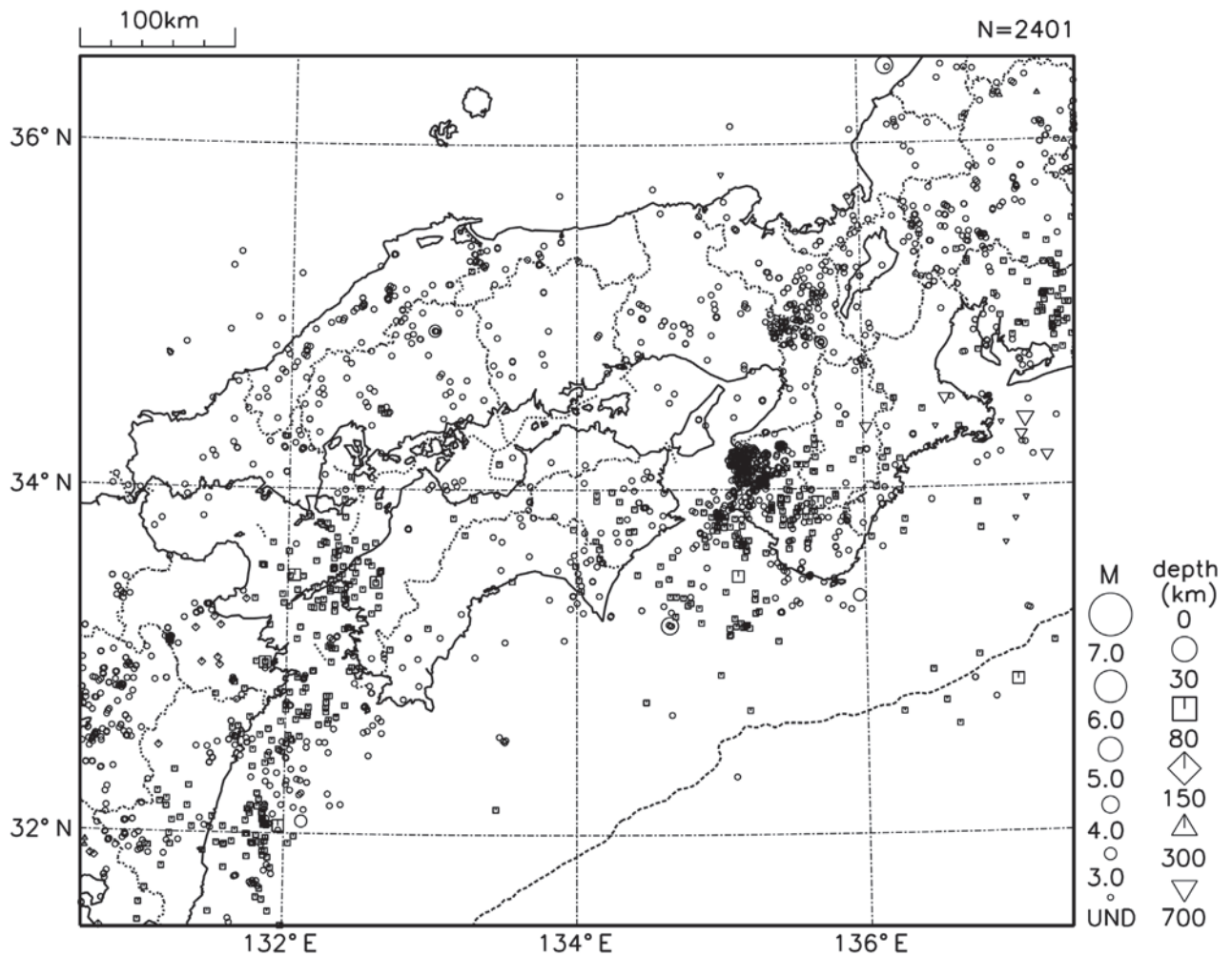


図 7 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2015 年 9 月 1 日～9 月 30 日）

[概況]

9月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は14回（8月は12回）であった。9月中の主な地震活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

17日07時54分（日本時間）にチリ中部沿岸で発生したMw8.3の地震（上図範囲外）により津波が発生し、太平洋沿岸で津波を観測した（p.48～54参照）。

情報発表に用いた震央地名は〔チリ中部沖〕である。

○九州地方の地震活動

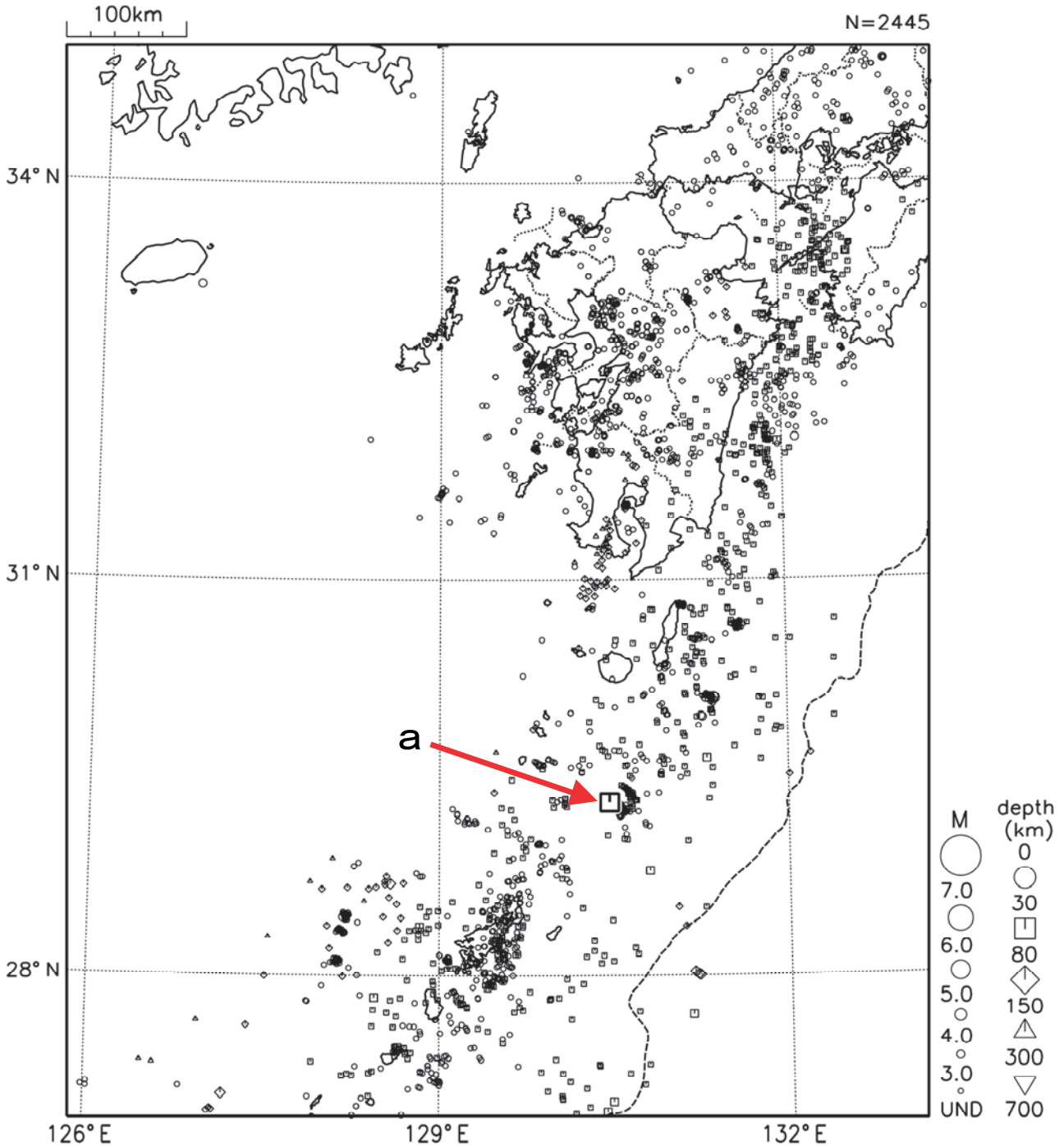


図 8 九州地方の震央分布図（2015 年 9 月 1 日～9 月 30 日）

〔概況〕

9 月に九州地方で震度 1 以上を観測した地震は 11 回（8 月は 26 回）であった。
9 月中の主な活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

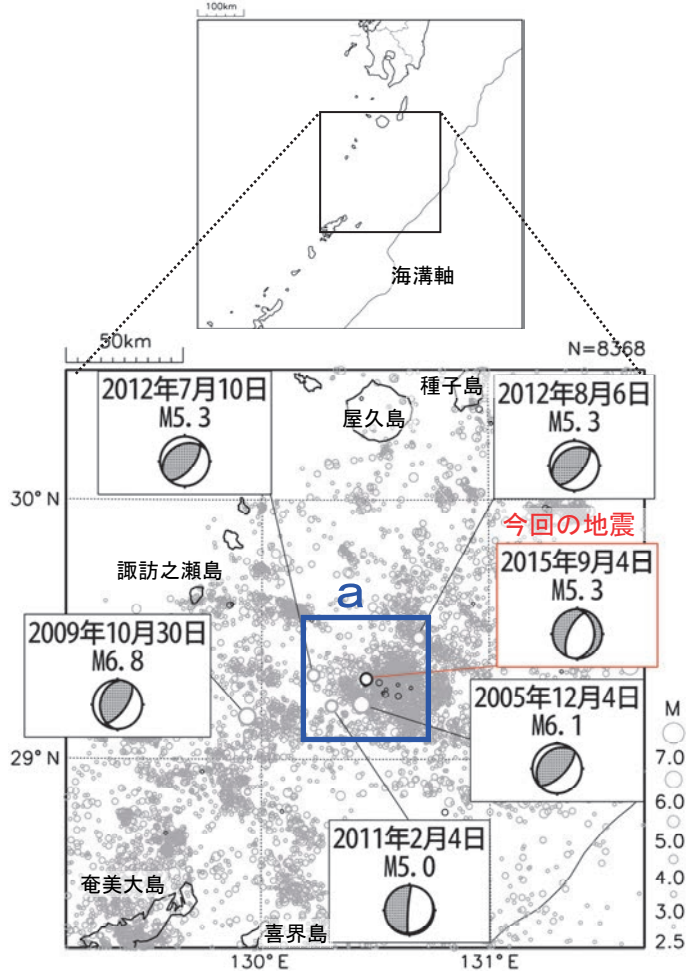
4 日 13 時 49 分に奄美大島北東沖で M5.3 の地震（図 8 中の a）が発生し、鹿児島県十島村（諏訪之瀬島）で震度 3 を観測したほか、鹿児島県で震度 2～1 を観測した。（p. 4、16 参照）。

17 日 07 時 54 分（日本時間）にチリ中部沿岸で発生した Mw8.3 の地震（上図範囲外）により津波が発生し、太平洋沿岸と南西諸島で津波を観測した（p. 48～54 参照）。

情報発表に用いた震央地名は〔チリ中部沖〕である。

9 月 4 日 奄美大島北東沖の地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2015 年 9 月 30 日、
 深さ 0～90km、 $M \geq 2.5$)
 2015 年 9 月の地震を濃く表示
 図中の発震機構は CMT 解

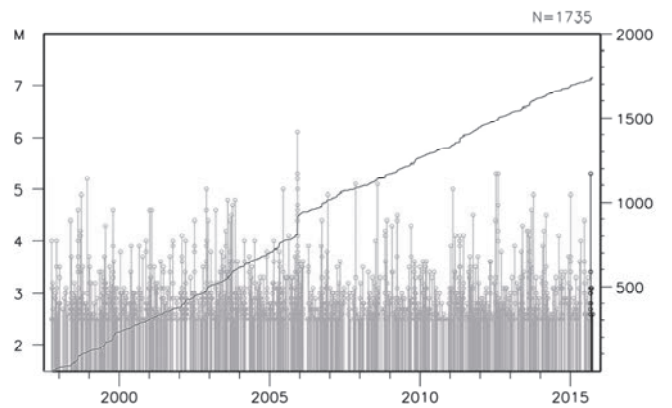


2015 年 9 月 4 日 13 時 49 分に奄美大島北東沖で $M5.3$ の地震（最大震度 3）が発生した。この地震の発震機構（CMT 解）は、西北西—東南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

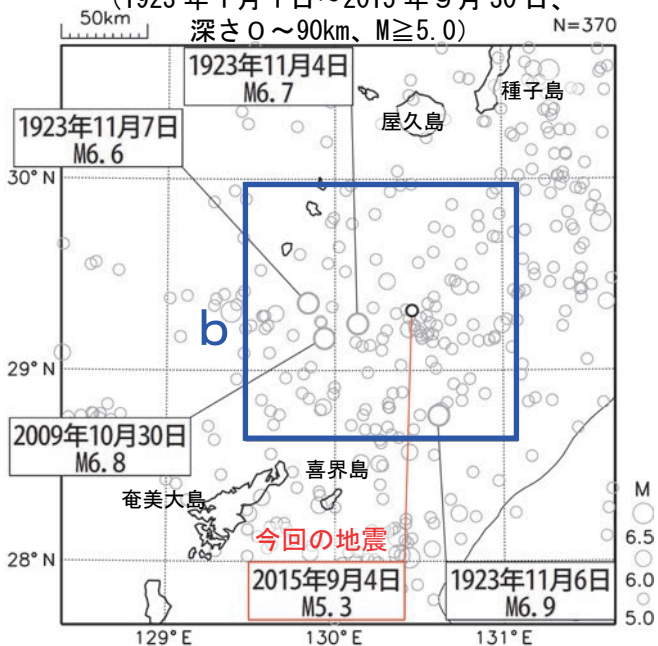
1997 年 10 月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 a）では、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。

1923 年 1 月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、 $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。2009 年 10 月 30 日に $M6.8$ の地震（最大震度 4）が発生し、枕崎で 18cm の津波を観測したほか、鹿児島県と沖縄県で津波を観測した。

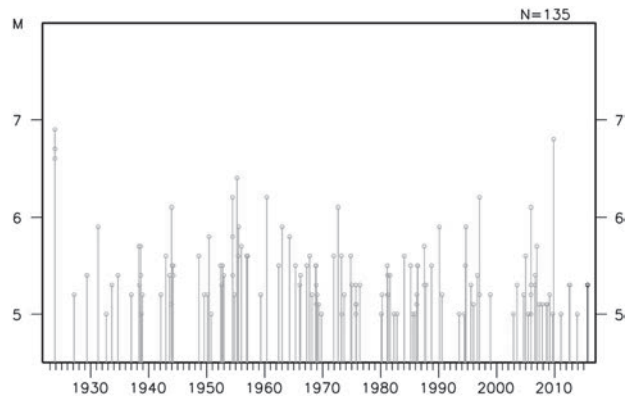
領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2015 年 9 月 30 日、
 深さ 0～90km、 $M \geq 5.0$)
 N=370



領域 b 内の M-T 図



○沖縄地方の地震活動

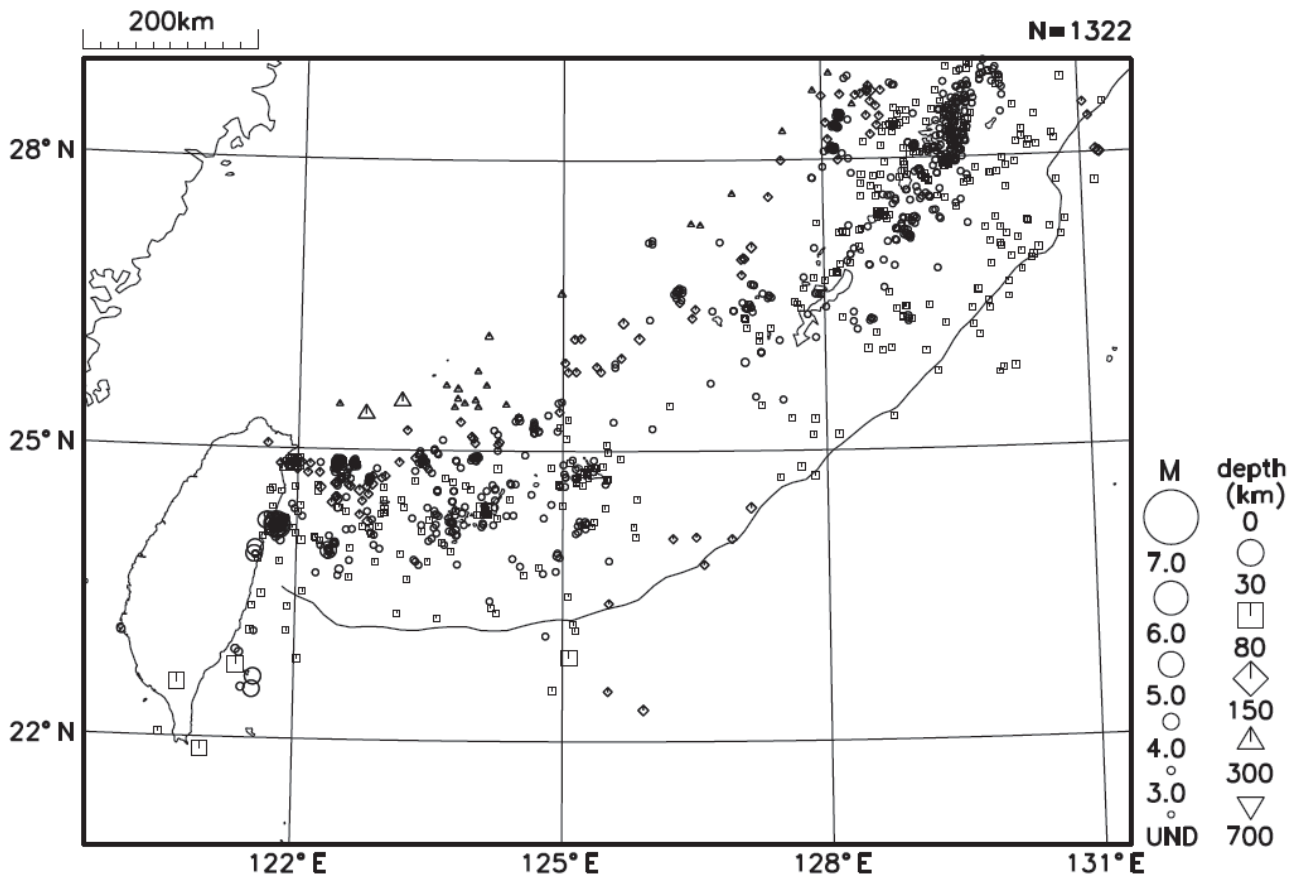


図9 沖縄地方の震央分布図（2015年9月1日～9月30日）

[概況]

9月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は4回（8月は6回）であった。9月中の主な地震活動（津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

17日07時54分（日本時間）にチリ中部沿岸で発生したMw8.3の地震（上図範囲外）により津波が発生し、南西諸島で津波を観測した（p.48～54参照）。

情報発表に用いた震央地名は〔チリ中部沖〕である。

○その他の地域の地震活動

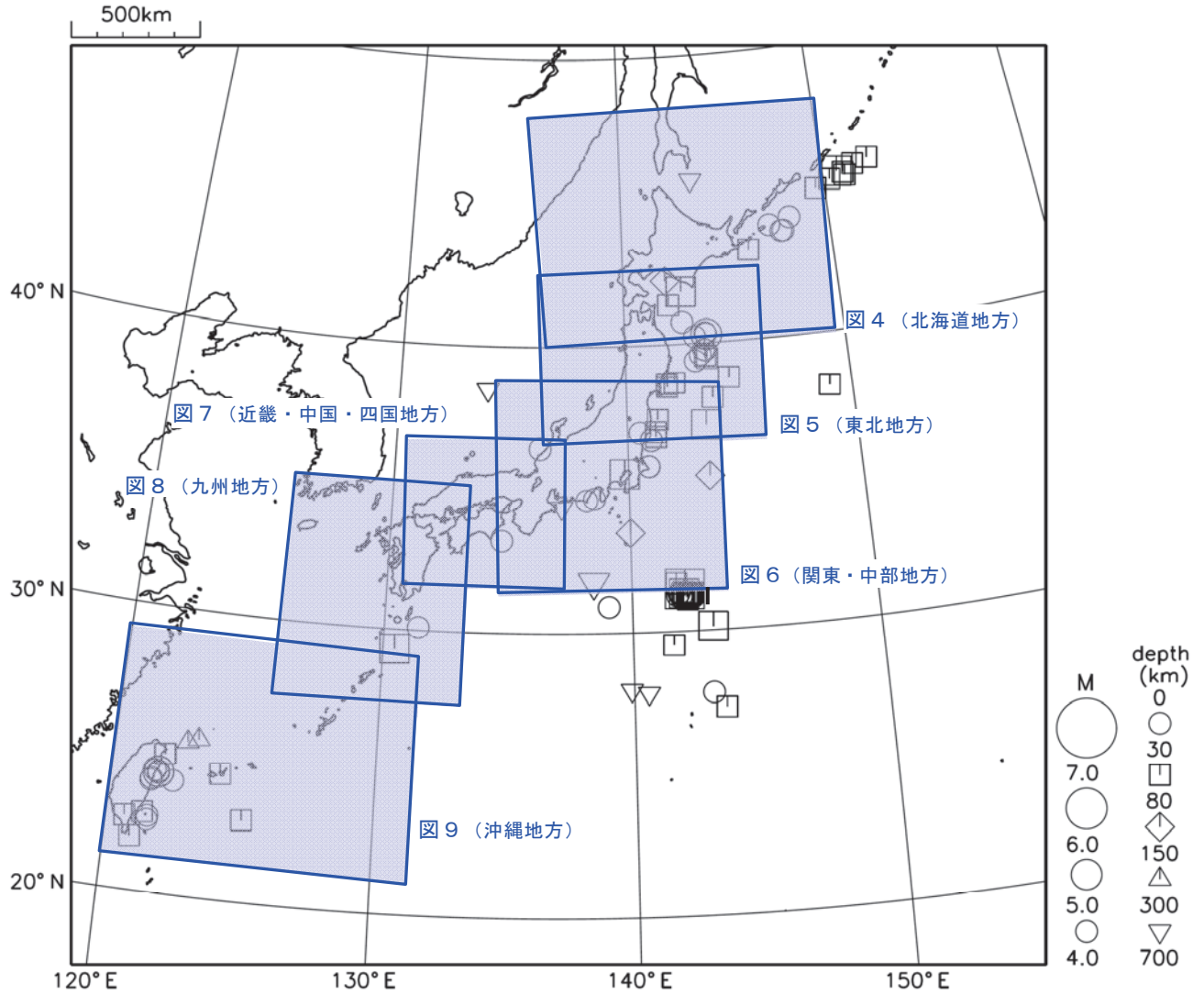


図 10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2015 年 9 月 1 日～9 月 30 日、 $M \geq 4.0$ ）

[概況]

9 月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は 1 回（8 月は 1 回）であった。
9 月中、図 4～9 の領域外で特に目立った活動はなかった。

●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果

東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

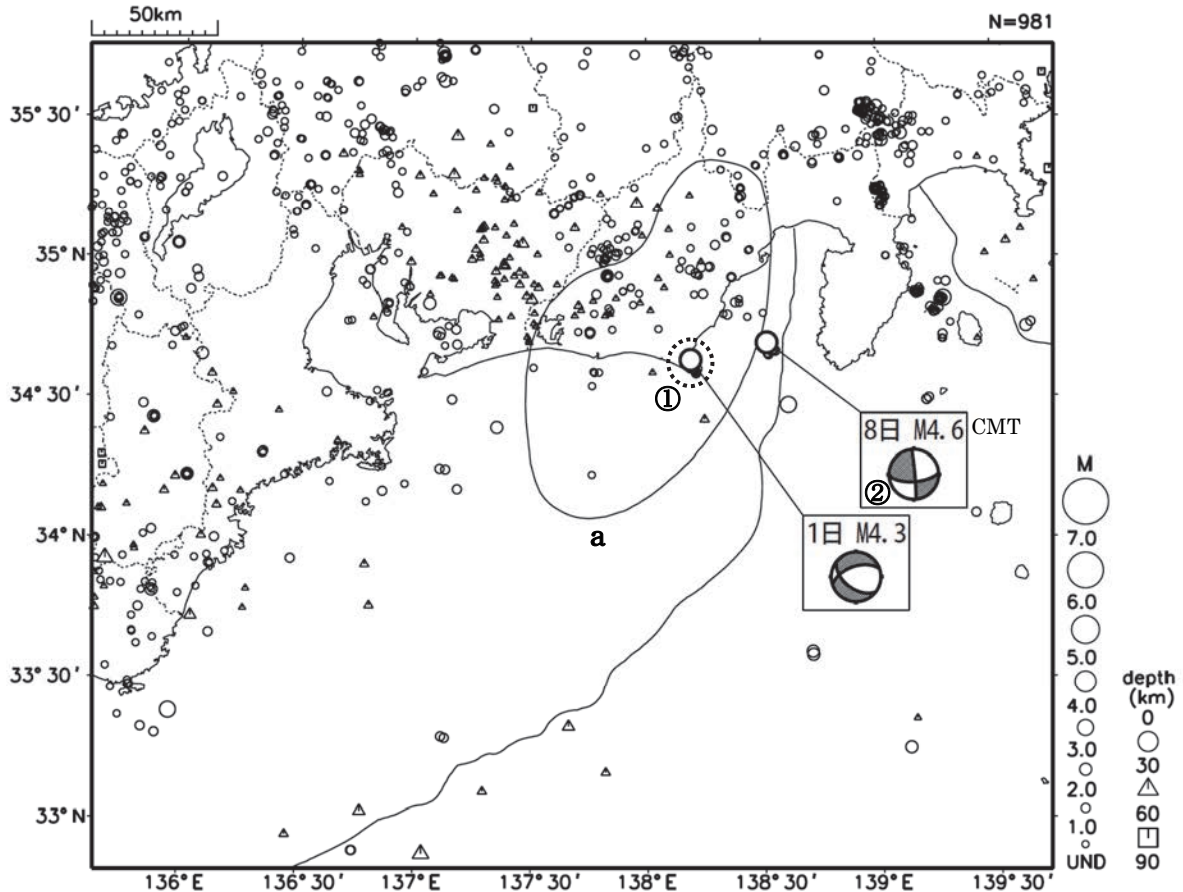


図1 震央分布図（2015年9月1日～30日：深さ0～90km、Mすべて。図中の領域 a は東海地震の想定震源域。）

【概況】

9月1日に静岡県中部（御前崎付近）でM4.3の地震（最大震度3）が発生した。
9月8日に駿河湾でM4.6の地震（最大震度3）が発生した。

- ① 8月29日から9月2日にかけて、静岡県中部（御前崎付近）でややまとまった地震活動が見られた。9月2日までに震度1以上を観測する地震が8回発生した。
今回の活動で最大規模の地震は9月1日00時29分のM4.3の地震（深さ10km、最大震度3）である。9月1日のM4.3の地震は、発震機構が南北方向に張力軸を持つ型で、地殻内で発生した。
- ② 9月8日20時22分に駿河湾の深さ23kmでM4.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北西－南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。この地震とほぼ同じ場所で2011年8月1日のM6.2の地震（最大震度5弱）が発生している。（p. 4, 12 参照）

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する

地震防災対策強化地域判定会検討結果

9月28日に気象庁において第353回地震防災対策強化地域判定会(定例)を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」として次の調査結果を発表した(図2～図11)。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくとみられる変化は観測していません。

1. 地震の観測状況

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、引き続き地震の発生頻度の低い状態が続いています。8月24日から29日にかけて、長野県南部でプレート境界付近を震源とする深部低周波地震(微動)を観測しています。

2. 地殻変動の観測状況

GNSS観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向は継続しています。平成25年はじめ頃から静岡県西部から愛知県東部にかけてのGNSS観測及びひずみ観測にみられている通常とは異なる変化は、現在も継続しています。

また、8月24日から25日にかけて、静岡県及び長野県の複数のひずみ観測点でわずかな地殻変動を観測しました。

3. 地殻活動の評価

平成25年はじめ頃から観測されている通常とは異なる地殻変動は、浜名湖付近のプレート境界において発生している「長期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しており、現在も継続しています。そのほかに東海地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られていません。

一方、上記の深部低周波地震(微動)及びひずみ観測点で観測した地殻変動は、長野県南部の想定震源域より深いプレート境界において発生した「短期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しています。

以上のように、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくとみられる変化は観測していません。

なお、GNSS観測の結果によると「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつありますが東海地方においてもみられています。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和53年(1978年)12月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域を予め「地震防災対策強化地域」(以下、「強化地域」という。)として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、予め地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成14年(2002年)4月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる157市町村(平成24年4月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード8クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度6弱以上(一部地域では震度5強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」を発表している。

【地震防災対策強化地域判定会検討結果の頁で使われる用語】

・「想定震源域」と「固着域」

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図2の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり(長期的スロースリップ)」

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界が、数年間にかけてゆっくりとすべる現象で、十数年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられており、前回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震(微動)」

深さ約30km～40kmで発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」

「短期的ゆっくりすべり」は、深部低周波地震(微動)の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震(微動)活動が観測されることが多い。

なお、地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)*によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

*Hirose, F., J. Nakajima, and A. Hasegawa (2008), Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274.

東海地域の地震活動指数 （クラスタを除いた地震回数による）

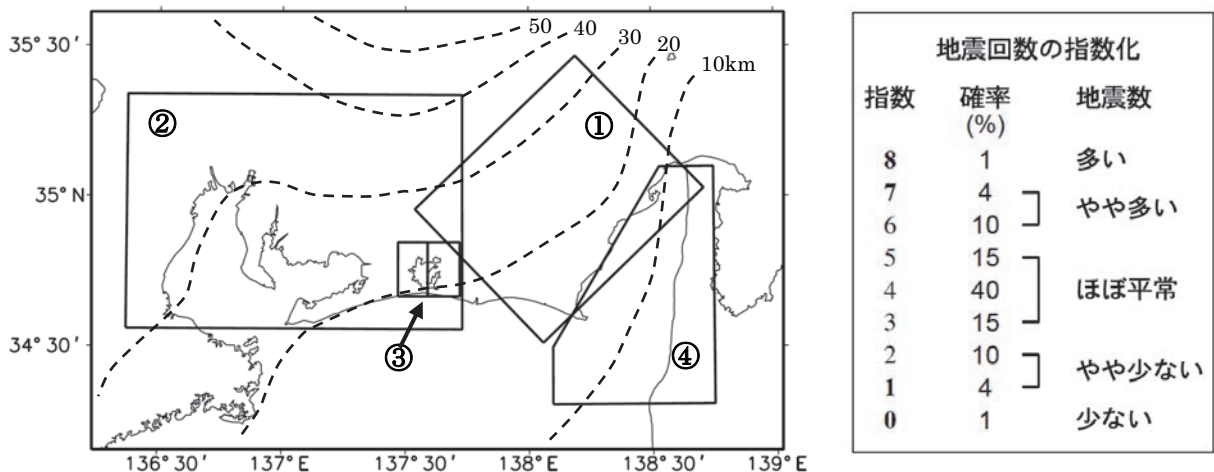
（参考）

2015年9月23日 現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾	
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内 全域	西側	東側	全域	余震 除去
短期活動指数	8	4	2	5	3	4	3	4	4
短期地震回数 （平均）	11 (5.29)	6 (7.00)	8 (13.16)	17 (14.15)	4 (6.16)	2 (2.46)	2 (3.70)	6 (6.06)	4 (3.89)
中期活動指数	6	3	2	5	4	6	2	4	4
中期地震回数 （平均）	22 (15.87)	17 (21.00)	32 (39.48)	47 (42.44)	10 (12.32)	7 (4.93)	3 (7.39)	13 (12.12)	6 (7.79)

- * Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M \geq 1.1、駿河湾：M \geq 1.4
- * クラスタ除去：震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。
静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺： $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$
駿河湾： $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$
- * 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間
浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間
- * 基準期間： おおむね長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）発生前の地震活動を基準とする。
静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、
浜名湖周辺：1998年－2000年（3年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）

- [各領域の説明]
- ① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。
 - ② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。
 - ③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。
 - ④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。
- 余震除去：2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除いて活動指数を求めた場合。

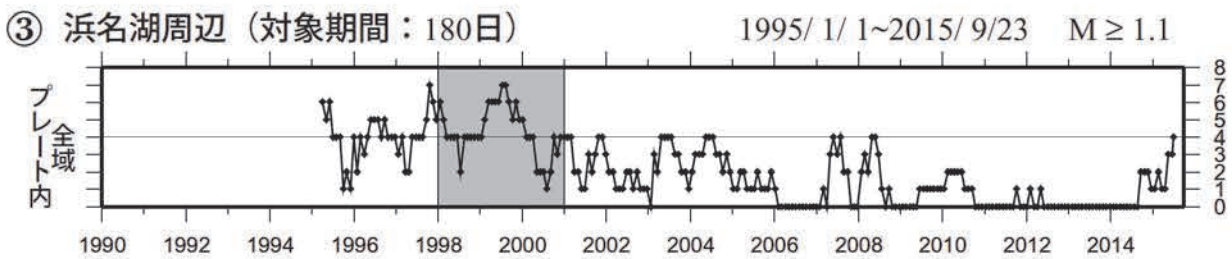
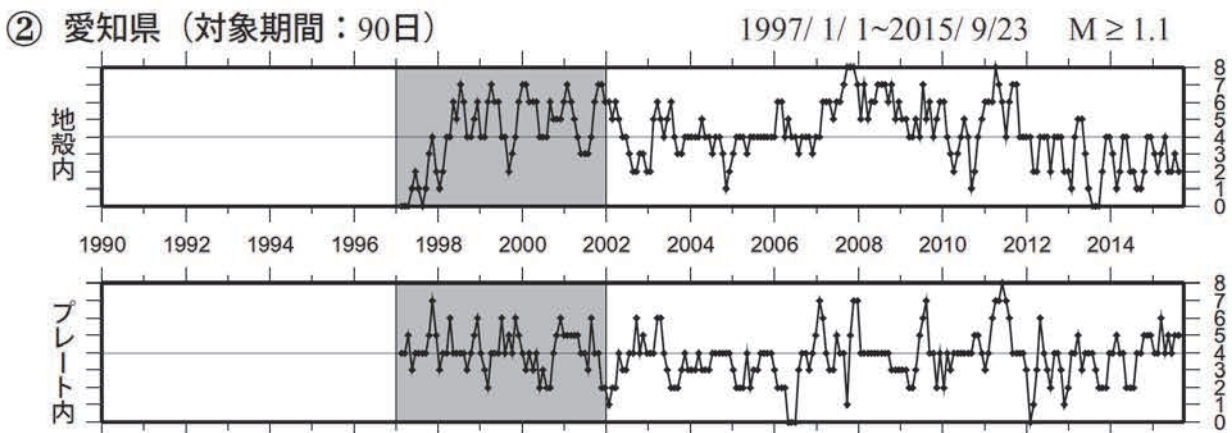
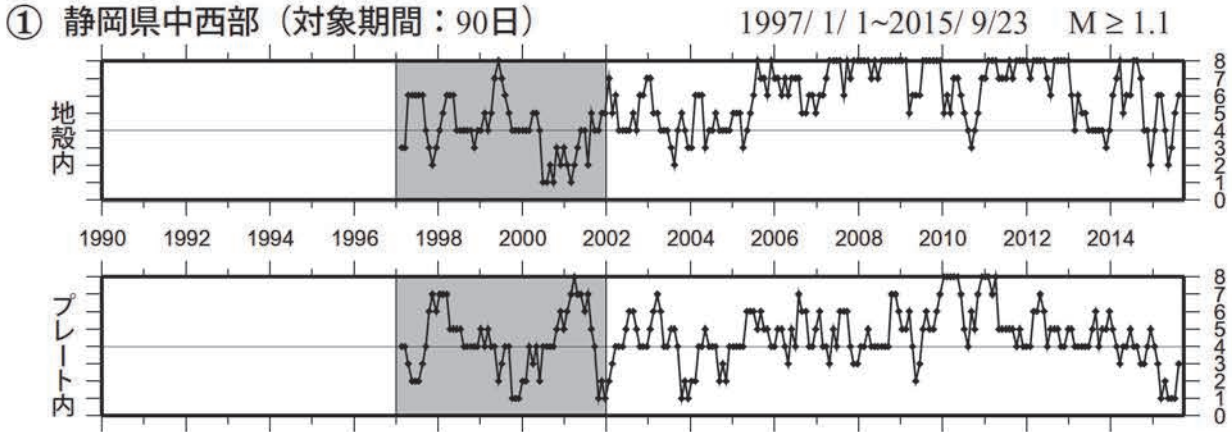


* Hirose et al. (2008) によるプレート境界の等深線を破線で示す

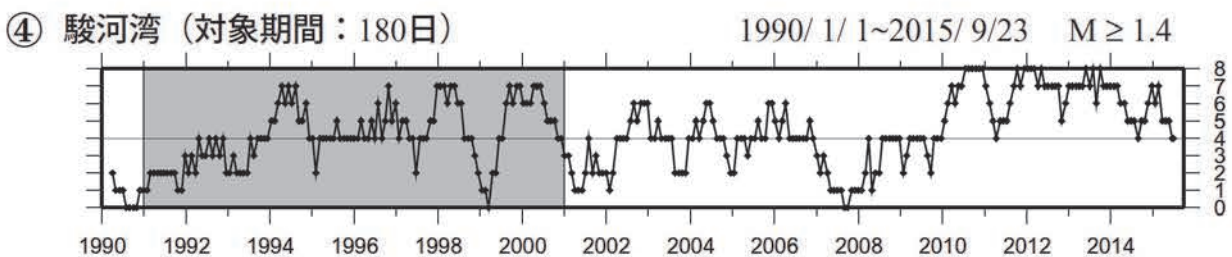
図2 東海地域の地震活動指数

気象庁作成

地震活動指数の推移（中期活動指数）



少ない
（継続中）



2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除去した場合

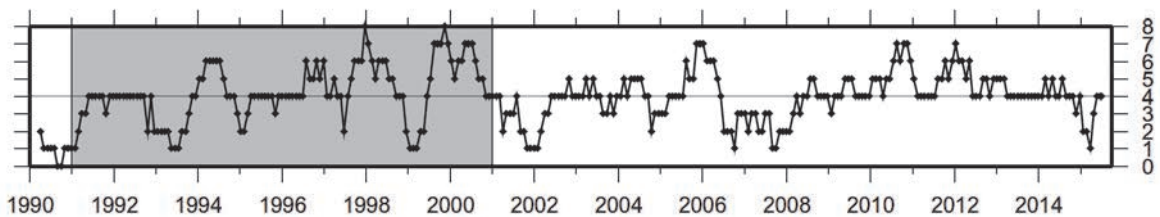


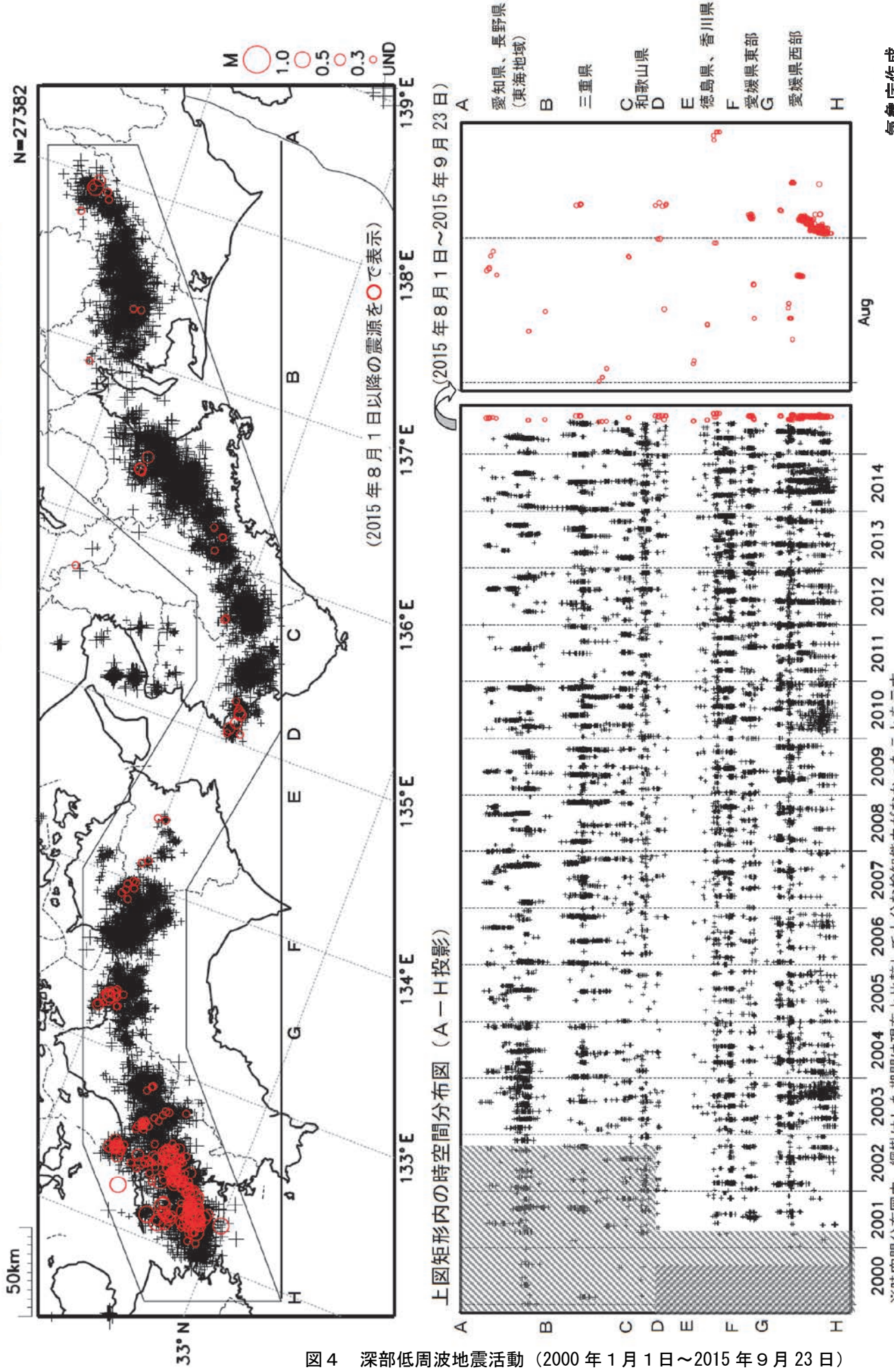
図3 東海地域の地震活動指数の推移 □：基準期間 ▲：地震活動指数（0-8）

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、地震の発生頻度の低い状態が続いている。その他の地域では概ね平常レベルである。

気象庁作成

深部低周波地震は、「短期的ゆっくりに密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

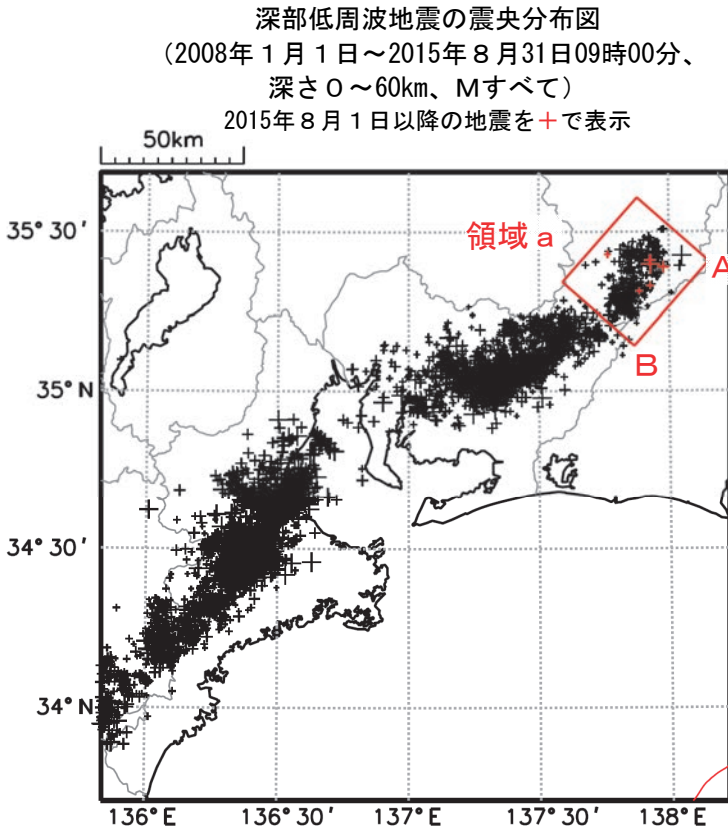
深部低周波地震活動 (2000 年 1 月 1 日 ~ 2015 年 9 月 23 日)



気象庁作成

図 4 深部低周波地震活動 (2000 年 1 月 1 日 ~ 2015 年 9 月 23 日)

8 月 24 日から 8 月 29 日にかけての長野県南部の深部低周波地震活動



2015年8月24日から8月29日にかけて、長野県南部を震央とする深部低周波地震を観測した。

2008年以降の活動を見ると、今回の活動領域での周辺では、半年に1回程度、深部低周波地震のまとまった活動が発生している。

領域 a 内の M-T 図

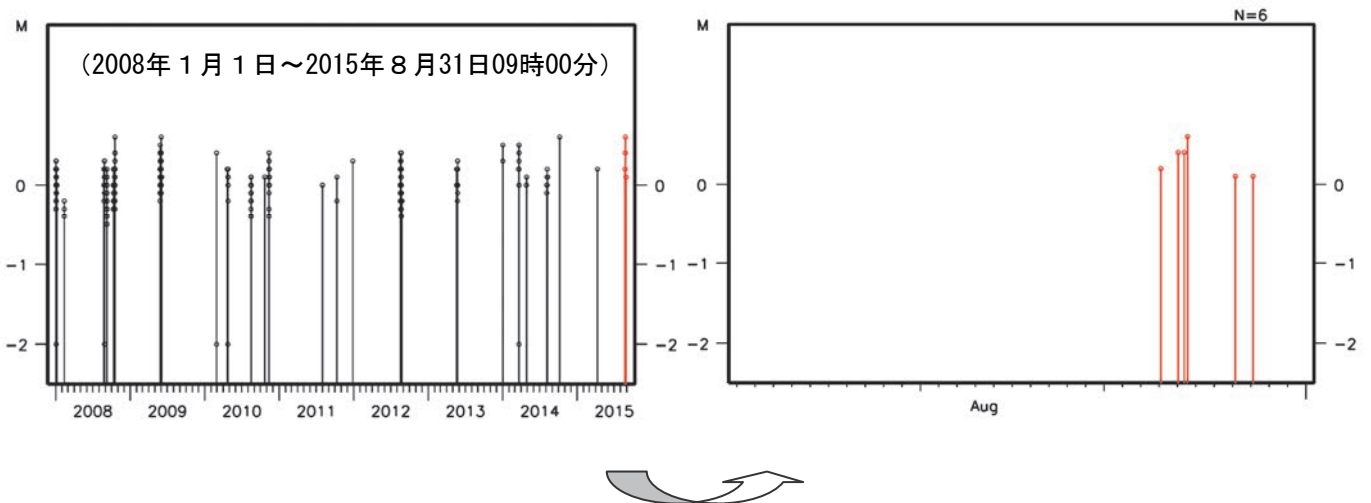


図5 8月24日から8月29日にかけての長野県南部の深部低周波地震活動

気象庁作成

ひずみ変化と推定されるゆっくりすべり領域

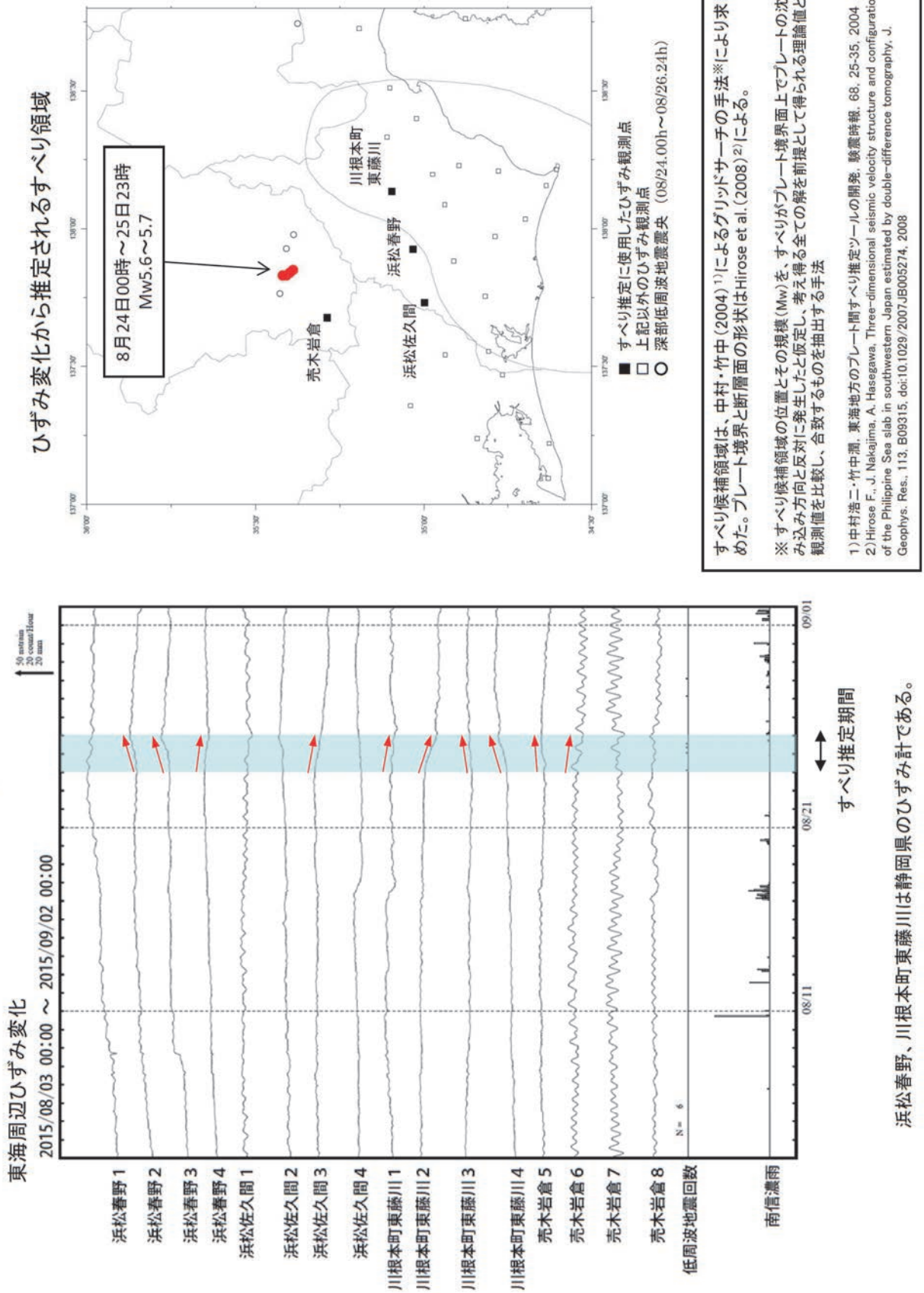


図6 ひずみ変化と推定されるゆっくりすべり領域

8月29日から9月2日にかけての 静岡県中部（御前崎付近）の地震活動

震央分布図

(1997年10月1日～2015年9月23日、
深さ0～60km、M≥1.0)

2015年8月29日以降の地震を濃く表示
破線は東海地震の想定震源域を示す

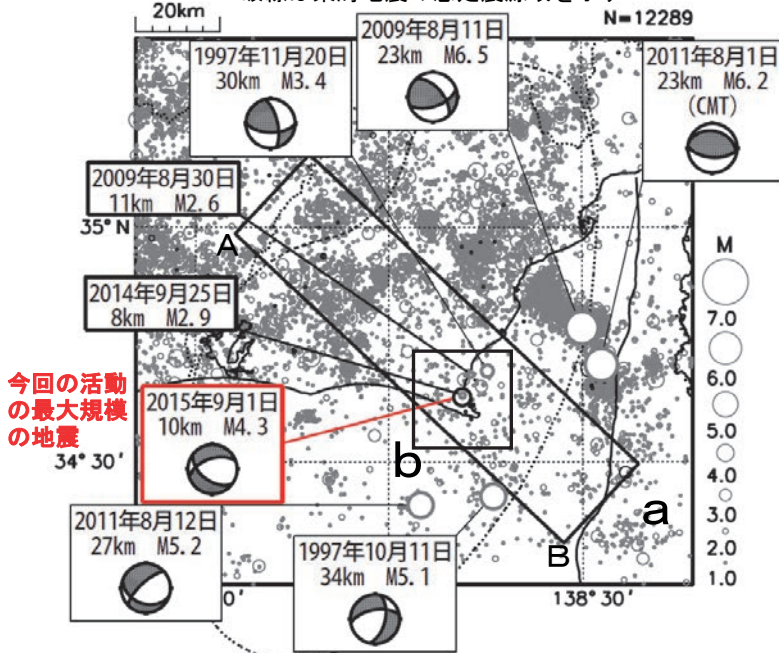
情報発表に用いた震央地名は「静岡県西部」である。

2015年8月29日から静岡県中部でややまとまった地震活動が見られた。今回の活動で最大規模の地震は9月1日00時29分のM4.3の地震（深さ10km、最大震度3）である。9月1日までに震度1以上を観測する地震が8回発生した。まとまった活動は2日まで見られた。3日以降、活動は収まっている。

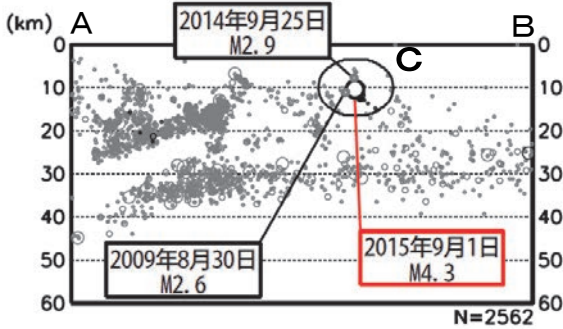
9月1日のM4.3の地震の発震機構は、南北方向に張力軸を持つ型である。これらの地震は地殻内で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域c）では、M3.0以上の地震は今回が初めてであった。2009年8月から9月にかけて、2014年9月にややまとまった活動が見られた。

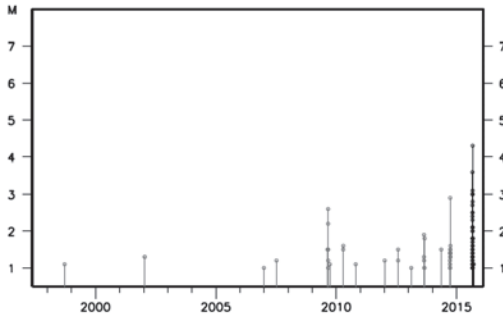
なお、東海地域のひずみ計には特段の変化は現れていない。



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 c 内の M-T 図

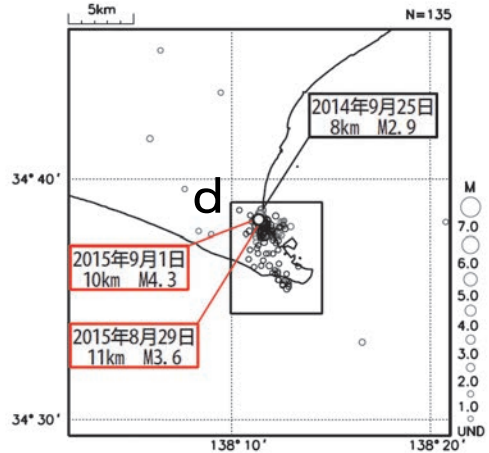


最大震度別地震回数

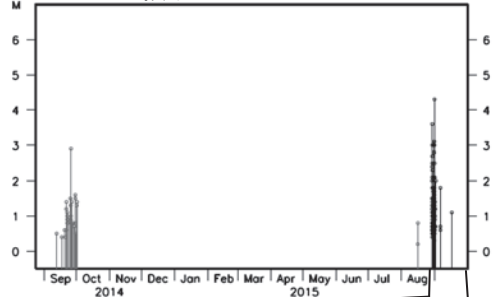
最大震度	回数
3	1回
2	2回
1	5回

領域 b 内の震央分布図

(2014年9月1日～2015年9月23日、
深さ0～20km、Mすべて)



領域 d 内の M-T 図



(2015年8月29日～9月23日)

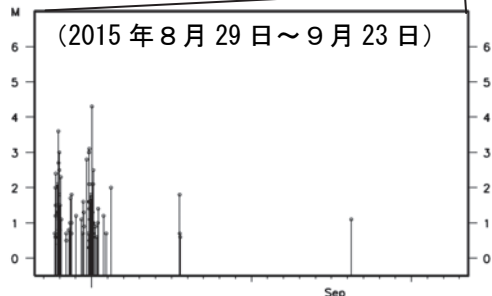


図7 8月29日から9月2日にかけての静岡県中部（御前崎付近）の地震活動

気象庁作成

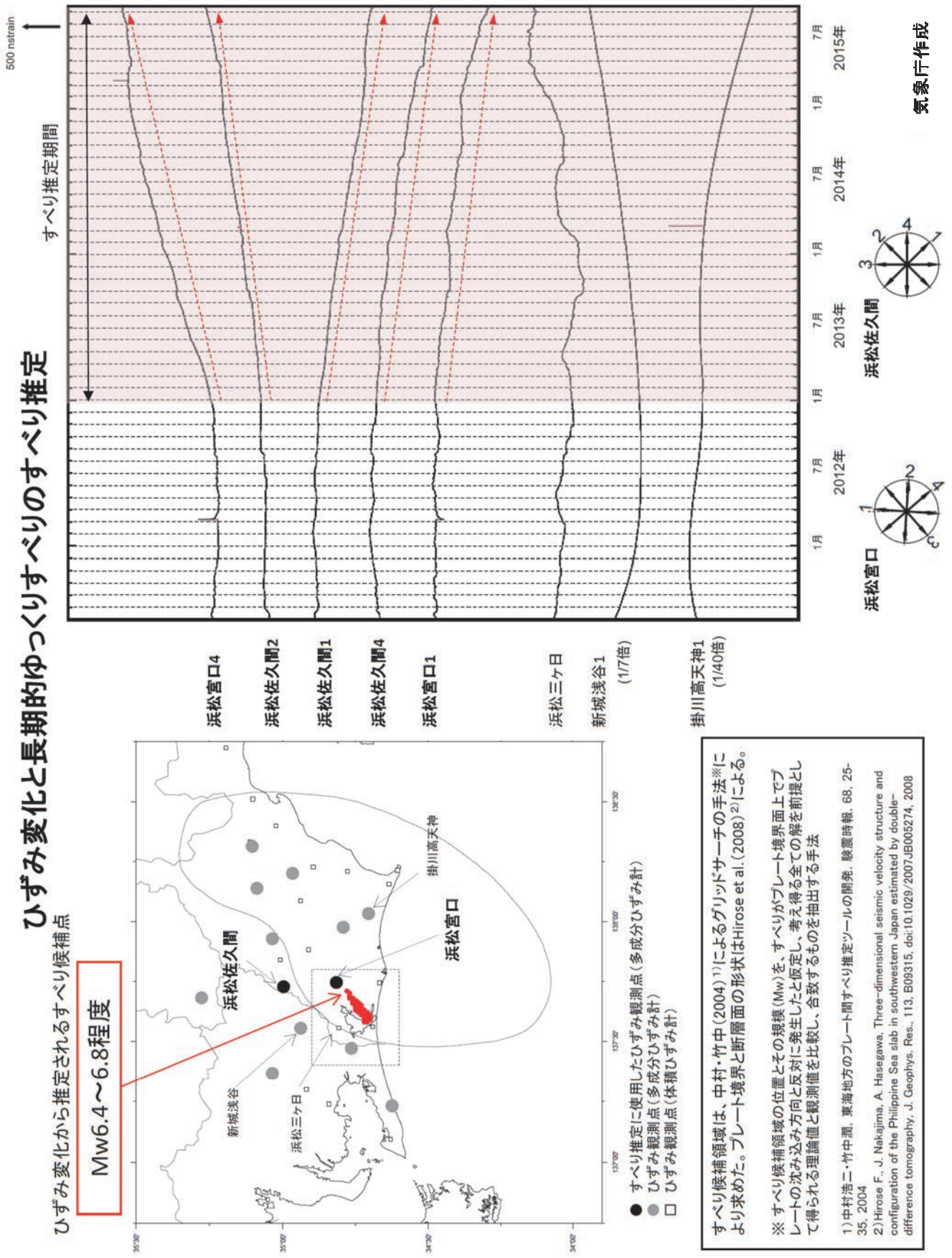
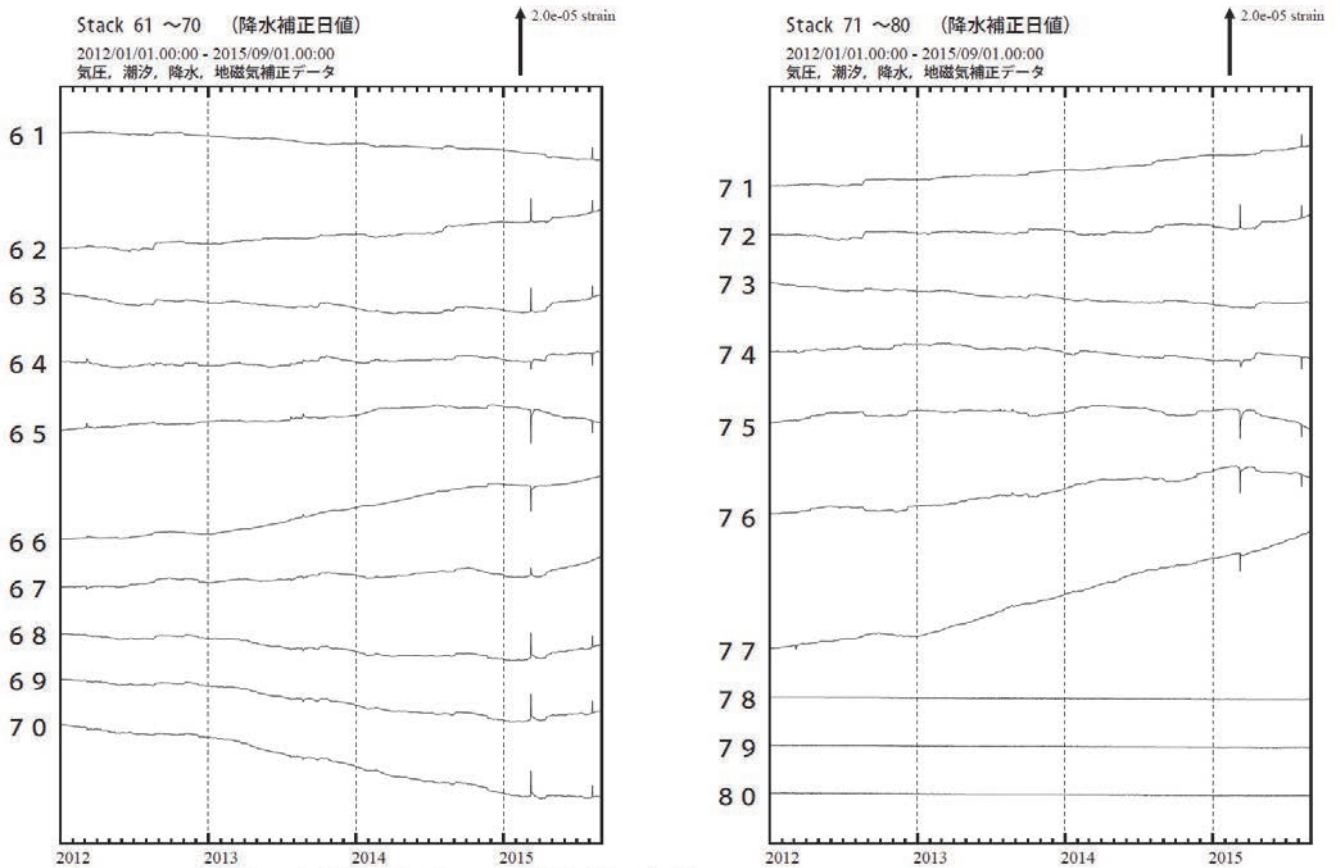


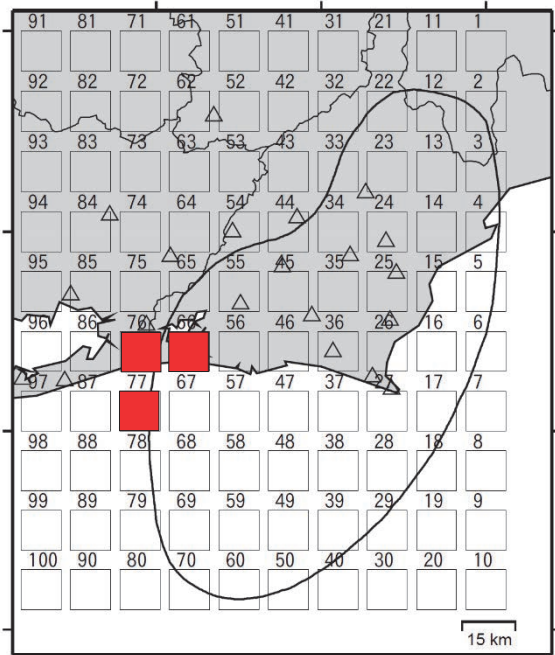
図8 ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定

スタッキング*による長期的ゆっくりすべりの検出について



日値スタッキング波形。番号は監視グリッド（左下図参照）を示す。

- データ : 補正日値（体積ひずみ計とアナログ式多成分ひずみ計）
- ノイズレベル : 2011年6月～2012年12月の、60日階差（単純な階差）の標準偏差
- 理論値計算 : 0.15° ごとの各グリッドを中心とする、20×20kmの断層



グリッド配置及びすべり位置

グリッド No.66, 76 及び No.77 に明瞭な変化が見られている。総すべり量は Mw6.6 相当となる。

□ スタッキンググリッド

*スタッキング手法は、ひずみ計のデータを重ね合わせることによって、微小な地殻変動のシグナルを強調させて、検知能力を向上させる解析方法である。

参考文献

宮岡一樹, 横田 崇 (2012): 地殻変動検出のためのスタッキング手法の開発—東海地域のひずみ計データによるプレート境界すべり早期検知への適用—, 2012, 地震 2, 65, 205-218.

気象庁・気象研究所作成

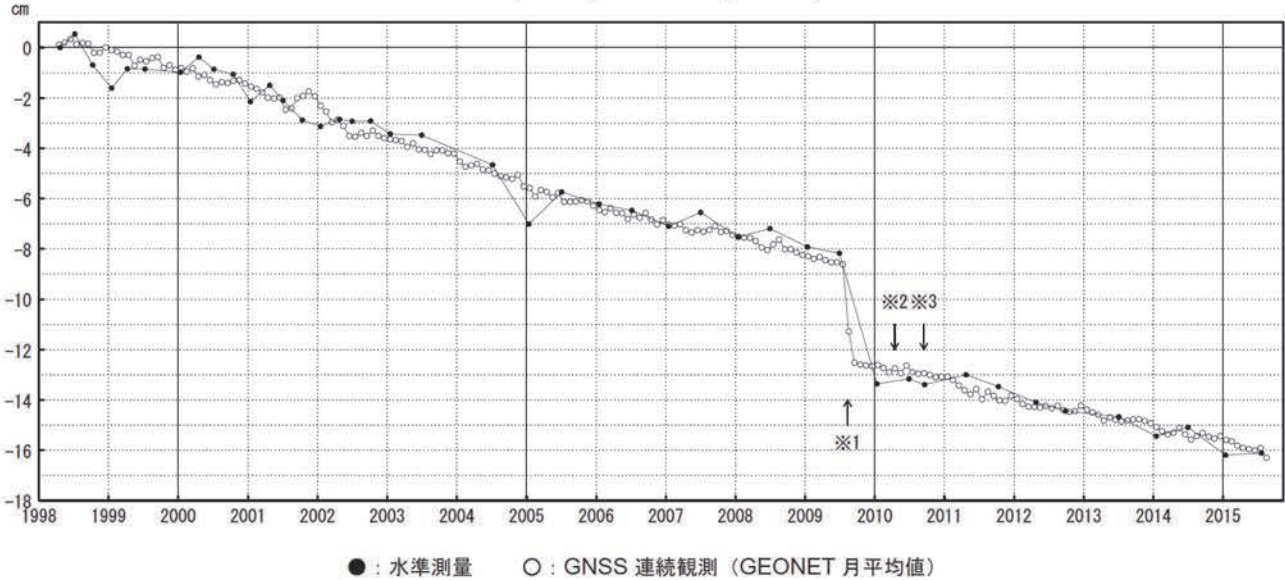
図9 スタッキングによる長期的ゆっくりすべりの検出

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

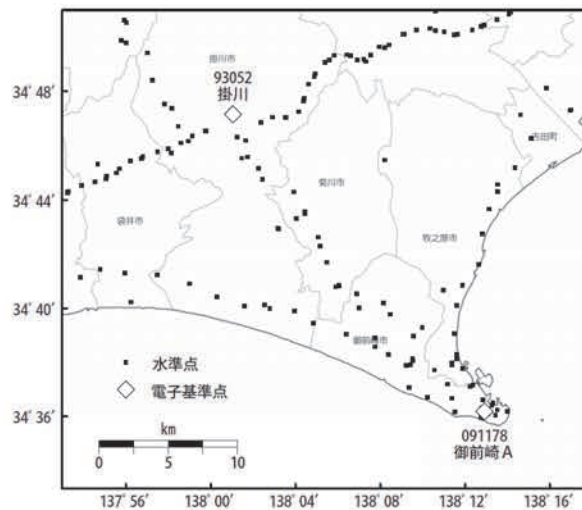
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 (93052) - 御前崎 A (091178)



・ 最新のプロット点は 08/01~08/29 の平均。

- ※ 1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※ 2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※ 3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。

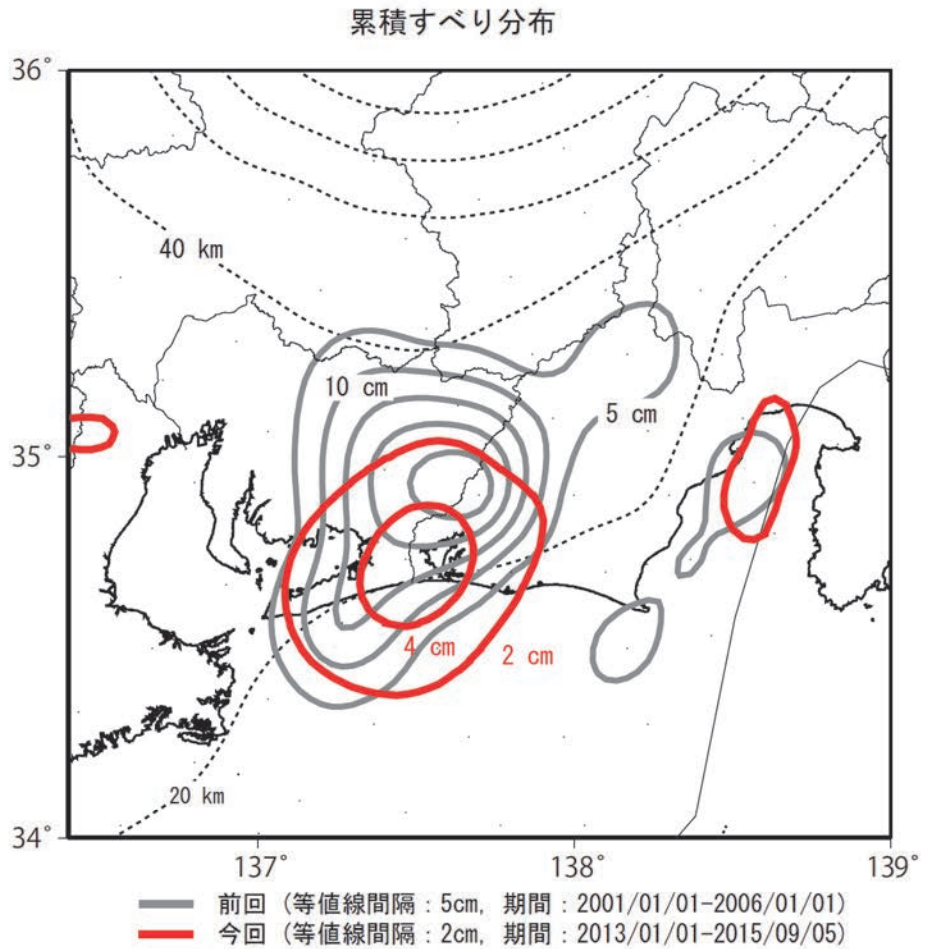


国土地理院

図 10 国土地理院 GNSS 観測結果及び水準測量による御前崎の上下変動

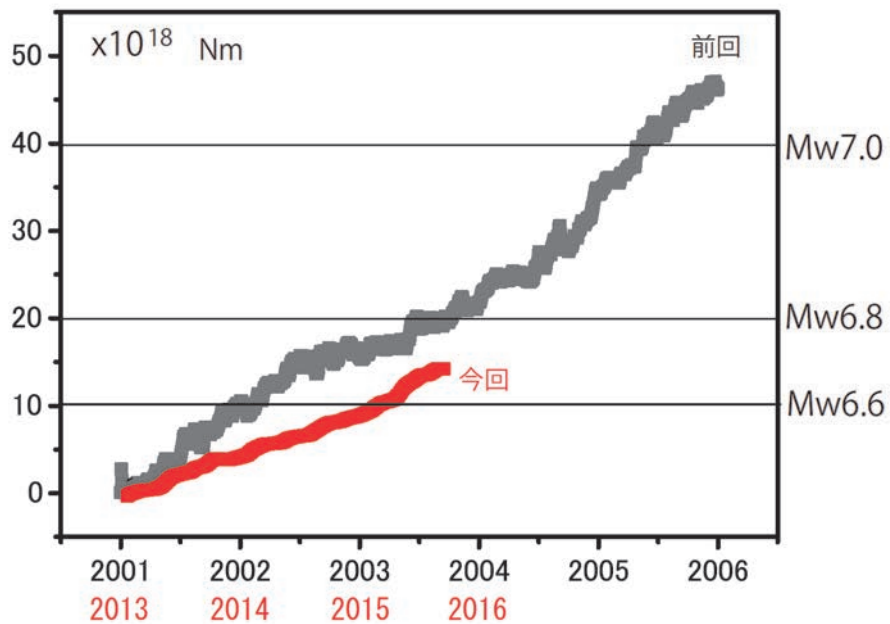
掛川から見た御前崎の上下変動を示したものである。掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向に変化は見られない。

非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化（暫定）



- ・それぞれの期間の、累積のすべり量を等値線で示している。
- ・黒破線は、沈み込む海側プレート上面の等深線。

モーメントの時間変化



- ・それぞれの期間のモーメントの時間変化を、横軸を重ねて示している。

図 11 国土地理院 GNSS 観測結果による、長期的ゆっくりすべりの発生を示唆する非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化の比較

● 日本の主な火山活動

口永良部島の火山活動は活発な状態が継続している。新岳では、6月19日のごく小規模な噴火以降、噴火は観測されていないが、火山性地震が時々発生した。火山性微動は観測されていない。火山ガスはやや少ない状態で経過している。今後も、5月29日と同程度の噴火が発生する可能性がある。大きな噴石の飛散及び火砕流の流下が切迫している居住地域では、厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。

桜島では、8月15日に南岳直下付近を震源とする火山性地震の多発や桜島島内に設置している傾斜計及び伸縮計で山体膨張を示す急激な地殻変動が観測されたため、噴火警戒レベルを3（入山規制）から、4（避難準備）に引き上げた。その後、南岳の地下に貫入したマグマの浅部への上昇は停止し、新たなマグマの貫入も生じていないと考えられることから、9月1日16時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）に引き下げた。これまで繰り返し噴火活動が続いており、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられるため、火山活動の推移に注意が必要である。また、8月15日頃に貫入したマグマのさらなる上昇は今のところみられていないが、再びマグマ貫入がある場合などには、桜島の火山活動の活発化は避けられないものとみられ、引き続き火山活動の変化を注意深く監視していく必要がある。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

阿蘇山の中岳第一火口では、14日09時43分に小規模な噴火が発生し、灰色の噴煙が火口縁上2,000mまで上がった。この噴火に伴い小規模な火砕流が発生した。変色域の分布から、火砕流は中岳第一火口から南東方向に約1.3km、北東方向に約1.0kmまで流下したと推定される。また、弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口周辺に飛散するのを確認した。今後も同程度の噴火が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から1kmを超えて飛散する可能性があると判断し、同日10時10分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げた。中岳第一火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

西之島では、海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続している。西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられる。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね2kmの範囲に及ぶおそれがあるので、西之島の中心から概ね4km以内では噴火に警戒が必要である。

箱根山では、大涌谷で6月30日から7月1日の間に発生したと考えられるごく小規模な噴火の発生以降、噴火は観測されていない。火山性地震は少ない状態で経過している。地殻変動についてはGNSS観測等により、山体膨張は停止したものと考えられる。これらのことから、11日14時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げた。一方、地震活動は低下したものの、4月下旬の活動活発化以前の状態には戻っていないこと、大涌谷周辺では活発な噴気活動が継続していることから、大涌谷周辺の想定火口域では小規模な噴火が発生する可能性がある。大涌谷周辺の想定火口域では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

雌阿寒岳では、全磁力連続観測によるとポンマチネシリ96-1火口近傍の地下における熱活動の活発化の可能性を示す全磁力の変化が継続している。ポンマチネシリ火口付近の浅いところを震源とする、微小な火山性地震は、8月以降徐々に減少しているが、2015年4月中旬より前の活動と比べて依然としてやや多い状態である。ポンマチネシリ火口から約500mの範囲では、ごく小さな噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

吾妻山では、大穴火口からの噴気活動はやや活発な状態が続いている。大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性があるため、大穴火口周辺（火口から概ね500mの範囲）では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

草津白根山では、湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側に当たる斜面で熱活動の活発

な状態が継続している。東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス成分及び湯釜湖水の化学成分にも活動活発化を示す変化がみられている。湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

浅間山では、6 月 19 日の噴火以降、噴火は観測されていない。山頂直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震は多い状態が続いている。また、二酸化硫黄の放出量も多い状態で経過しており、引き続き火山活動はやや高まった状態で経過している。今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

御嶽山では、火山活動は低下した状態が続き、昨年（2014 年）10 月以降噴火が発生していないことから、昨年 9 月 27 日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられる。一方、弱いながらも噴煙活動や地震活動が続いていることから、昨年 9 月 27 日より規模の小さな噴火が今後も突発的に発生する可能性は否定できない。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（新燃岳）では、火口直下を震源とする火山性地震が時々発生した。GNSS 連続観測によると、新燃岳周辺の一部の基線で、わずかに伸びの傾向が認められる。また、北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられていたが、2015 年 1 月頃から停滞している。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島の御岳火口では、爆発的噴火が 89 回発生するなど、活発な状態で経過した。今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるため、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

白山では、9 月 2 日に噴火警戒レベルの運用を開始し、同日 13 時 00 分に噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）を発表した。火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

**表 1 9 月 30 日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
（※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）**

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火警報	レベル 5（避難）	口永良部島※
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	阿蘇山、桜島
	入山危険	西之島※
	レベル 2（火口周辺規制）	雌阿寒岳、吾妻山、草津白根山、浅間山、御嶽山、箱根山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山、那須岳、新潟焼山、焼岳、白山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	上記以外の活火山

*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図1 9月30日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

各火山の9月の活動解説

【北海道地方】

雄阿寒岳めあかんだけ [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

ポンマチネシリ火口付近の浅いところを震源とする、微小な火山性地震は、8月以降徐々に減少しているが、2015年4月中旬より前の活動と比べて依然としてやや多い状態である。

全磁力連続観測¹⁾によると、全磁力は2014年3月以降概ね横ばいで推移していたが、2015年3月中旬以降は減少傾向を示している。このことから、ポンマチネシリ96-1火口近傍の地下では、2015年3月中旬以降熱活動が活発化している可能性がある。

ポンマチネシリ火口から約500mの範囲では、ごく小さな噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒が必要である。風下側では火山灰や小さな噴石²⁾が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

十勝岳とからだけ [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

6日から7日及び16日から17日に実施した現地調査では、6月から8月の現地調査で確認した振子沢噴気孔群の地熱域の広がりを引き続き確認した。この地熱域の広がりには17日に行った上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協

力による）においても確認し、また、振子沢噴気孔群の刺激臭を伴った噴気や62-2火口南縁と振子沢噴気孔群の間の地熱を伴ったわずかな亀裂、前十勝頂上付近の複数の列状の噴気も引き続き確認した。62-2火口底の湯だまりの湧出は停止していた。

62-2火口とその周辺では、引き続き熱活動が活発な状態が継続している。

GNSS³⁾連続観測及び繰り返し観測では、2006年以降、62-2火口直下浅部の膨張を示すと考えられる変動が引き続き認められている。火口に近い前十勝観測点では観測点周辺の局所的な変動と見られる変化が5月頃からみられていたが、7月以降鈍化している。望岳台－翁温泉－湯の滝を結ぶ基線では5月頃からわずかに伸張しており、2006年以降みられている62-2火口直下浅部よりも深い山体内でごくわずかに膨張している可能性が考えられる。この伸張は、8月以降鈍化している。

十勝岳では、直ちに噴火に至る兆候は認められないが、ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域の拡大などを確認しており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にあるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

たるまへさん
樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

山頂溶岩ドーム周辺では1999年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

アトサヌプリ [噴火予報（活火山であることに留意）]

たいせつざん
 大雪山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

くつたら
 倶多楽 [噴火予報（活火山であることに留意）]

うすざん
 有珠山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

ほっかいどうこまがたけ
 北海道駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

えさん
 恵山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

【東北地方】

あきたこまがたけ
秋田駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

めだけ
 女岳では、2009 年から地熱域の拡大が認められている。

地震活動は概ね低調で、地殻変動及び噴気活動にも大きな変化はみられないが、地熱活動が継続しているので今後の火山活動の推移に注意が必要である。

さおうざん
蔵王山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過した。火山性微動は観測されていない。

30 日に実施した現地調査では、御釜とその周辺に地熱や噴気はみられなかった。また、丸山沢の地熱や噴気の状態は、前回（2014 年 10 月 9 日）と比較して特段の変化はみられなかった。

GNSS³⁾ 連続観測では、一部の基線で 2014 年 10 月以降わずかな膨張を示す地殻変動が観測されていたが、2015 年 7 月頃から停滞している。

2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、2014 年 10 月以降はわずかな膨張を示す地殻変動が観測されるなど、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にあるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

あづまやま
吾妻山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

大穴火口付近直下を震源とする火山性地震は、13 日に 26 回と一時的に増加し、9 月の地震回数は 96 回（前月 44 回）とやや多い状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。

浄土平の傾斜計⁴⁾では、2014 年 4 月以降、緩やかな西側（火口方向側）上がりの変動が継続していたが、2015 年 7 月頃から停滞している。GNSS³⁾ 連続観測では、2014 年 9 月頃から一切経^{いっさいきょう}山付近の膨張を示す緩やかな変化がみられていたが、2015 年 6 月頃から停滞している。国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、2014 年 12 月頃から一部の基線で山体の膨張を示す地殻変動が見られていたが、2015 年 7 月頃から停滞している。

大穴火口から概ね 500m の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒が必要である。大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石²⁾、火山ガスに注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

いわきざん
 岩木山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

はっこうざん
 八甲田山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

あきたやけやま
 秋田焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

いわてざん
 岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

ちようかいざん
 鳥海山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

くりこまやま
 栗駒山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

あだたらやま
 安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

ほんだいざん
 磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】

くまづしらねざん
草津白根山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

2014 年 3 月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加した。2014 年 8 月 20 日以降はやや少ない状態で経過しているが、2015 年 1 月と 2 月に一時的な火山性地震の増加がみられた。地殻変動観測によると、2014 年 4 月頃から湯釜付近の膨張を示す変動が認められていたが、2015 年 4 月頃より鈍化している。

湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側に当たる斜面で熱活動の活発な状態が

継続している。東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス成分及び湯釜湖水の化学成分にも活動活発化を示す変化がみられている。一方、全磁力観測¹⁾による 2014 年 5 月以降の湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる変化は、2014 年 7 月以降停滞している。

湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒が必要である。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石²⁾が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷地形などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがあるので、注意が必要である。

あさまやま 浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

浅間山では、6 月 19 日の噴火以降、噴火は観測されていない。

山頂直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震は多い状態が続いている。発生した地震の多くは BL 型地震（低周波地震）であった。7 月に増加した周期の短い火山性地震（BH 型地震）は、8 月以降減少している。震源の浅部への移動等の変化はみられていない。火山性微動は、8 月 19 日以降、やや増加していたが、9 月以降少ない状態で経過している。

山頂火口で、夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映⁵⁾を引き続き観測しており、噴煙量は 6 月以降、増加傾向がみられる。

2 日及び 30 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は 1 日あたり 600～1,900 トン（前回 8 月 3 日 1,500 トン）と引き続き多い状態で経過している。

GNSS³⁾連続観測では、2009 年秋頃から縮みの傾向がみられていたが、一部の基線で 2015 年 5 月頃からわずかな伸びがみられる。傾斜計⁴⁾では、6 月上旬頃から山頂西側のやや深いところを膨張源とする緩やかな変化がみられており、7 月下旬頃からは鈍化しながらも継続している。光波測距観測⁶⁾では、6 月頃から山頂と追分の間で縮みの傾向がみられており、山頂部のごく浅いところの膨張によるものである可能性がある。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒が必要である。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石²⁾に注意が必要である。

みだかはら 弥陀ヶ原 [噴火予報（活火山であることに留意）]

弥陀ヶ原近傍を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は低調に経過している。

以前から熱活動が活発な立山地獄谷では、2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されていることから、今後の火山活動の推移に注意が必要である。また、この付近では火山ガスが高濃度になることがあるので、注意が必要である。

おんたけさん 御嶽山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

今期間、火山性地震は少ない状態で経過しているが、2014 年 8 月以前の状況には戻っていない。低周波地震及び火山性微動は観測されていない。

御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、昨年（2014 年）10 月以降噴火が発生していないことから、昨年 9 月 27 日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられる。一方、弱いながらも噴煙活動や地震活動が続いていることから、昨年 9 月 27 日より規模の小さな噴火が今後も突発的に発生する可能性は否定できない。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石²⁾に注意が必要である。

ふじさん 富士山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード 6.4 の地震以降、地震活動が活発な状況となっていたが、その後、地震活動は低下してきている。その他の観測データでも浅部の異常を示すものはない。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。

はこねやま 箱根山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）←11 日に噴火警戒レベル 3（入山規制）から引下げ]

箱根山では、大涌谷で 6 月 30 日から 7 月 1 日の間に発生したと考えられるごく小規模な噴火の発生以降、噴火は観測されていない。

火山性地震は 7 月以降減少しており、少ない状態で経過している。低周波地震及び火山性微動は観測されていない。

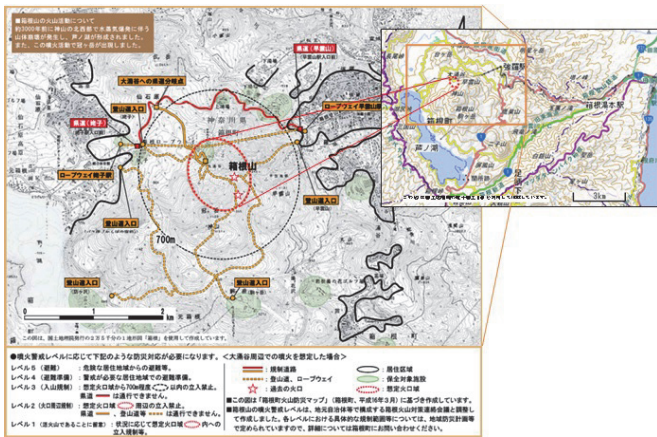
気象庁と神奈川県温泉地学研究所が設置している傾斜計⁴⁾及び気象庁の湯河原鍛冶屋の体積ひずみ計⁷⁾では 8 月以降火山活動に関連する変動は見られていない。国土地理院の GNSS³⁾連続観測によると、箱根山周辺の基線で 4 月から山

体の膨張を示す地殻変動がみられていたが、8月下旬頃からその傾向が停滞しており、山体膨張は停止したものと考えられる。

これらのことから、11日14時00分に火口周辺警報を発表し、箱根山の噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げた。

3日及び29日に実施した現地調査では、前回（8月28日）の調査と同様に、15-1火口内部で暗灰色の土砂噴出とみられる現象を観測した。現象の規模は小さく、噴出の高さは火口縁以下の高さで、観測中火口縁から外へ噴出物が飛散することはなかった。15-1火口及びいずれの噴気孔から引き続き噴煙や噴気が勢いよく噴出しているのを確認した。噴石の飛散やその形跡は認められなかった。大涌谷全体の状況としては、前回の現地調査の時と比較して、噴煙や噴気量に大きな変化はみられていない。

地震活動は低下したものの、4月下旬の活動活発化以前の状態には戻っていないこと、大涌谷周辺では活発な噴気活動が継続していることから、大涌谷周辺の想定火口域では小規模な噴火が発生する可能性がある。大涌谷周辺の想定火口域では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒が必要である。また、風下側では火山灰や風に流されて降る小さな噴石²⁾や火山ガスに注意が必要である。



警戒が必要な範囲：大涌谷周辺の想定火口域（図の赤円内）

伊豆大島【噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）】

火山性地震は少ない状態で経過している。GNSS³⁾による観測では、地下深部へのマグマの供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いている。2011年頃から鈍化していたが、2013年8月頃から再び膨張傾向がみられる。その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意が必要である。

三宅島【噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）】

山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過している。火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013年9月以降は1日あたり500トン以下で経過している。

火口内では噴出現象が突発的に発生する可能性がある。山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒が必要である。また、火山ガスの放出が継続していることから、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性がある。と予想される地域では警戒が必要である。

西之島【火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報】

海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続している。16日に海上保安庁が、20日に第三管区海上保安本部が上空からの観測を実施した。第7火口内及び火砕丘東斜面の噴気帯から、青白色から白色の火山ガスが連続的に放出されており、西之島周囲の海岸線には、薄い褐色の変色水が分布していた。

16日の観測では、火砕丘北東にある溶岩流出口から流出した溶岩は、西、北西及び火砕丘の東側を回り込んだ南方向の3方向に流出し、新たな陸地の大きさは、東西約1,940m、南北1,950m、面積2.671km²となり、前回（8月19日：東西方向約1,970m、南北方向1,970m、面積約2.71km²）と比べて大きな変化はなかった。西之島及び新たな陸地には、津波を発生させる恐れのある、海岸線に平行して走る断層やクラックは認められなかった。

西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられる。

また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾や水面を高速で広がるベースサージ⁸⁾等の影響が概ね2kmの範囲に及ぶおそれがあるので、西之島の中心から概ね4km以内の範囲では噴火に警戒が必要である。

硫黄島【火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報】

火山性地震はやや少ない状態で経過したが、14日には振幅の大きな火山性地震が発生した後一時的に増加した。火山性微動は8回発生した。火山性微動が観測された時間帯に、その他の観測データに異常は認められなかった。

GNSS³⁾連続観測によると、地殻変動は2014

年 12 月上旬頃から隆起の傾向がみられ、2015 年 3 月頃から隆起速度が上がっている。また、国土地理院の GNSS³⁾ 観測によると 2015 年 4 月中旬頃から西向きの変動速度が上がっていたが、7 月以降は以前の速度まで戻っている。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生している。このことから火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火が発生している地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒が必要である。

福岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福岡ノ場では長期にわたり火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010 年 2 月 3 日には小規模な海底噴火が発生している。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では噴火に警戒が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

- 那須岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]
- 日光白根山 [噴火予報（活火山であることに留意）]
- 新潟焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]
- 焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]
- 白山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]
- 乗鞍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]
- 伊豆東部火山群 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]
- 新島 [噴火予報（活火山であることに留意）]
- 神津島 [噴火予報（活火山であることに留意）]
- 八丈島 [噴火予報（活火山であることに留意）]
- 青ヶ島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

【九州地方及び南西諸島】

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過し

ており、噴火の兆候は認められないが、GNSS³⁾ 連続観測によると、わずかに伸びの傾向が認められるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）←14 日に噴火警戒レベル 2（火口周辺規制）から引上げ]

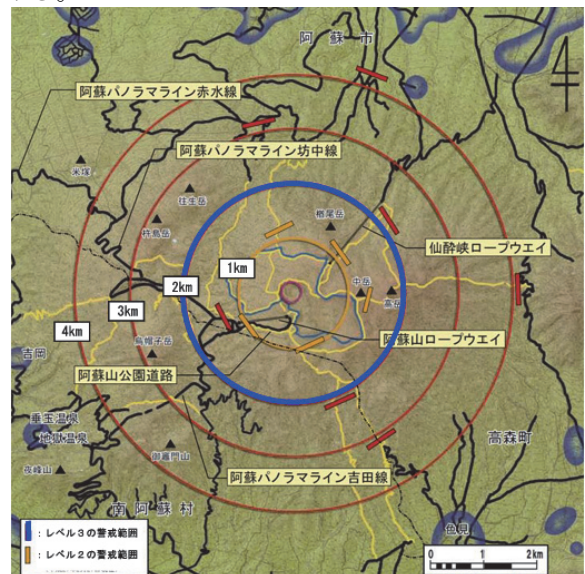
中岳第一火口では、14 日 09 時 43 分に小規模な噴火が発生し、灰色の噴煙が火口縁上 2,000 m まで上がり、北西方向へ流れた。この噴火に伴い小規模な火砕流が発生し、火口周辺に流下した。また、弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾ が火口周辺に飛散するのを確認した。

今後も同程度の噴火が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾ が火口から 1 km を超えて飛散する可能性があるかと判断し、同日 10 時 10 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 3（入山規制）に引き上げた。

14 日に九州地方整備局の協力により、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が実施した上空からの観測では、中岳第一火口周辺に変色域が認められ、南東方向に約 1.3km、北東方向に約 1.0km 広がっているのを確認した。この変色域は、概ね火砕流が流下した領域に対応すると考えられる。

14 日に実施した現地調査及び聞き取り調査によると、火口より西側の熊本県北部から福岡県の一部にかけて降灰を確認した。

阿蘇山では、14 日の噴火以降、連続的な噴火が発生しており、活発な噴火活動が続いている。中岳第一火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾ 及び火砕流に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石²⁾ に注意が必要である。



阿蘇山 警戒が必要な範囲（図の青円内）

霧仙岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められないが、長期的には 2010 年頃から火山性地震の活動がやや活発となっているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

新燃岳火口直下を震源とする火山性地震が時々発生した。

GNSS³⁾ 連続観測によると、新燃岳周辺の一部の基線で、わずかに伸びの傾向が認められる。

また、新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向が見られていたが、2015 年 1 月頃から停滞している。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性があるため、新燃岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾ に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石²⁾ に注意が必要である。降雨時には、泥石流に注意が必要である。

霧島山（御鉢）〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山性地震は 15 日に 20 回と一時的に増加し、月回数は 50 回で前月（8 月：29 回）と比べ増加した。火山性地震の回数が 1 日あたり 20 回以上となったのは、2010 年 5 月 2 日の 21 回以来である。震源は、主に御鉢付近のごく浅いところに分布した。火山性微動は観測されていない。

18 日に実施した現地調査では、火口内の噴気に特段の変化は認められなかった。赤外熱映像装置⁹⁾ による観測では、2010 年 11 月と比べ、火口底付近で熱異常域の範囲が縮小していた。

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められないが、7 月頃から火山性地震の活動がやや活発となっているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）〕←1 日に噴火警戒レベルを 4（避難準備）から引下げ

桜島では、8 月 15 日に南岳直下付近を震源とする火山性地震の多発や桜島島内に設置している傾斜計⁴⁾ 及び伸縮計¹⁰⁾ で山体膨張を示す急激な地殻変動が観測されたため、噴火警戒レベルをそれまでの 3（入山規制）から、4（避難準備）に引き上げた。

その後、南岳の地下に貫入したマグマの浅部への上昇は停止し、新たなマグマの貫入も生じていないと考えられることから、1 日 16 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 3（入山規制）に引き下げた。

昭和火口では、爆発的噴火が 46 回（8 月：5 回）発生するなど、活発な噴火活動が継続した。

また、同火口では、夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映⁵⁾ を時々観測した。

南岳山頂火口では、13 日と 28 日に噴火が発生した。南岳山頂火口で噴火が発生したのは、2014 年 11 月 7 日以来である。このうち 28 日 02 時 33 分の噴火では、噴煙は火口縁上 2,700m まで上がった。

桜島島内での傾斜計⁴⁾ や GNSS³⁾ による観測では、8 月 15 日の急激な山体膨張を示す変動以降、大きな変化はみられていない。始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の膨張を示す伸びの傾向は、長期的には継続した状態が続いている。

これまで繰り返し噴火活動が続いており、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられるため、火山活動の推移に注意が必要である。また、8 月 15 日頃に貫入したマグマのさらなる上昇は今のところみられないが、再びマグマ貫入がある場合などには、桜島の火山活動の活発化は避けられないものとみられ、引き続き火山活動の変化を注意深く監視していく必要がある。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾ 及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石²⁾（火山れき¹¹⁾）が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要である。また、降雨時には土石流に注意が必要である。



桜島 警戒が必要な範囲

さつまいおうじま

薩摩硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性がある。また、火口周辺では火山ガスに注意が必要である。

くちのえらぶじま

口永良部島 [噴火警報（噴火警戒レベル 5、避難）及び火山現象に関する海上警報]

口永良部島の火山活動は活発な状態が継続している。

新岳では、6月19日のごく小規模な噴火以降、噴火は観測されていない。

火山性地震は9月上旬まではやや多い状態であったが、次第に減少している。火山性微動は観測されていない。

東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所、屋久島町及び気象庁が実施した観測では、二酸化硫黄の放出量は10日に1日あたり700トンとやや多くなったが、それ以外は1日あたり100～200トン（8月200～300トン）とやや少ない状態であった。

今後も、5月29日と同程度の噴火が発生する可能性がある。大きな噴石²⁾の飛散及び火砕流の流下が切迫している居住地域では、嚴重な警戒（避難等の対応）が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石²⁾が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。降雨時には土石流の可能性があるので注意が必要である。新岳火口から半径2海里以内の周辺海域では、噴火による影響が及ぶ恐れがあるので、噴火に警戒が必要である。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御岳火口では、爆発的噴火が89回発生するなど、活発な状態で経過した。

24日には69回の爆発的噴火が発生した。爆発的噴火の日回数が50回を超えたのは、2013年12月30日以来である。噴火に伴う噴煙が、最高で火口縁上1,500m（8月：1,200m）まで上がった。

同火口では、夜間に高感度カメラで火映⁵⁾を

観測した。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、7日に集落（御岳の南南西約4km）で降灰が観測された。24日からの爆発的噴火では、島内でガラスやふすま等の揺れが感じられた他、爆発音や鳴動が確認されている。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石²⁾が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

つるみだけ がらみだけ

鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- 1) 火山体の南側で全磁力を観測した場合、全磁力値が減少すると火山体内部で温度上昇が、全磁力値が増加すると火山体内部で温度低下が生じていると推定される。
- 2) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことである。
- 3) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。
- 4) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがある。
- 5) 赤熱した溶岩や高温の火山ガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象。
- 6) レーザなどを用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定する機器。山体の膨張や収縮による距離の変化を観測する。
- 7) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等で変化が観測されることがある。
- 8) 火山ガスと火山灰等の混合物が、水面や地表面を高速で横方向に広がり、地表の物を巻き込む現象。人体や建物、船舶等に大きな被害を与える恐れがあり、とても危険である。
- 9) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器である。熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 10) 火山活動による地殻の伸び縮みを観測する機器。マグマ溜まりや火道内の圧力増加によって生じる火口周辺の変化が観測されることがある。
- 11) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。

表 2 平成 27 年 9 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
口永良部島	噴火警報 (噴火警戒レベル 5、避難)	解説情報 第 239 号～296 号	1 日～13 日 15 日、16 日 18 日～28 日 10 時 00 分 16 時 00 分 14 日 10 時 20 分 16 時 00 分 17 日 10 時 10 分 16 時 00 分 29 日、30 日 16 時 00 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。
桜島	噴火警報 (噴火警戒レベル 4、避難準備)	解説情報第 104 号	1 日 10 時 00 分	噴火の状況。傾斜計・伸縮計・地震回数等火山活動の状況。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	噴火警報	1 日 16 時 00 分	火山性地震の減少、傾斜計や衛星による地殻変動の観測結果などから、以前の火山活動に戻っていると判断し、噴火警戒レベル 3（入山規制）に引下げ。
		解説情報第 105 号	1 日 16 時 40 分	
		火山活動解説資料	1 日 17 時 30 分	
		解説情報 第 106 号～113 号	4 日、7 日、11 日、 14 日、18 日、21 日、 25 日、28 日 16 時 00 分	爆発的噴火による大きな噴石の飛散状況や噴煙の状況。地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。
		降灰予報（速報）	10 日 10 時 17 分 18 時 13 分 28 日 02 時 44 分	噴火発生から 1 時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
降灰予報（詳細）	10 日 10 時 35 分 18 時 30 分 28 日 03 時 00 分	噴火発生から 6 時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。		
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 70 号～72 号	4 日、7 日、11 日 16 時 00 分	噴煙・火山性微動等の火山活動の状況。現地調査の状況。
		噴火速報	14 日 09 時 50 分	噴火の発生事実を迅速に発表。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	噴火警報	14 日 10 時 10 分	14 日 09 時 43 分に噴火が発生。弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から 1 km 以上に飛散する可能性があることから、噴火警戒レベル 3（入山規制）に引上げ。
		解説情報第 73 号	14 日 12 時 20 分	
		火山活動解説資料	14 日 13 時 20 分	
		解説情報 第 74 号～80 号	14 日 17 時 10 分 15 日 10 時 00 分 16 時 00 分 18 日、21 日、25 日、 28 日 16 時 00 分	噴煙・火山性微動等火山活動の状況。上空からの観測、現地調査の状況。
		火山活動解説資料	14 日 21 時 20 分	
		降灰予報（速報）	15 日 14 時 47 分	噴火発生から 1 時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
降灰予報（詳細）	14 日 10 時 35 分 15 日 15 時 16 分 15 日 15 時 05 分	噴火発生から 6 時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。		
箱根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 94 号～124 号	1 日～31 日 16 時 00 分	噴気・地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	噴火警報	11 日 14 時 00 分	7 月 1 日のごく小規模な噴火以降噴火が発生していないこと、火山性地震が減少していること、地殻変動観測から山体膨張が停止したと考えられることなどから、火山活動は低下していると判断し、噴火警戒レベル 2（火口周辺規制）に引下げ。
		火山活動解説資料	11 日 14 時 00 分	
		解説情報 第 94 号～124 号	11 日、18 日、25 日 16 時 00 分	噴気・地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
雌阿寒岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 34 号～41 号	4 日、7 日、11 日、 14 日、18 日、21 日、 25 日、28 日 16 時 00 分	噴煙・地殻変動・地震回数等火山活動の状況。
吾妻山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 46 号～49 号	7 日、14 日、24 日、 28 日 16 時 00 分	噴気・地殻変動・地震回数等火山活動の状況。
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 38 号～41 号	4 日、11 日、18 日、 25 日 16 時 00 分	地殻変動・地震回数等火山活動の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 69 号～76 号	4 日、7 日、 10 日、14 日、17 日、 21 日、24 日、28 日、 31 日 16 時 00 分	噴煙・火山性地震・火山性微動等火山活動の状況。
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 77 号～80 号	4 日、11 日、18 日、 25 日 16 時 00 分	噴煙・火山性地震・火山性微動等火山活動の状況。
霧島山 (御鉢)	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山である ことに留意)	解説情報 第 1 号、第 2 号	16 日 10 時 50 分 18 日 17 時 45 分	15 日に増加した火山性地震の状況。現地調査の状況。
霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺)	噴火予報 (活火山である ことに留意)	解説情報 第 39 号、第 40 号	2 日 10 時 30 分 17 時 15 分	2 日 01 時 02 分頃に発生した火山性微動の状況。火山性地震、現地調査の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	降灰予報 (詳細)	25 日 06 時 31 分 08 時 26 分	噴火発生から 6 時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。この他、三宅島においては毎日 07 時と 17 時に火山ガス予報を発表している。阿蘇山、桜島、諏訪之瀬島、口永良部島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。

資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成 27 年 9 月 30 日現在）

(1) 主な活火山

噴火警報、火口周辺警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の警報及び予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	雌阿寒岳	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年9月29日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報(平常) 2008年11月17日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年7月28日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	大雪山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	十勝岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年12月16日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年12月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年2月24日 噴火予報(レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	有珠山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年6月9日 噴火予報(レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	恵山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
東北地方	岩木山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	秋田焼山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2013年7月25日 噴火予報(レベル1、平常)
	岩手山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年10月27日 噴火予報(レベル1、平常)
	鳥海山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	栗駒山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	蔵王山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2015年4月13日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2015年6月16日 噴火予報(活火山であることに留意)
	吾妻山	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年12月12日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	安達太良山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
関東・中部地方	那須岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	日光白根山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	草津白根山	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報(レベル1、平常)切替 2014年6月3日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	浅間山	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月7日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年6月11日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	新潟焼山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	焼岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	御嶽山	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年3月31日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年9月27日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年9月28日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年1月19日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年3月31日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年6月26日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	白山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2015年9月2日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	富士山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年5月6日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月30日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年9月11日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
	青ヶ島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2013年11月20日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日 火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日 火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日 火口周辺警報（入山危険）切替
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2014年10月24日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日 噴火予報（平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月24日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2010年9月30日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2012年3月12日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2012年3月21日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2015年8月15日 噴火警報 (レベル4、避難準備) 2015年9月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年11月29日 噴火予報 (レベル1、平常) 2013年6月4日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2013年7月10日 噴火予報 (レベル1、平常)
	口永良部島	噴火警報 (レベル5、避難)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年9月4日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月18日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年9月27日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日 噴火予報 (レベル1、平常) 2011年12月15日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日 噴火予報 (レベル1、平常) 2014年8月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2014年8月7日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2015年5月29日 噴火警報 (レベル5、避難)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

(2) その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表した（但し、*印の活火山では、活火山として選定された平成 23 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表）。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注) 平成 27 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更している。

●世界の主な地震

平成 27 年（2015 年）9 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

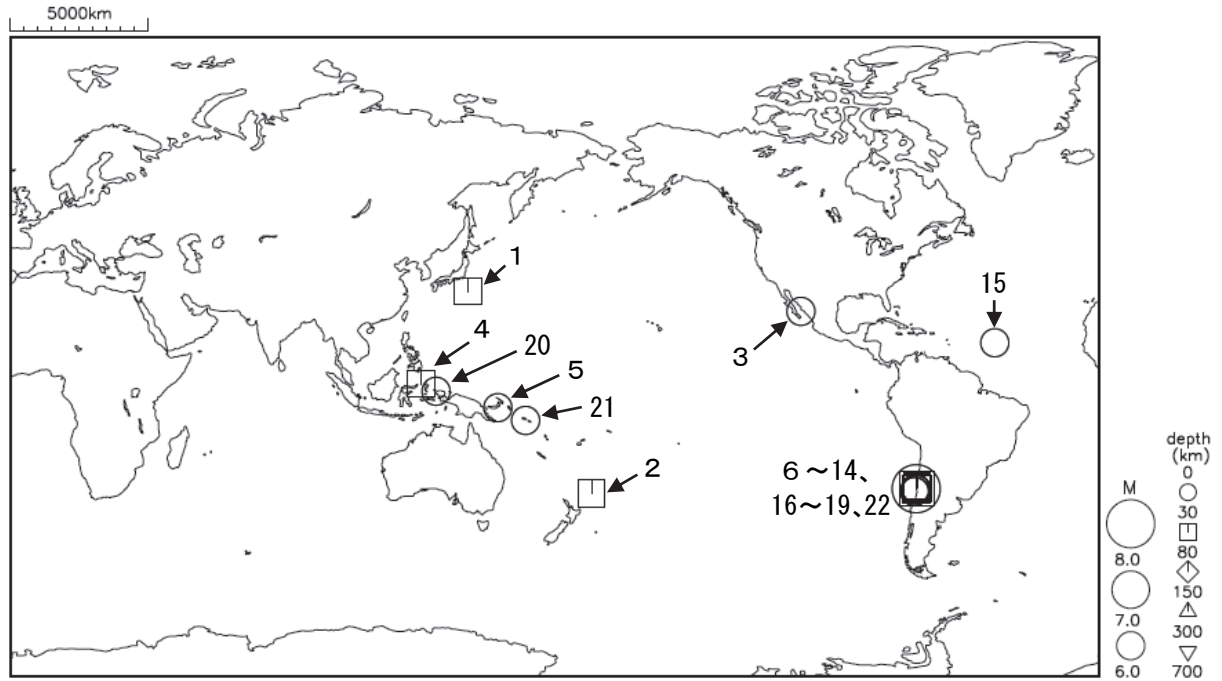


図 1 平成 27 年（2015 年）9 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- * : 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Search Earthquake Archives & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2015 年 10 月 1 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
- ** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- *** : マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Mj（気象庁マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれかを用いて表示している。

表 1 平成 27 年（2015 年）9 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	09月02日00時25分	N31° 10.3′	E141° 36.0′	57		6.1	(5.9)	鳥島近海			
2	09月07日18時13分	S32° 55.9′	W177° 53.4′	35			6.4	ケルマデック 諸島南方			
3	09月13日17時14分	N25° 09.3′	W109° 22.6′	10			6.6	メキシコ、カ リフォルニア 湾			
4	09月16日16時40分	N 1° 51.1′	E126° 22.8′	53			6.3	モルッカ海北 部			
5	09月16日23時03分	S 5° 58.2′	E151° 26.6′	6			6.1	パプアニュー ギニア、 ニューブリテ ン			
6	09月17日07時54分	S31° 34.2′	W 71° 40.2′	21			(8.3)	チリ中部沿岸*	チリ国内で死者 12人、家屋全壊 約60棟、家屋半 壊約200棟など 日本で津波注意 報発表、日本の 太平洋沿岸など で津波を観測		○
7	09月17日07時59分	S31° 36.0′	W 71° 47.0′	22	6.4			チリ中部沿岸			
8	09月17日08時03分	S31° 50.4′	W 71° 33.9′	10	6.1			チリ中部沿岸			
9	09月17日08時16分	S31° 35.3′	W 71° 54.5′	10	6.2			チリ中部沿岸			
10	09月17日08時18分	S31° 35.2′	W 71° 25.8′	31			7.0	チリ中部沿岸			
11	09月17日10時41分	S31° 08.9′	W 71° 33.1′	35			6.4	チリ中部沿岸			
12	09月17日12時55分	S31° 04.9′	W 71° 17.7′	35			6.5	チリ中部沿岸			
13	09月17日13時10分	S31° 32.3′	W 71° 42.8′	30			6.7	チリ中部沿岸			
14	09月18日18時10分	S32° 24.5′	W 72° 14.1′	9			6.3	チリ中部沖			
15	09月19日00時59分	N15° 14.0′	W 45° 58.4′	10			6.0	大西洋中央海 嶺北部			
16	09月19日21時52分	S32° 20.0′	W 72° 05.4′	11			6.2	チリ中部沖			
17	09月21日14時39分	S31° 35.1′	W 71° 42.7′	23			6.3	チリ中部沿岸			
18	09月22日02時40分	S31° 44.7′	W 71° 37.7′	34			6.6	チリ中部沿岸			
19	09月22日16時12分	S31° 28.7′	W 71° 11.7′	54			6.1	チリ中部沿岸			
20	09月25日00時53分	N 0° 37.8′	E131° 14.6′	18			6.6	インドネシ ア、イリアン ジャヤ			○
21	09月25日00時56分	S10° 10.4′	E160° 31.3′	24	6.0			ブーゲンビル ソロモン諸島			
22	09月26日11時51分	S30° 49.1′	W 71° 23.1′	38			6.2	チリ中部沿岸			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Archives & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2015年10月1日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・9月17日のチリ中部沿岸の地震の被害状況はOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所) による (2015年9月18日現在)。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005年5月号参照) を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・*情報発表に用いた震央地名は [チリ中部沖] である。

● 世界の主な火山活動

平成 27 年（2015 年）9 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

テリカ (Telica) ニカラグア (図中 A) 標高 1,061m

噴火は 9 月 23 日から始まり、翌日は噴火が 5 回観測された。ワシントン航空路火山灰情報センターによると、9 月 26 日には噴煙が海拔 3.6 キロメートルまでのぼった。



図 平成 27 年（2015 年）9 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

●特集 2015 年 9 月 17 日 チリ中部沿岸の地震

情報発表に用いた震央地名は〔チリ中部沖〕である。

(1) 概要

2015 年 9 月 17 日 07 時 54 分（日本時間、以下同じ）にチリ中部沿岸の深さ 21km で Mw8.3 の地震が発生した。この地震により、震源に近いチリの検潮所（コキンボ）で 4 m を超える津波を観測するなど、日本を含む太平洋沿岸の多くの国で津波を観測した。チリ国内では、今回の地震と津波により、死者 12 人、家屋全壊約 60 棟、家屋半壊約 200 棟などの被害が生じた。

気象庁は、この地震により、18 日 03 時 00 分に北海道から沖縄県にかけての太平洋沿岸等に津波注意報を発表した（同日 16 時 40 分に全て解除）。この地震に伴い、岩手県久慈港（国土交通省港湾局）で 78cm の津波を観測するなど、北海道から沖縄県にかけての太平洋沿岸等で津波を観測した。

(2) 地震活動

ア. 発生場所と余震の状況

2015 年 9 月 17 日 07 時 54 分にチリ中部沿岸の深さ 21km で Mw8.3 の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁による CMT 解）が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、ナスカプレートと南米プレートの境界で発生した。

地震活動は、本震－余震型で推移しており、余震は本震を挟んで南北およそ 350km の範囲で発生している。9 月 30 日までに M6.0 以上の余震が 13 回発生し、最大規模の余震は 9 月 17 日 08 時 18 分に発生した Mw7.0 の地震である。

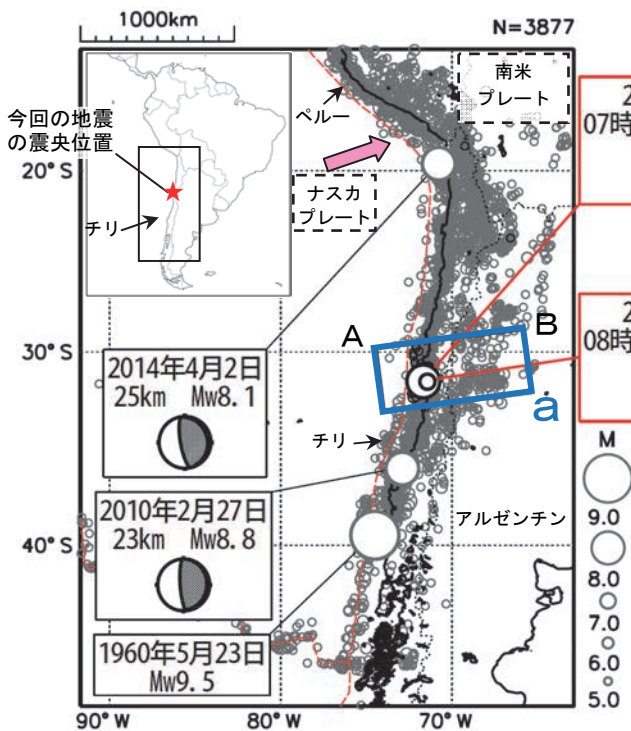


図 2-1 震央分布図
(1960 年 1 月 1 日～2015 年 9 月 30 日、深さ 0～200km、M≥5.0)
2015 年 9 月 17 日以降の地震を濃く表示

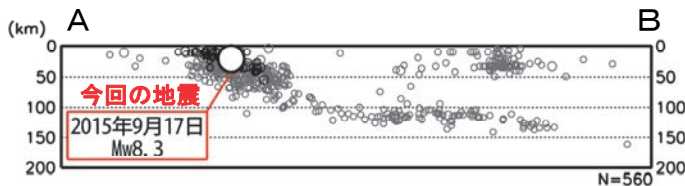


図 2-2 領域 a 内の断面図（A-B 投影）
2015 年 9 月 17 日以降の地震を濃く表示

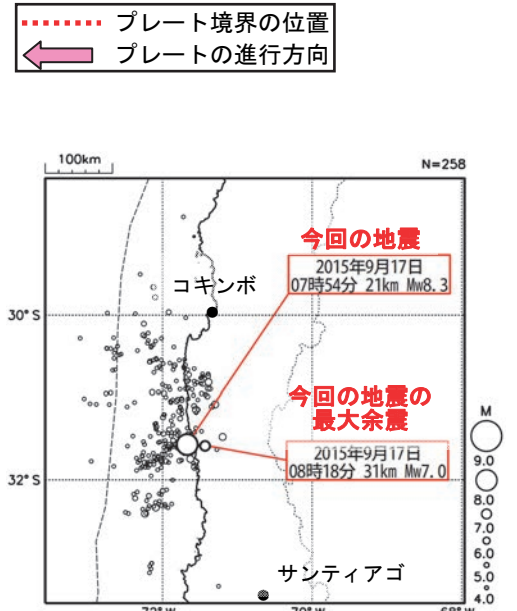


図 2-3 震央周辺の拡大図（本震と余震の分布）
(2015 年 9 月 17 日～9 月 30 日、深さ 0～60km、M≥4.0)

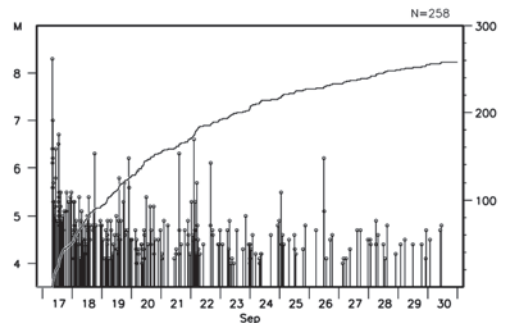


図 2-4 上図内の M-T 図および回数積算図

本資料中、2010 年 2 月 27 日、2014 年 4 月 2 日及び今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。1960 年 5 月 23 日の地震の Mw は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。その他の地震の発震機構と震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2015 年 10 月 1 日現在)。被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs : 国連人道問題調整事務所) による (2015 年 9 月 18 日現在)。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) より引用。

参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

イ. 周辺の過去の地震活動

チリからペルーにかけての沿岸では、ナスカプレートが南米プレートの下に沈み込んでおり、M8 程度またはそれ以上の地震が繰り返し発生している場所である。過去には、チリ沿岸付近で発生した地震により、日本でも津波による被害が生じている。

1868 年以降、領域 b 内で発生した地震で最大規模の地震は 1960 年 5 月 23 日の Mw9.5 の地震である。この地震では、日本国内でも北海道から沖縄県にかけての広い範囲で津波を観測した。岩手県野田村で 8.1m（現地調査による）の津波を観測するなど、北海道から関東地方にかけては 5m 以上の津波を観測した所もあった。この津波により、日本国内では死者・行方不明者 142 人等の被害を生じた。

最近では、2010 年 2 月 27 に Mw8.8 の地震、2014 年 4 月 2 日に Mw8.1 の地震が発生した。いずれの地震でも日本国内の広い範囲で津波を観測し、前者の地震では、住家の被害（床上浸水・床下浸水）57 棟の被害を生じた。

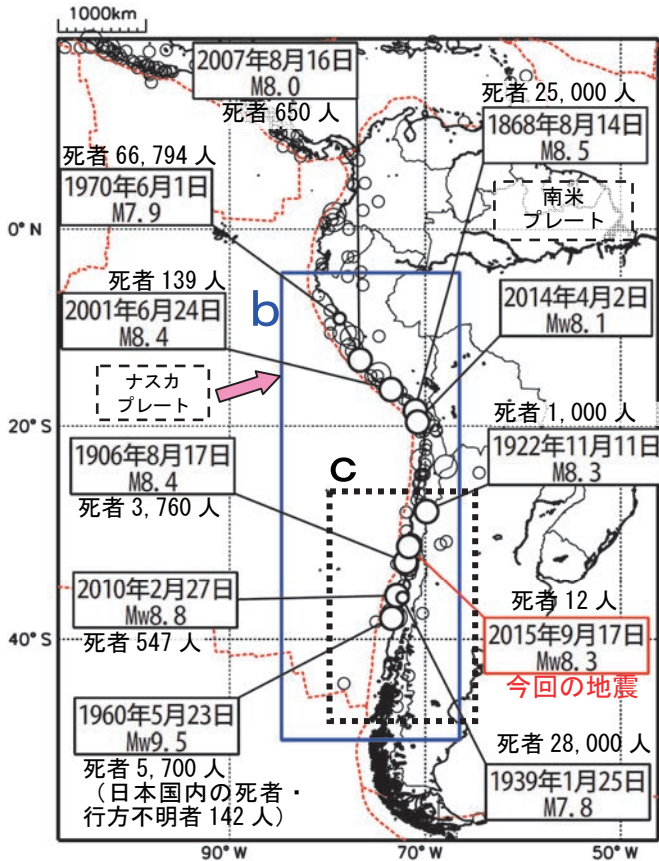


図 2-5 震央分布図
(1868 年 1 月 1 日～2015 年 9 月 30 日、深さ 0～200km、M_≥7.0)

--- プレート境界の位置
← プレートの進行方向

- *吹き出しは以下の地震に付けた。
- ・ 2000 年以降の M8.0 以上の地震
 - ・ M8.0 以上かつ死者 1,000 人以上の被害を伴った地震
 - ・ 死者 10,000 人以上の被害を伴った地震

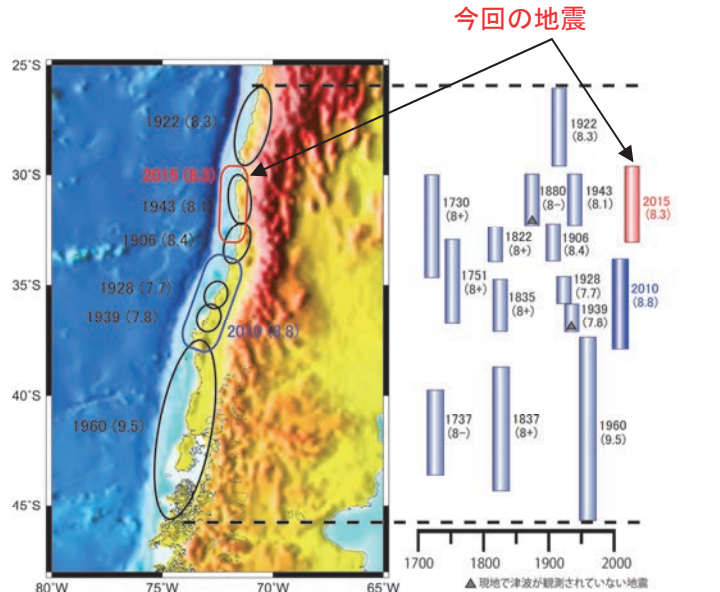


図 2-6 領域 c 内の M8 クラス以上の地震の震源域
(1700 年以降、地図には 1900 年以降の震源域を示す)

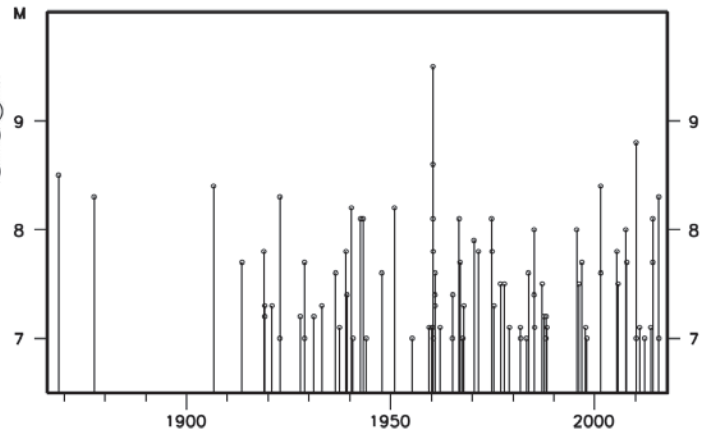


図 2-7 領域 b 内の M-T 図
(1910 年以前は、M8.0 以上かつ死者を伴った地震のみ表示している)

本資料中、1910 年～2009 年の震源要素は国際地震センター (ISC) による。2010 年以降の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2015 年 10 月 1 日現在)。以下の地震の Mw は気象庁による。

- ・ 2015 年 9 月 17 日 Mw8.3
- ・ 2014 年 4 月 2 日 Mw8.5
- ・ 2010 年 2 月 27 日 Mw8.8

1910 年以前の M8.0 以上かつ死者を伴った地震を、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」から追加した。

- ・ 1868 年 8 月 14 日 M8.5
- ・ 1877 年 5 月 10 日 M8.3
- ・ 1906 年 8 月 17 日 M8.4

今回の地震の被害は OCHA (2015 年 9 月 18 日現在) による。その他の地震の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」、米国地質調査所 (USGS)、理科年表、総務省消防庁による。プレート境界の位置は Bird (2003) より引用。

図 2-6 の地震の震源域および津波の有無は Kelleher (1972), Lomnitz (1970) による。今回の地震及び 2010 年 2 月 27 日の地震 (Mw8.8) の震源域は気象庁の解析結果を示す。

（3）津波の観測状況

この地震に伴い、日本では、岩手県久慈港（国土交通省港湾局）で 78cm の津波を観測するなど、北海道から沖縄県にかけての太平洋沿岸等で津波を観測した。また、震源に近いチリのコキンボで 475cm、仏領ポリネシアのヌクヒバで 137cm の津波を観測するなど、太平洋の広い範囲で津波を観測した。

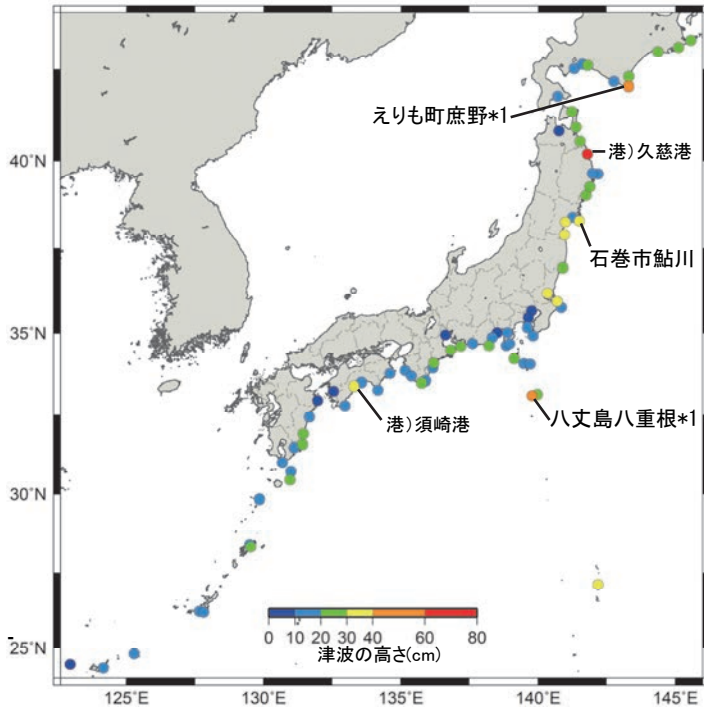


図 3-1 国内の津波観測施設で観測した津波の最大の高さ（次頁で津波波形を示した地点について観測点名を表記）
※ 港)は国土交通省港湾局の所属であることを表す

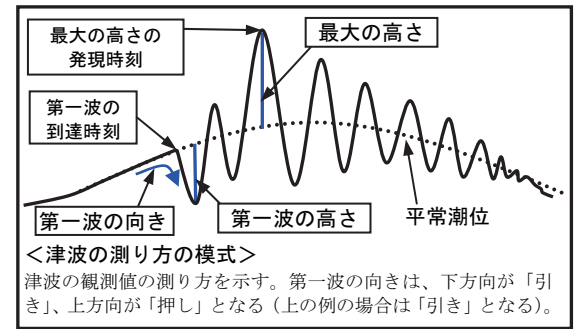


表 3-1 国内の津波観測施設の津波観測値

都道府県	津波観測施設名	所属	第一波 到達時刻	最大波	
				発現時刻	高さ (cm)
北海道	根室市花咲	気象庁	18日 06:20	18日 11:12	21cm
	釧路	気象庁	18日 06:-	18日 14:11	21cm
	浜中町霧多布港	国土交通省港湾局	18日 -	18日 09:12	27cm
	十勝港	国土交通省港湾局	18日 06:-	18日 11:12	24cm
	えりも町庶野*1	気象庁	18日 06:-	18日 10:08	0.5m
	浦河	国土交通省港湾局	18日 06:01	18日 09:31	16cm
	苫小牧東港	国土交通省港湾局	18日 09:-	18日 12:30	21cm
	苫小牧西港	国土交通省港湾局	18日 -	18日 23:16	14cm
	白老港	国土交通省港湾局	18日 07:29	18日 12:39	12cm
	函館	気象庁	18日 08:14	18日 17:16	16cm
青森県	むつ市関根浜	気象庁	18日 07:-	18日 09:56	20cm
	むつ小川原港	国土交通省港湾局	18日 06:44	18日 09:09	25cm
	青森	国土交通省港湾局	18日 10:16	18日 13:15	5cm
岩手県	八戸港	国土交通省港湾局	18日 07:23	18日 10:20	27cm
	久慈港	国土交通省港湾局	18日 06:21	18日 09:38	78cm
	宮古	気象庁	18日 06:10	18日 09:11	17cm
	大船渡	気象庁	18日 06:-	18日 09:50	20cm
	釜石	海上保安庁	18日 06:19	18日 07:59	27cm
宮城県	岩手宮古沖*2	国土交通省港湾局	18日 -	18日 14:15	0.1m
	石巻市鮎川	気象庁	18日 -	18日 10:44	36cm
	石巻港	国土交通省港湾局	18日 08:-	18日 13:20	18cm
福島県	仙台港	国土交通省港湾局	18日 -	18日 11:55	33cm
	相馬	国土地理院	18日 07:46	18日 10:31	33cm
茨城県	いわき市小名浜	気象庁	18日 06:-	18日 08:52	24cm
	大洗	気象庁	18日 07:-	18日 11:00	34cm
千葉県	神栖島鹿島港	国土交通省港湾局	18日 -	18日 14:44	35cm
	銚子	気象庁	18日 06:-	18日 14:43	16cm
東京都	館山市布良	気象庁	18日 07:-	18日 12:14	17cm
	東京晴海	気象庁	18日 -	18日 08:07	5cm
	三宅島坪田	気象庁	18日 -	18日 12:20	18cm
	八丈島八重根*1	気象庁	18日 07:-	18日 12:14	0.5m
	神津島神津島港	海上保安庁	18日 -	18日 12:37	23cm
	三宅島阿古	海上保安庁	18日 -	18日 11:16	15cm
	八丈島神湊	海上保安庁	18日 07:-	18日 08:50	20cm
神奈川県	父島二見	気象庁	18日 05:59	18日 08:57	35cm
	横浜	海上保安庁	18日 06:58	18日 07:16	7cm
静岡県	三浦市油壺	国土地理院	18日 -	18日 12:48	14cm
	下田港	国土交通省港湾局	18日 08:-	18日 12:45	16cm
静岡県	南伊豆町石廊崎	気象庁	18日 08:-	18日 15:19	11cm
	沼津市内浦	気象庁	18日 -	18日 11:01	17cm
	清水	気象庁	18日 -	18日 10:40	6cm
	焼津	国土地理院	18日 -	18日 12:36	16cm
愛知県	御前崎	気象庁	18日 08:-	18日 12:59	22cm
	舞阪	気象庁	18日 07:35	18日 10:00	11cm
三重県	田原市赤羽根	気象庁	18日 08:-	18日 12:30	26cm
	四日市	四日市港管理組合	18日 -	18日 13:45	6cm
和歌山県	鳥羽	気象庁	18日 09:03	18日 12:24	24cm
	尾鷲	気象庁	18日 07:47	18日 09:30	25cm
	熊野市遊木	気象庁	18日 07:49	18日 13:08	15cm
徳島県	那智勝浦町浦神	気象庁	18日 07:-	18日 09:25	15cm
	串本町袋港	気象庁	18日 07:-	18日 10:45	25cm
	白浜町堅田	気象庁	18日 07:25	18日 15:31	17cm
高知県	御坊市被井戸	気象庁	18日 09:-	18日 15:28	13cm
	徳島由岐	気象庁	18日 07:59	18日 11:40	17cm
	室戸市室戸岬	気象庁	18日 08:07	18日 09:53	18cm
	高知	気象庁	18日 08:40	18日 12:43	15cm
愛媛県	土佐清水	気象庁	18日 07:54	18日 19:13	19cm
	須崎港	国土交通省港湾局	18日 -	18日 18:21	31cm
大分県	宇和島	気象庁	18日 -	18日 16:05	9cm
	佐伯市松浦	気象庁	18日 08:-	18日 15:39	7cm
宮崎県	日向市細島	宮崎県	18日 08:05	18日 18:54	10cm
	宮崎港	国土交通省港湾局	18日 -	18日 16:56	25cm
鹿児島県	日南市油津	気象庁	18日 -	18日 15:45	22cm
	志布志港	国土交通省港湾局	18日 -	18日 16:09	13cm
	南大隅町大泊	海上保安庁	18日 -	18日 15:07	17cm
	種子島西之表	海上保安庁	18日 -	18日 12:12	16cm
	種子島熊野	気象庁	18日 07:55	18日 12:54	22cm
	中之島	海上保安庁	18日 -	18日 12:00	14cm
	奄美市小湊	気象庁	18日 08:23	18日 10:23	25cm
沖縄県	奄美市名瀬	海上保安庁	18日 -	18日 16:40	14cm
	那覇	気象庁	18日 09:31	18日 13:06	10cm
	南城市安座真	国土地理院	18日 08:42	18日 13:00	11cm
	宮古島平良	国土交通省港湾局	18日 09:19	18日 13:16	13cm
	石垣島石垣港	気象庁	18日 08:-	18日 11:14	10cm
与那国島久部良	気象庁	18日 09:18	18日 13:23	4cm	

※観測値は後日の精査により変更される場合がある
※所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値
- は、津波波形が明瞭でないため値が決定できないことを示す

*1 巨大津波観測計により観測されたことを示す（観測単位は 0.1m）

*2 は GPS 波浪計により観測された海面昇降を検潮所の観測値と同じ手法で読み取った値を示す（観測単位は 0.1m）

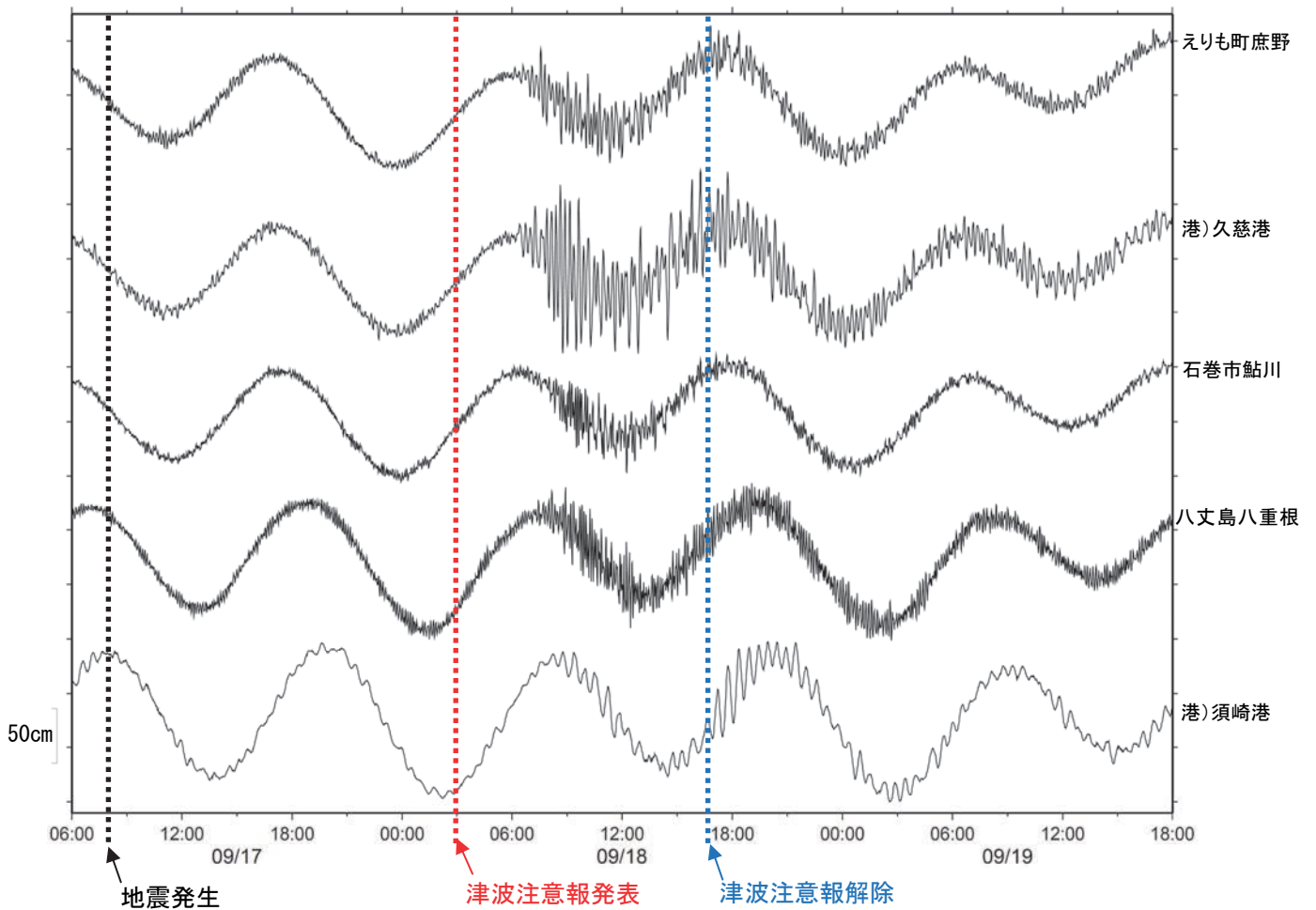


図 3-2 国内の津波観測施設で観測した主な津波波形

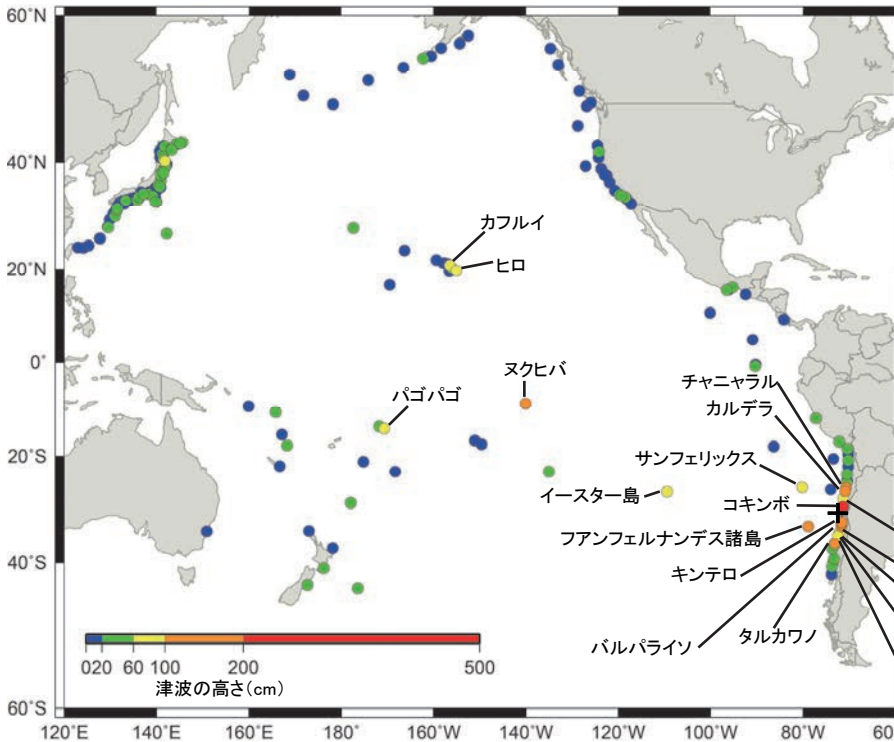


表 3-2 海外の主な津波観測施設の津波観測値（最大の高さ 60cm 以上を観測した地点を表示）

津波観測施設名	国名	最大の高さ (cm)
コキンボ	チリ	475
キンテロ	チリ	186
バルパライソ	チリ	178
ヌクヒバ	仏領ポリネシア	137
タルカワノ	チリ	128
ファンフェルナンデス諸島	チリ	121
カルデラ	チリ	114
チャニヤラル	チリ	109
サンアントニオ	チリ	104
ヒロ	米国ハワイ州	90
コンステイトウシオン	チリ	88
イースター島	チリ	83
キリキーナ	チリ	83
ウアスコ	チリ	77
フカレム	チリ	76
サンフェリックス	チリ	69
バゴバゴ	米領サモア	67
カフルイ	米国ハワイ州	66

※観測値は米国海洋大気庁（NOAA）による（10月06日現在）

図 3-3 海外の津波観測施設で観測した津波の最大の高さ
（最大の高さ 60cm 以上を観測した地点については観測点名を表記、+印は震央を表す）
※海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁（NOAA）による（10月06日現在）

（４）気象庁が発表した津波注意報、津波情報、地震情報及び報道発表の状況

気象庁はこの地震により、18 日 03 時 00 分に北海道から沖縄県にかけての太平洋沿岸等に津波注意報を発表し、同日 16 時 40 分に全て解除した。今回の地震で気象庁が発表した津波注意報、津波情報、地震情報及び報道発表の状況を下表に示す。

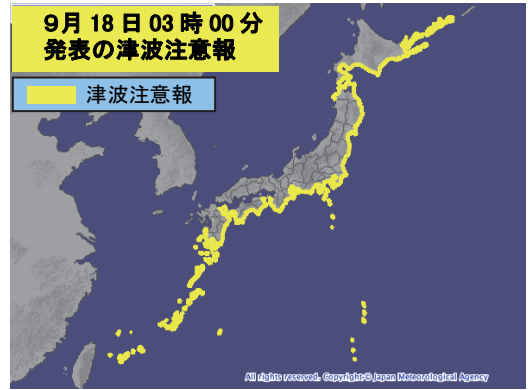


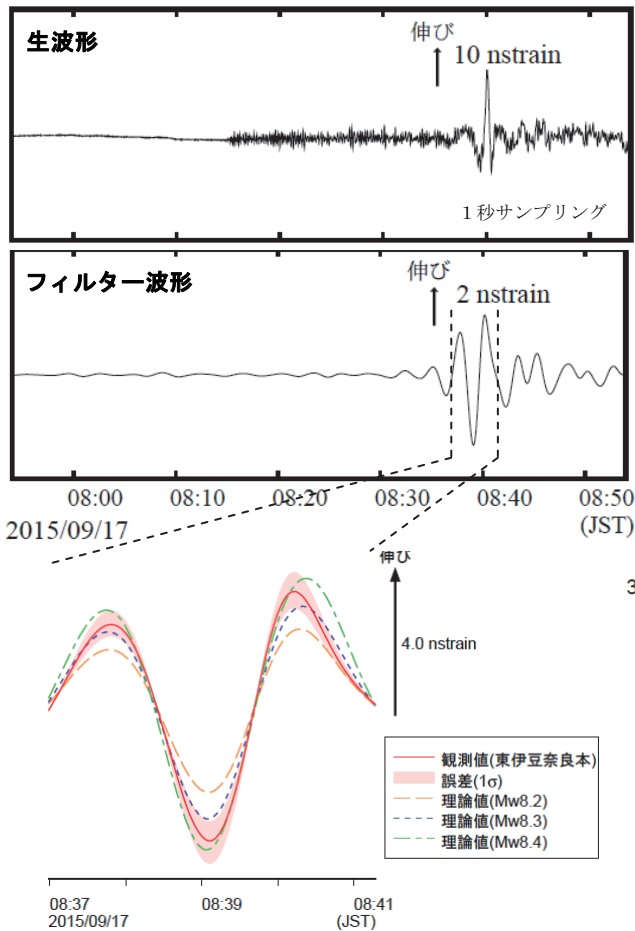
図 4-1 9 月 17 日のチリ中部沿岸の地震による津波に対して発表した津波注意報

表 4-1 気象庁が発表した津波注意報、津波情報、地震情報及び報道発表の状況

月 日	時刻	情報発表、報道発表等の状況	備考（主な内容等）
9 月 17 日	07 時 54 分	地震発生	
	08 時 31 分	地震情報（遠地地震に関する情報）	地震の概要、太平洋の広域に津波発生の可能性があること、日本への津波の影響については調査中であること
	09 時 54 分	地震情報（遠地地震に関する情報）	海外での津波の観測状況
	11 時 00 分	報道発表（第 1 報）	地震の概要、日本への津波の影響については調査中であること、海外での津波の観測状況等
	11 時 19 分	地震情報（地震の活動状況等に関する情報）	報道発表（第 1 報）の概要
	14 時 56 分	地震情報（遠地地震に関する情報）	海外での津波の観測状況
	16 時 30 分	報道発表（第 2 報）	日本への津波の影響についてはハワイでの津波の観測状況（17 日 24 時頃）を基に判断すること、海外での津波の観測状況等
	16 時 43 分	地震情報（地震の活動状況等に関する情報）	報道発表（第 2 報）の概要
9 月 18 日	18 時 59 分	地震情報（遠地地震に関する情報）	海外での津波の観測状況
	00 時 35 分	地震情報（遠地地震に関する情報）	海外での津波の観測状況
	01 時 00 分	報道発表（第 3 報）	津波注意報の発表予定（18 日 03 時頃に発表する予定）、防災上の留意事項等
	01 時 11 分	地震情報（地震の活動状況等に関する情報）	報道発表（第 3 報）の概要
	03 時 00 分	津波注意報の発表	
		津波予報（若干の海面変動）	
		津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）	
	03 時 01 分	津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）	
	03 時 30 分	報道発表（第 4 報）	津波注意報の発表状況、防災上の留意事項、海外での津波の観測状況等。
	03 時 35 分	地震情報（地震の活動状況等に関する情報）	報道発表（第 4 報）の概要
	06 時 51 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 06 時 50 分現在の値]
	07 時 21 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 07 時 20 分現在の値]
	07 時 51 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 07 時 50 分現在の値]
	08 時 20 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 08 時 20 分現在の値]
	08 時 52 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 08 時 51 分現在の値]
	09 時 25 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 09 時 23 分現在の値]
	10 時 00 分	報道発表（第 5 報）	防災上の留意事項、日本での津波の観測状況等
	10 時 08 分	地震情報（地震の活動状況等に関する情報）	報道発表（第 5 報）の概要
	10 時 12 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 10 時 10 分現在の値]
	10 時 46 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 10 時 45 分現在の値]
	11 時 46 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 11 時 45 分現在の値]
	12 時 47 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 12 時 45 分現在の値]
13 時 26 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 13 時 25 分現在の値]	
14 時 00 分	報道発表（第 6 報）	防災上の留意事項、日本での津波の観測状況、津波注意報の解除の見込み（16 時頃までデータを見て判断）等	
14 時 06 分	地震情報（地震の活動状況等に関する情報）	報道発表（第 6 報）の概要	
14 時 31 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 14 時 30 分現在の値]	
15 時 32 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 15 時 30 分現在の値]	
16 時 26 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 16 時 25 分現在の値]	
16 時 40 分	津波注意報の解除	今後 1 日程度は海面変動が継続することを十分認識して行動すれば、津波による災害のおそれはなし	
	津波予報（若干の海面変動）		
16 時 42 分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18 日 16 時 25 分現在の値]	
17 時 00 分	報道発表（第 7 報）	津波注意報の解除、防災上の留意事項、日本での津波の観測状況等	

(5) 体積ひずみ計の記録から推定されるモーメントマグニチュード (Mw)

東伊豆奈良本観測点で観測された体積ひずみ波形



気象庁が東海地域に設置している埋込式体積ひずみ計で観測された今回の地震の波形と理論波形の振幅比較により、地震のモーメントマグニチュード (Mw) の推定を行った。

理論体積ひずみは気象庁 CMT 解を用い、一次元地球構造モデル PREM の固有モード周期 45 秒～3300 秒の重ね合わせにより計算した。その際に、スカラーモーメント量を Mw8.1 相当から 8.5 相当まで 0.1 刻みで変化させて、それぞれについて観測波形と比較した。

体積ひずみ計の観測波形と理論波形が最もよく整合するのは、Mw8.3～8.4 相当の場合であった。

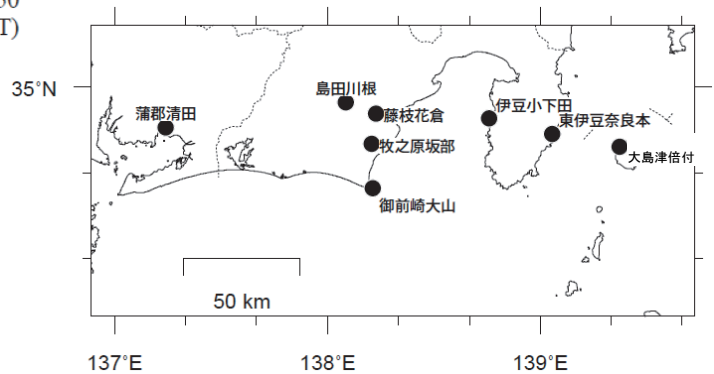


図 5-2 体積ひずみ計の配置図

図 5-1 東伊豆奈良本観測点観測波形と理論波形の振幅比較

データには周期 120-333 秒のバンドパスフィルタを時間軸の正逆両方向にかけている。網掛けは誤差 (1σ) の範囲を示す。

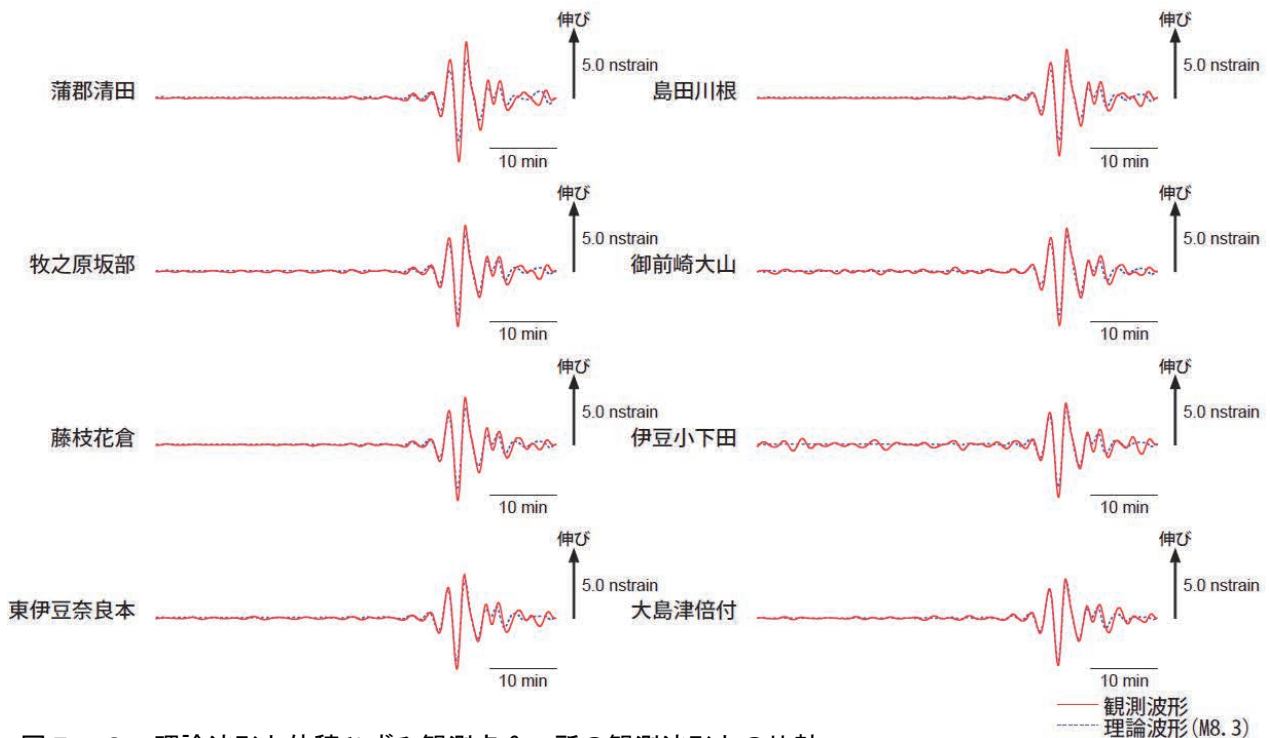


図 5-3 理論波形と体積ひずみ観測点 6 カ所の観測波形との比較

データには周期 120-333 秒のバンドパスフィルタを時間軸の正逆両方向にかけている。

（6）震源過程（暫定）

2015 年 9 月 17 日 07 時 54 分（日本時間）にチリ中部沿岸で発生した地震について、米国地震学連合（IRIS）のデータ管理センター（DMC）より広帯域地震波形記録を取得し、遠地実体波を用いた震源過程解析（注1）を行った。

破壊開始点は、米国地質調査所（USGS）による震源の位置（31° 34.2′ S、71° 39.2′ W、深さ 25km）とした（9 月 25 日現在）。断層面は、気象庁 CMT 解の 2 枚の節面のうち、プレート境界面に整合な低角傾斜の節面（走向 3°、傾斜 14°）を仮定して解析した。最大破壊伝播速度は 2.6km/s とした。理論波形の計算には CRUST2.0（Bassin et al., 2000）および IASP91（Kennett and Engdahl, 1991）の地下構造モデルを用いた。

主な結果は以下のとおり（この結果は暫定であり、今後更新することがある）。

- ・ 主なすべりは破壊開始点の北方にあり、最大すべり量は 8.9m であった（周辺の構造から剛性率を 30GPa として計算）。
- ・ 主な破壊継続時間は約 90 秒であった。
- ・ モーメントマグニチュード（Mw）は 8.3 であった。

結果の見方は、http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/world/about_srcproc.html を参照。

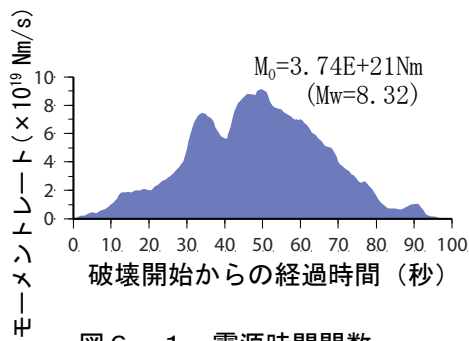


図 6-1 震源時間関数

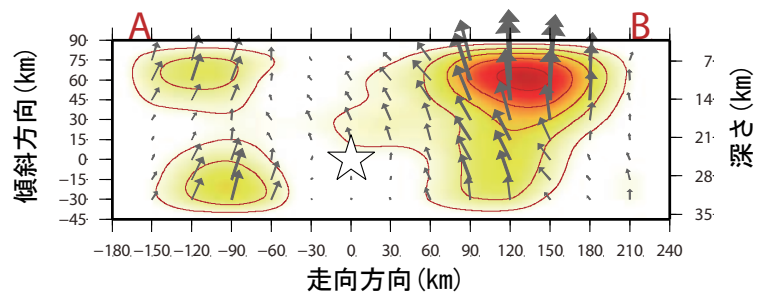


図 6-2 断層面上でのすべり量分布

星印は破壊開始点、矢印は下盤側に対する上盤側の動きを表す。

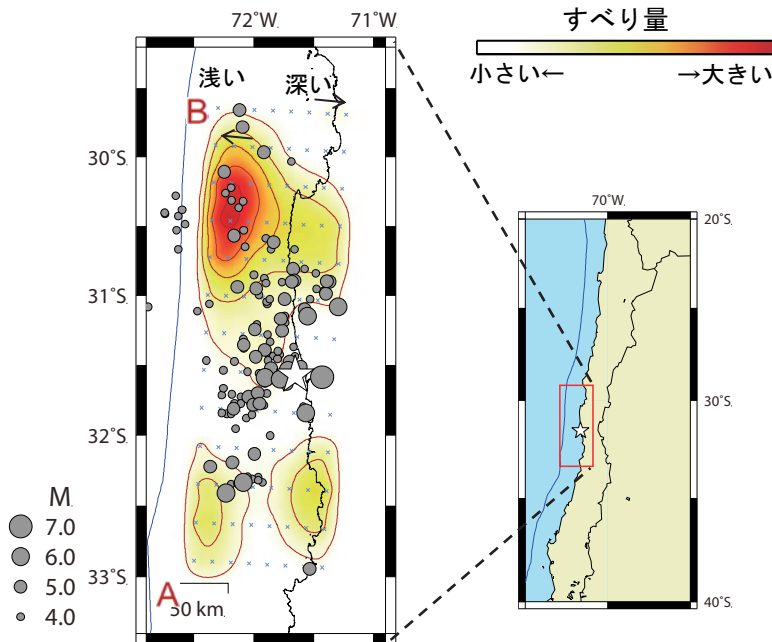


図 6-3 地図上に投影したすべり量分布

星印はこの地震の破壊開始点を示す。また、灰色の丸は本震発生後 3 日以内の余震の震央を示す（M4.0 以上、USGS による）。青線はプレート境界を示す。

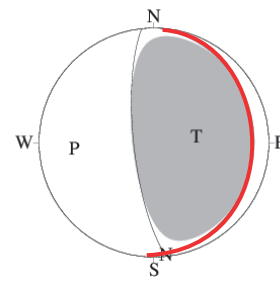


図 6-4 解析に用いたメカニズム解（気象庁 CMT 解）

断層面の設定に用いた節面（走向 3°、傾斜 14°、すべり角 99°）を赤線で示す。

（注 1）解析に使用したプログラム

M. Kikuchi and H. Kanamori, Note on Teleseismic Body-Wave Inversion Program,
<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/ETAL/KIKUCHI/>

●付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成 25 年 12 月 地震・火山月報（防災編）の付録 2 参照）を記す。なお、* のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に 'F' を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を **太字** で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震源地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 00 24	和歌山県北部 和歌山県	34° 01.5' N	135° 19.3' E	6km	M: 2.9
		1 有田川町清水* = 1.0 日高川町川原河* = 0.9 有田川町中井原* = 0.6				
2	1 00 29	静岡県中部 静岡県	34° 38.3' N	138° 11.3' E	10km	M: 4.3
		3 静岡菊川市赤土* = 3.0 牧之原市鬼女新田 = 2.7 御前崎市池新田* = 2.6 静岡菊川市堀之内* = 2.5 2 袋井市新屋 = 2.4 御前崎市御前崎 = 2.4 掛川市西大淵* = 2.3 牧之原市静波* = 2.2 静岡駿河区曲金 = 1.9 掛川市三俣* = 1.9 島田市川根町家山 = 1.8 袋井市浅名* = 1.8 掛川市長谷* = 1.8 伊豆の国市長岡* = 1.7 静岡森町森* = 1.6 磐田市下野部* = 1.6 掛川市篠場 = 1.5 磐田市福田* = 1.5 磐田市森岡* = 1.5 磐田市国府台* = 1.5 浜松浜北区西美箇* = 1.5 1 島田市中央町 = 1.3 島田市金谷代官町* = 1.3 藤枝市岡部町岡部* = 1.3 磐田市見付* = 1.3 浜松中区三組町* = 1.3 浜松中区元城町* = 1.3 浜松東区流通元町* = 1.3 浜松北区細江町* = 1.3 藤枝市岡出山* = 1.2 富士宮市野中* = 1.1 伊豆市中伊豆グラウンド = 1.1 吉田町住吉* = 1.1 浜松南区江之島町* = 1.1 伊豆の国市田京* = 1.1 浜松天竜区佐久間町* = 1.1 磐田市岡* = 1.1 富士市吉永* = 1.0 湖西市新居町浜名* = 1.0 浜松天竜区春野町* = 1.0 西伊豆町仁科* = 1.0 河津町田中* = 1.0 焼津市宗高* = 1.0 松崎町江奈* = 0.9 東伊豆町奈本* = 0.9 函南町平井* = 0.9 浜松北区三ヶ日町 = 0.9 浜松北区引佐町* = 0.8 南伊豆町下賀茂* = 0.8 南伊豆町入間* = 0.8 静岡葵区駒形通* = 0.8 富士宮市弓沢町 = 0.8 伊豆の国市四日町* = 0.7 西伊豆町宇久須* = 0.7 静岡清水区千歳町 = 0.7 富士市岩淵* = 0.7 浜松天竜区龍山町* = 0.6 静岡葵区追手町県庁* = 0.6 静岡葵区追手町市役所* = 0.6 沼津市戸田* = 0.6 浜松西区舞阪町* = 0.5 浜松中区高丘東 = 0.5 西伊豆町一色* = 0.5 神奈川県 1 湯河原町中央 = 0.9 山梨県 1 甲州市塩山下於曾 = 0.6 岐阜県 1 恵那市上矢作町* = 0.6 愛知県 1 新城市作手高里縄手上* = 1.2 新城市矢部 = 1.1 新城市作手高里松風呂* = 0.8 新城市東入船* = 0.8 豊田市坂上町* = 0.8 豊田市大沼町* = 0.6 幸田町菱池* = 0.6 豊田市長興寺* = 0.5 西尾市矢曾根町* = 0.5 愛知みよし市三好町* = 0.5				
3	1 04 11	長野県中部 長野県	36° 24.1' N	138° 02.5' E	4km	M: 2.8
		1 筑北村坂井 = 1.4 筑北村西条* = 1.3 坂城町坂城* = 0.6 麻績村麻* = 0.5				
4	1 09 22	陸奥湾 青森県	41° 08.7' N	140° 52.8' E	10km	M: 2.3
		1 むつ市脇野沢* = 0.5				
5	1 17 51	千葉県北西部 千葉県	35° 36.6' N	140° 06.7' E	68km	M: 3.3
		1 千葉花見川区花島町* = 0.8 千葉中央区中央港 = 0.7 千葉中央区都町* = 0.6				
6	1 18 40	留萌地方中北部 北海道	44° 20.0' N	141° 42.6' E	6km	M: 3.0
		3 羽幌町南 3 条 = 2.7 羽幌町南町* = 2.5 2 苫前町旭* = 1.5 1 羽幌町焼尻 = 1.4				
7	1 19 24	愛媛県南予 愛媛県 高知県	33° 01.2' N	132° 35.1' E	8km	M: 2.8
		1 愛南町船越* = 1.0 愛南町柏* = 1.0 愛南町一本松* = 1.0 愛南町御荘* = 0.8 愛南町城辺* = 0.7 1 宿毛市片島 = 0.6 宿毛市桜町* = 0.5				
8	2 16 07	四国沖 和歌山県	33° 12.8' N	134° 38.4' E	30km	M: 4.5
		2 みなべ町芝* = 1.6 日高川町土生* = 1.6 田辺市中屋敷町* = 1.6 1 みなべ町土井 = 1.3 和歌山印南町印南* = 1.2 上富田町朝来* = 1.1 有田市初島町* = 1.1 御坊市藪 = 1.1 白浜町日置* = 1.1 田辺市中辺路町栗栖川* = 1.0 田辺市鮎川* = 1.0 有田市箕島 = 1.0 由良町里* = 1.0 田辺市中辺路町近露 = 1.0 海南市日方* = 0.9 湯浅町湯浅* = 0.9 新宮市熊野川町日足* = 0.8 白浜町消防本部 = 0.8 和歌山広川町広* = 0.8 和歌山美浜町和田* = 0.8 串本町潮岬 = 0.8 高野町高野山中学校 = 0.8 橋本市東家* = 0.8 田辺市龍神村西* = 0.8 海南市下津* = 0.7 和歌山日高町高家* = 0.7 串本町串本* = 0.6 田辺市本宮町本宮* = 0.6 高野町役場* = 0.5 橋本市高野町町名倉* = 0.5 徳島県 2 美波町西の地* = 1.7 海陽町奥浦* = 1.7 牟岐町中村* = 1.6 海陽町大里* = 1.5 1 美波町奥河内* = 1.4 小松島市横須町* = 1.3 鳴門市鳴門町* = 1.2 石井町高川原* = 1.2 阿南市那賀川町* = 1.2 美馬市穴吹町* = 1.1 阿南市富岡町 = 1.1 那賀町和食* = 1.1 吉野川市鴨島町 = 1.1 吉野川市川島町* = 1.1 徳島市大和町 = 1.0 鳴門市撫養町 = 1.0 那賀町横石 = 1.0 上勝町旭* = 0.8 海陽町穴喰浦* = 0.8 つるぎ町貞光* = 0.8 阿南市山口町* = 0.8 那賀町上那賀* = 0.7 美馬市木屋平* = 0.6 阿波市市場町* = 0.5 高知県 2 室戸市浮津* = 2.4 室戸市室戸岬町 = 1.8 安芸市矢ノ丸* = 1.5 高知香南市市須賀町坪井* = 1.5				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 安芸市西浜=1.4 田野町役場*=1.4 奈半利町役場*=1.3 室戸市吉良川町=1.2 東洋町生見*=1.1 北川村野友*=1.0 芸西村和食*=0.7 高知香南市赤岡支所*=0.6 香美市土佐山田町宝町=0.6 高知市池*=0.5 兵庫県 1 南あわじ市福良=0.5 奈良県 1 高取町観音寺*=0.5 岡山県 1 玉野市宇野*=0.9 倉敷市児島小川町*=0.6 里庄町里見*=0.5 香川県 1 さぬき市寒川町*=1.1 東かがわ市西村=0.8 土庄町甲=0.8 高松市扇町*=0.7 さぬき市長尾総合公園*=0.5				
9	2 16 16	茨城県南部 茨城県 2 笠間市石井*=1.9 笠間市笠間*=1.8 桜川市羽田*=1.7 常陸大宮市上小瀬*=1.6 桜川市岩瀬*=1.6 笠間市下郷*=1.6 水戸市内原町*=1.6 石岡市柿岡=1.5 筑西市門井*=1.5 1 水戸市金町=1.4 取手市寺田*=1.4 土浦市下高津*=1.3 水戸市千波町*=1.3 筑西市舟生=1.3 土浦市常名=1.3 笠間市中央*=1.2 つくば市天王台*=1.2 つくば市研究学園*=1.2 つくば市小茎*=1.2 坂東市山*=1.2 稲敷市江戸崎甲*=1.2 小美玉市堅倉*=1.2 桜川市真壁*=1.2 筑西市海老ヶ島*=1.1 下妻市本城町*=1.1 鉾田市造谷*=1.1 日立市助川小学校*=1.1 東海村東海*=1.1 稲敷市役所*=1.1 城里町石塚*=1.1 筑西市下中山*=1.1 常陸大宮市北町*=1.0 石岡市若宮*=1.0 石岡市八郷*=1.0 城里町徳蔵*=1.0 ひたちなか市東石川*=1.0 城里町阿波山*=1.0 茨城町小堤*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=1.0 常総市水海道諏訪町*=0.9 稲敷市結佐*=0.9 守谷市大柏*=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 常総市新石下*=0.8 かすみがうら市大和田*=0.8 牛久市城中町*=0.8 稲敷市柴崎*=0.8 坂東市岩井=0.7 阿見町中央*=0.7 美浦村受領*=0.7 かすみがうら市上土田*=0.7 利根町布川=0.6 つくばみらい市福田*=0.6 牛久市中央*=0.6 行方市玉造*=0.6 土浦市藤沢*=0.6 八千代町菅谷*=0.6 茨城古河市仁連*=0.6 鉾田市鉾田=0.5 境町旭町*=0.5 常陸大宮市山方*=0.5 龍ヶ崎市役所*=0.5 茨城鹿嶋市宮中*=0.5 千葉県 2 野田市鶴奉*=1.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.6 1 柏市旭町=1.4 白井市復*=1.2 栄町安食台*=1.2 芝山町小池*=1.0 山武市埴谷*=1.0 千葉花見川区花島町*=1.0 成田市花崎町=1.0 香取市佐原諏訪台*=0.9 成田市中台*=0.8 柏市柏*=0.8 八千代市大和田新田*=0.8 印西市大森*=0.8 成田国際空港=0.7 柏市大島田*=0.7 我孫子市我孫子*=0.7 印西市笠神*=0.7 印西市美瀬*=0.7 野田市東宝珠花*=0.5 成田市松子*=0.5 神崎町神崎本宿*=0.5 酒々井町中央台*=0.5 香取市役所*=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.4 佐野市中町*=1.4 佐野市葛生東*=1.4 真岡市石島*=1.4 鹿沼市晃望台*=1.3 小山市神鳥谷*=1.3 茂木町茂木*=1.3 宇都宮市中里町*=1.2 栃木市旭町=1.2 益子町益子=1.2 真岡市田町*=1.1 野木町丸林*=1.1 栃木市大平町富田*=1.1 小山市中央町*=1.0 栃木市西方町本城*=1.0 下野市石橋*=0.9 下野市小金井*=0.9 佐野市沼田町*=0.9 下野市田中*=0.8 鹿沼市今宮町*=0.8 鹿沼市口栗野*=0.7 壬生町通町*=0.6 栃木市万町*=0.6 日光市足尾町中才*=0.6 大田原市湯津上*=0.6 宇都宮市塙田*=0.6 宇都宮市旭*=0.6 足利市大正町*=0.6 那須烏山市大金*=0.5 日光市中鉢石町*=0.5 佐野市亀井町*=0.5 真岡市荒町*=0.5 上三川町しらさぎ*=0.5 群馬県 1 邑楽町中野*=1.0 沼田市利根町*=0.9 桐生市元宿町*=0.9 桐生市黒保根町*=0.6 館林市美園町*=0.6 桐生市新里町*=0.5 館林市城町*=0.5 埼玉県 1 春日部市粕壁*=1.2 久喜市下早見=1.0 春日部市金崎*=1.0 宮代町笠原*=0.9 東松山市松葉町*=0.8 熊谷市江南*=0.7 滑川町福田*=0.7 東松山市市ノ川*=0.6 上尾市本町*=0.6	36° 11.8' N	139° 58.5' E	52km	M: 3.8
10	2 17 07	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑤瑤瑯*=0.7 根室市牧の内*=0.6	43° 07.9' N	145° 52.7' E	45km	M: 3.2
11	2 17 08	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東*=0.8	43° 39.0' N	147° 38.5' E	0km	M: 4.2
12	2 17 23	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東*=0.5	43° 39.6' N	147° 44.6' E	0km	M: 4.2
13	2 22 11	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*=0.7	36° 03.5' N	137° 33.7' E	7km	M: 2.4
14	2 22 56	伊豆半島東方沖 静岡県 2 東伊豆町奈良本*=2.2 1 河津町田中*=0.9 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 東伊豆町稲取*=0.6 伊豆の国市長岡*=0.5 神奈川県 1 湯河原町中央=0.7	34° 51.1' N	139° 17.0' E	13km	M: 3.5
15	2 23 19	伊豆半島東方沖 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=1.1	34° 51.0' N	139° 16.3' E	9km	M: 2.5
16	3 14 02	千葉県東方沖 千葉県 1 旭市高生*=1.1 旭市萩園*=0.8 香取市仁良*=0.7 銚子市若宮町*=0.5	35° 38.7' N	140° 51.0' E	13km	M: 3.3
17	4 01 51	福島県沖 宮城県 2 石巻市桃生町*=1.6 1 丸森町鳥屋*=1.1 登米市米山町*=1.1 石巻市大街道南*=1.0 登米市迫町*=1.0 南三陸町志津川=1.0 女川町女川浜*=0.9 大崎市古川北町*=0.9 大崎市田尻*=0.9 角田市角田*=0.9 大崎市古川三日町=0.9 石巻市相野谷*=0.9 石巻市前谷地*=0.9 東松島市矢本*=0.9 宮城美里町木間塚*=0.8 気仙沼市笹が陣*=0.8 気仙沼市唐桑町*=0.8 登米市南方町*=0.8	37° 09.2' N	143° 26.1' E	54km	M: 5.3

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		気仙沼市赤岩*0.7 栗原市築館*0.7 登米市中田町=0.7 登米市登米町*0.7 名取市増田*0.7 亶理町下小路*0.7 石巻市北上町*0.6 栗原市高清水*0.6 松島町高城=0.6 利府町利府*0.6 大崎市古川大崎=0.5 福島県 2 玉川村小高*2.1 白河市新白河*1.5 古殿町松川新桑原*1.5 1 田村市滝根町*1.4 郡山市湖南町*1.3 国見町藤田*1.2 鏡石町不時沼*1.2 天栄村下松本*1.2 西郷村熊倉*1.2 田村市大越町*1.2 須賀川市岩瀬支所*1.2 いわき市三和町=1.2 川俣町樋ノ口*1.1 須賀川市八幡山*1.1 浅川町浅川*1.0 白河市郭内=1.0 川内村上川内早渡*1.0 福島市松木町=0.9 浪江町幾世橋=0.9 二本松市油井*0.8 郡山市朝日=0.8 白河市大信*0.8 福島伊達市霊山町*0.7 棚倉町棚倉中居野=0.6 川内村上川内小山平*0.6 田村市都路町*0.5 南相馬市原町区高見町*0.5 青森県 1 階上町道仏*1.0 八戸市南郷*0.7 岩手県 1 大船渡市大船渡町=0.9 釜石市中妻町*0.8 北上市相去町*0.8 一関市千厩町*0.8 盛岡市玉山区薮川*0.7 盛岡市山王町=0.7 一関市室根町*0.7 花巻市大迫町=0.6 大船渡市盛町*0.6 一関市藤沢町*0.6 奥州市水沢区佐倉河*0.6 遠野市青笹町*0.6 宮古市田老*0.5 大船渡市猪川町=0.5 山形県 1 米沢市林泉寺*0.7 茨城県 1 笠間市石井*1.2 水戸市内原町*1.0 笠間市笠間*0.9 筑西市舟生=0.9 大子町池田*0.8 東海村東海*0.6 高萩市安良川*0.5 土浦市常名=0.5 石岡市柿岡=0.5 栃木県 1 大田原市湯津上*1.1 真岡市石島*1.0 那須烏山市中央=0.7 益子町益子=0.6 宇都宮市明保野町=0.5 小山市神鳥谷*0.5 群馬県 1 沼田市白沢町*0.8 桐生市元宿町*0.6 邑楽町中野*0.6 前橋市富士見町*0.5 伊勢崎市西久保町*0.5				
18	4 02 36	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市一番丁*0.8	34° 12.7' N	135° 10.1' E	5km	M: 2.0
19	4 04 52	八丈島東方沖 千葉県 2 館山市長須賀=1.6 館山市北条*1.5 1 南房総市白浜町白浜*1.4 南房総市富浦町青木*1.1 鴨川市八色=0.8 勝浦市墨名=0.7 鴨川市横渚*0.7 南房総市上堀=0.5 東京都 1 八丈町富士グラウンド*1.1 御蔵島村西川=0.9 八丈町三根=0.8 三宅村神着=0.8 伊豆大島町波浮港*0.6 東京千代田区大手町=0.5 神奈川県 1 三浦市城山町*0.6	33° 29.1' N	140° 00.2' E	107km	M: 4.7
20	4 06 04	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*2.3 一関市室根町*2.0 住田町世田米*1.9 釜石市中妻町*1.7 一関市藤沢町*1.7 一関市東山町*1.6 大船渡市大船渡町=1.5 1 北上市相去町*1.4 金ヶ崎町西根*1.4 平泉町平泉*1.4 奥州市江刺区*1.3 遠野市青笹町*1.3 遠野市宮守町*1.2 陸前高田市高田町*1.2 釜石市只越町=1.2 宮古市区界*1.2 山田町大沢*1.2 花巻市大迫町=1.1 大船渡市猪川町=1.1 奥州市衣川区*1.0 一関市大東町=1.0 一関市花泉町*0.9 花巻市東和町*0.9 宮古市田老*0.8 大船渡市盛町*0.8 奥州市胆沢区*0.8 盛岡市玉山区洪民*0.8 一関市川崎町*0.8 矢巾町南矢幅*0.8 宮古市川井*0.7 八幡平市田頭*0.7 盛岡市山王町=0.7 花巻市大迫総合支所*0.6 宮古市鍛ヶ崎=0.6 山田町八幡町=0.6 奥州市前沢区*0.6 花巻市石島谷町*0.6 北上市柳原町=0.5 盛岡市玉山区薮川*0.5 宮古市茂市*0.5 宮城県 2 気仙沼市唐桑町*2.3 気仙沼市笹か陣*2.0 南三陸町志津川=1.7 石巻市北上町*1.6 涌谷町新町裏=1.5 石巻市桃生町*1.5 1 気仙沼市赤岩=1.4 栗原市築館*1.3 栗原市志波姫*1.3 登米市中田町=1.3 登米市登米町*1.3 登米市石越町*1.3 登米市豊里町*1.1 栗原市高清水*1.1 南三陸町歌津*1.1 女川町女川浜*1.1 栗原市栗駒=1.0 気仙沼市本吉町津谷*1.0 石巻市泉町=1.0 色麻町四竈*1.0 登米市米山町*0.9 登米市津山町*0.9 登米市東和町*0.9 石巻市大街道南*0.9 東松島市矢本*0.9 気仙沼市本吉町西川内=0.9 大崎市田尻*0.8 東松島市小野*0.8 大崎市古川大崎=0.7 登米市迫町*0.7 栗原市瀬峰*0.7 宮城美里町木間塚*0.7 大崎市鳴子*0.6 栗原市金成*0.6 大崎市古川三日町=0.5	38° 48.9' N	141° 35.8' E	74km	M: 3.9
21	4 06 14	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*0.9	36° 56.7' N	139° 24.9' E	5km	M: 2.3
22	4 07 19	三陸沖 岩手県 1 宮古市田老*0.8 盛岡市玉山区薮川*0.8 釜石市中妻町*0.5 山田町大沢*0.5	39° 36.3' N	143° 22.6' E	23km	M: 4.8
23	4 13 49	奄美大島北東沖 鹿児島県 3 鹿児島十島村諏訪之瀬島*2.6 2 鹿児島十島村悪石島*2.1 奄美市笠利町里*2.0 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.7 奄美市名瀬港町=1.5 1 鹿児島十島村口之島出張所*1.3 鹿児島十島村中之島出張所*1.3 喜界町滝川=1.2 屋久島町平内=0.8 錦江町田代支所*0.8 鹿屋市新栄町=0.7	29° 18.7' N	130° 27.5' E	45km	M: 5.3
24	5 11 28	青森県下北地方 青森県 2 東通村砂子又沢内*2.0 1 東通村砂子又蒲谷地=1.3 むつ市金曲=0.9	41° 16.8' N	141° 17.5' E	7km	M: 2.3
25	5 12 13	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*2.4 住田町世田米*2.0 一関市室根町*1.9 一関市大東町=1.8	38° 32.0' N	141° 49.2' E	51km	M: 4.5

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
26	5 13 18	宮城県 大船渡市大船渡町=1.8 釜石市中妻町*=1.6 一関市藤沢町*=1.5 1 釜石市只越町=1.3 奥州市衣川区*=1.2 陸前高田市高田町*=1.1 大船渡市猪川町=1.1 盛岡市玉山区薮川*=1.1 一関市東山町*=1.1 一関市花泉町*=1.0 矢巾町南矢幅*=1.0 宮古市田老*=0.9 山田町八幡町=0.9 大船渡市盛町*=0.8 北上市相去町*=0.8 遠野市青笹町*=0.8 奥州市前沢区*=0.7 宮古市区界*=0.7 山田町大沢*=0.6 遠野市宮守町*=0.6 一関市川崎町*=0.6 一関市竹山町*=0.6 金ヶ崎町西根*=0.5 平泉町平泉*=0.5 宮古市五月町*=0.5				
		宮城県 2 南三陸町志津川=2.3 石巻市桃生町*=2.1 女川町女川浜*=1.9 南三陸町歌津*=1.8 涌谷町新町裏=1.7 登米市豊里町*=1.7 気仙沼市唐桑町*=1.7 東松島市矢本*=1.6 松島町高城=1.6 岩沼市桜*=1.6 石巻市大街道南*=1.5 石巻市北上町*=1.5 石巻市相野谷*=1.5 登米市迫町*=1.5 気仙沼市赤岩=1.5 気仙沼市笹が陣*=1.5 1 登米市東和町*=1.4 宮城美里町北浦*=1.4 大崎市古川三日町=1.4 石巻市前谷地*=1.4 大崎市古川北町*=1.3 石巻市泉町=1.3 登米市中田町=1.3 栗原市若柳*=1.2 気仙沼市本吉町西川内=1.2 大崎市田尻*=1.2 名取市増田*=1.2 登米市登米町*=1.2 登米市米山町*=1.2 登米市南方町*=1.1 石巻市大瓜=1.1 宮城美里町木間塚*=1.1 東松島市小野*=1.1 大崎市鹿島台*=1.0 石巻市鮎川浜*=1.0 仙台空港=1.0 石巻市雄勝町*=1.0 大崎市松山*=0.9 仙台宮城野区五輪=0.9 仙台宮城野区苦竹*=0.9 仙台若林区遠見塚*=0.9 角田市角田*=0.8 登米市津山町*=0.8 山元町浅生原*=0.7 大崎市古川大崎=0.7 気仙沼市本吉町津谷*=0.7 栗原市高清水*=0.6 栗原市栗駒=0.6 栗原市築館*=0.6 大郷町粕川*=0.6 仙台青葉区大倉=0.5 柴田町船岡=0.5 丸森町鳥屋*=0.5 1 階上町道仏*=0.8				
27	5 13 27	宮城県沖 岩手県 38° 40.2' N 142° 09.3' E 42km M: 4.5 2 一関市千厩町*=2.2 一関市室根町*=1.9 釜石市中妻町*=1.8 奥州市前沢区*=1.7 北上市相去町*=1.5 一関市藤沢町*=1.5				
		宮城県 1 一関市花泉町*=1.4 平泉町平泉*=1.4 奥州市衣川区*=1.3 大船渡市大船渡町=1.3 住田町世田米*=1.3 宮古市田老*=1.2 釜石市只越町=1.2 一関市東山町*=1.2 奥州市江刺区*=1.1 奥州市胆沢区*=1.1 一関市大東町=1.1 宮古市五月町*=1.1 花巻市大迫町=1.1 陸前高田市高田町*=1.0 遠野市青笹町*=1.0 山田町大沢*=1.0 大船渡市猪川町=1.0 盛岡市山王町=1.0 金ヶ崎町西根*=1.0 花巻市東和町*=0.9 矢巾町南矢幅*=0.9 宮古市区界*=0.8 花巻市石鳥谷町*=0.8 盛岡市玉山区薮川*=0.8 盛岡市玉山区洪民*=0.8 八幡平市田頭*=0.8 遠野市宮守町*=0.7 北上市柳原町=0.7 一関市竹山町*=0.7 久慈市枝成沢=0.6 盛岡市馬場町*=0.5 宮古市鉾ヶ崎=0.5 山田町八幡町=0.5 宮古市川井*=0.5				
28	5 17 50	長野県中部 長野県 36° 24.4' N 138° 02.7' E 3km M: 2.5 1 筑北村坂井=1.2 青木村田沢青木*=0.8 麻績村麻*=0.7 筑北村西条*=0.6				
		千葉県東部 茨城県 千葉県 35° 52.7' N 140° 53.6' E 39km M: 3.6 1 茨城鹿嶋市宮中*=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 1 旭市南堀之内*=1.2 多古町多古=0.7 香取市仁良*=0.7 成田市花崎町=0.6 香取市佐原諏訪台*=0.5				
30	6 03 26	茨城県北部 茨城県 36° 54.1' N 140° 36.7' E 100km M: 3.9 2 日立市助川小学校*=1.5 1 笠間市石井*=1.4 水戸市内原町*=1.3 常陸大宮市北町*=1.1 水戸市千波町*=1.0 ひたちなか市東石川*=1.0 常陸大宮市上小瀬*=1.0 城里町石塚*=1.0 鉾田市汲上*=1.0 日立市役所*=1.0 石岡市若宮*=0.9 筑西市門井*=0.9 東海村東海*=0.9 土浦市常名=0.8 石岡市柿岡=0.8 かすみがうら市大和田*=0.8 笠間市下郷*=0.8 那珂市瓜連*=0.8 城里町徳蔵*=0.8 常陸大宮市山方*=0.7 常陸太田市高柿町*=0.7 ひたちなか市南神敷台*=0.7 高萩市下手綱*=0.7 桜川市岩瀬*=0.7 桜川市羽田*=0.7 小美玉市小川*=0.7 笠間市中央*=0.7 笠間市笠間*=0.6 小美玉市堅倉*=0.6 小美玉市上玉里*=0.6 常陸大宮市中富町=0.6 水戸市金町=0.6 筑西市舟生=0.6 城里町阿波山*=0.5 美浦村受領*=0.5 日立市十王町友部*=0.5				
		福島県 栃木県 1 田村市都路町*=1.0 浪江町幾世橋=0.9 矢祭町戸塚*=0.8 玉川村小高*=0.8 浅川町浅川*=0.8 田村市船引町=0.7 棚倉町棚倉中居野=0.6 いわき市三和町=0.5 1 宇都宮市中里町*=1.1 宇都宮市明保野町=0.9 茂木町茂木*=0.6 栃木那珂川町馬頭*=0.6				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
31	6 08 53	福島県中通り 福島県	36° 57.5' N	140° 32.1' E	8km	M: 4.0
		日光市中鉢石町*0.5 鹿沼市今宮町*0.5 2 矢祭町東館*2.2 矢祭町戸塚*1.6 鮫川村赤坂中野*1.5 浅川町浅川*1.5 1 白河市新白河*1.3 棚倉町棚倉中居野*1.3 塙町塙*1.3 玉川村小高*1.3 古殿町松川横川=1.3 古殿町松川新桑原*1.3 いわき市平梅本*1.3 いわき市錦町*1.1 白河市東*1.1 いわき市小名浜=1.1 いわき市三和町=1.0 平田村永田*1.0 田村市大越町*0.9 鏡石町不時沼*0.9 小野町中通*0.9 田村市都路町*0.8 須賀川市八幡山*0.8 川内村上川内早渡*0.8 石川町下泉*0.8 浪江町幾世橋=0.7 小野町小野新町*0.6 田村市船引町=0.6 大玉村曲藤=0.6 白河市郭内=0.5 天栄村下松本*0.5 福島広野町下北迫大谷地原*0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*1.3 日立市役所*1.1 高萩市下手綱*1.1 日立市十王町友部*1.0 高萩市安良川*0.9 常陸太田市大中町*0.8 東海村東海*0.8 大子町池田*0.7 ひたちなか市南神敷台*0.6 常陸大宮市上小瀬*0.6 土浦市常名=0.6 笠間市石井*0.5				
32	6 11 00	岩手県沖 岩手県	39° 38.3' N	142° 06.7' E	49km	M: 3.6
		1 山田町大沢*1.0 宮古市鉾ヶ崎=0.9 宮古市田老*0.8 宮古市川井*0.7 宮古市五月町*0.6				
33	6 11 04	石川県西方沖 石川県	36° 26.8' N	136° 12.2' E	17km	M: 4.3
		3 小松市小馬出町=3.3 加賀市大聖寺南町*2.7 小松市向本折町*2.6 能美市中町*2.5 2 能美市寺井町*2.4 能美市来丸町*2.3 加賀市直下町=2.2 川北町老ツ屋*2.1 白山市倉光*1.9 輪島市門前町走出*1.7 金沢市西念=1.6 加賀市山中温泉湯の出町*1.6 白山市別宮町*1.5 金沢市弥生*1.5 内灘町大学*1.5 かほく市高松*1.5 1 白山市鶴来本町*1.4 津幡町加賀爪=1.3 かほく市浜北*1.2 輪島市鳳至町=1.2 野々市市三納*1.2 志賀町香能*1.2 七尾市本府中町=0.9 白山市河内町口直海*0.9 穴水町大町*0.9 能登町宇出津=0.7 羽咋市旭町*0.7 志賀町富来領家町=0.6 白山市白峰*0.6 福井県 3 あわら市国影*2.7 福井坂井市三国町中央=2.7 2 福井市大手*2.3 あわら市市姫*2.2 福井坂井市坂井町下新庄*2.2 福井市豊島=2.0 福井市板垣*1.9 福井坂井市春江町随心寺*1.9 永平寺町栗住波*1.7 越前町江波*1.7 福井坂井市丸岡町西里丸岡*1.5 富山県 1 越前町西田中*1.4 鯖江市水落町*0.9 永平寺町松岡春日*0.9 越前市栗田部*0.9 越前町織田*0.8 大野市天神町*0.8 勝山市旭町=0.7 福井市小羽町*0.6 大野市朝日*0.5 高浜町宮崎=0.5 大野市貝皿*0.5 2 射水市戸破*2.0 小矢部市泉町=1.9 富山市石坂=1.9 射水市本町*1.8 南砺市上平細島*1.6 小矢部市水牧*1.5 高岡市広小路*1.5 1 射水市二口*1.4 射水市小島*1.3 射水市加茂中部*1.2 高岡市福岡町*1.1 富山市新桜町*1.0 南砺市天池=1.0 南砺市利賀村上百瀬*0.9 南砺市城端*0.9 南砺市下梨*0.9 氷見市加納*0.9 富山市八尾町福島=0.8 舟橋村仏生寺*0.8 富山朝日町道下=0.8 南砺市蛇巻*0.8 高岡市伏木=0.7 滑川市寺家町*0.6 南砺市荒木*0.6 富山市婦中町笹倉*0.6 砺波市庄川町*0.5 富山市山田湯*0.5 南砺市井波*0.5 岐阜県 1 高山市上宝町本郷*1.0 飛騨市宮川町*0.7 瑞穂市宮田*0.7 高山市国府町*0.6 飛騨市河合町元田*0.6 養老町高田*0.6 瑞穂市別府*0.6 愛知県 1 一宮市千秋=0.6 滋賀県 1 近江八幡市桜宮町=0.5				
34	6 11 49	茨城県南部 茨城県	36° 10.6' N	140° 06.5' E	51km	M: 3.3
		1 常陸大宮市上小瀬*1.0 桜川市岩瀬*0.9 水戸市内原町*0.8 筑西市門井*0.8 筑西市海老ヶ島*0.6 常陸大宮市北町*0.6 笠間市笠間*0.6 桜川市羽田*0.6 城里町石塚*0.6 石岡市柿岡=0.6 日立市助川小学校*0.5 栃木県 1 真岡市石島*0.9 真岡市田町*0.7 宇都宮市中里町*0.5				
35	6 13 02	渡島地方東部 北海道	42° 06.9' N	140° 29.1' E	10km	M: 2.8
		2 渡島森町上台町*1.7 1 渡島森町御幸町=1.4				
36	7 00 23	石垣島近海 沖縄県	24° 23.3' N	124° 06.8' E	44km	M: 4.4
		1 石垣市新栄町*1.4 竹富町大原=1.4 竹富町船浮=1.4 石垣市美崎町*1.2 竹富町黒島=1.1 石垣市伊原間*1.1 竹富町上原*1.0 石垣市平久保=0.8 石垣市登野城=0.7				
37	7 01 00	熊本県熊本地方 熊本県	32° 55.7' N	130° 44.3' E	6km	M: 2.1
		1 菊池市泗水町*0.6 熊本北区植木町*0.5				
38	7 01 45	福島県沖 福島県	36° 58.0' N	141° 13.3' E	56km	M: 4.0
		2 白河市新白河*1.8 玉川村小高*1.6 川内村上川内早渡*1.6 矢祭町東館*1.6 白河市東*1.5 矢祭町戸塚*1.5 1 いわき市錦町*1.4 棚倉町棚倉中居野=1.3 古殿町松川新桑原*1.3 田村市大越町*1.3 檜葉町北田*1.2 川内村上川内小山平*1.2 平田村永田*1.2 田村市都路町*1.2 田村市滝根町*1.2 郡山市開成*1.2 鏡石町不時沼*1.1 浅川町浅川*1.1 天栄村下松本*1.1 川内村上川内=1.1 西郷村熊倉*1.1 須賀川市八幡山*1.1 郡山市朝日=1.0 小野町中通*1.0 いわき市三和町=1.0 石川町下泉*1.0 白河市郭内=0.9 いわき市平梅本*0.9 白河市大信*0.9 泉崎村泉崎*0.9 小野町小野新町*0.9 須賀川市岩瀬支所*0.8 いわき市小名浜=0.8 福島広野町下北迫大谷地原*0.7 田村市船引町=0.7 本宮市本宮*0.7 富岡町本岡*0.6 二本松市油井*0.6 福島広野町下北迫苗代替*0.5 いわき市平四波*0.5 田村市常葉町*0.5 大玉村玉井*0.5 郡山市湖南町*0.5				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		茨城県 2 日立市十王町友部*=1.7 常陸大宮市山方*=1.5 1 日立市助川小学校*=1.4 日立市役所*=1.4 常陸大宮市上小瀬*=1.3 水戸市内原町*=1.2 常陸太田市大中町*=1.2 高萩市安良川*=1.2 常陸太田市高柿町*=1.1 笠間市石井*=1.1 大子町池田*=1.1 常陸大宮市北町*=1.1 常陸大宮市野口*=1.1 城里町石塚*=1.1 ひたちなか市南神敷台*=1.0 小美玉市堅倉*=0.9 土浦市常名=0.9 東海村東海*=0.9 笠間市下郷*=0.8 筑西市門井*=0.8 鉾田市汲上*=0.8 笠間市笠間*=0.8 高萩市下手綱*=0.8 稲敷市江戸崎甲*=0.7 北茨城市磯原町*=0.7 桜川市岩瀬*=0.7 桜川市羽田*=0.7 常陸太田市町田町*=0.7 笠間市中央*=0.7 水戸市千波町*=0.7 常陸太田市町屋町=0.6 土浦市下高津*=0.6 水戸市金町=0.6 ひたちなか市東石川*=0.6 桜川市真壁*=0.6 茨城町小堤*=0.6 常陸大宮市高部*=0.5 石岡市柿岡=0.5 筑西市海老ヶ島*=0.5 城里町阿波山*=0.5 小美玉市小川*=0.5				
		栃木県 1 大田原市湯津上*=1.3 那須町寺子*=1.1 那須烏山市中央=1.0 大田原市黒羽田町=0.8 宇都宮市明保野町=0.7 真岡市石島*=0.7 栃木那珂川町馬頭*=0.7 那須塩原市鍋掛*=0.6 芳賀町祖母井*=0.6 日光市中鉢石町*=0.5 宇都宮市中里町*=0.5 茂木町茂木*=0.5 栃木那珂川町小川*=0.5				
39	7 11 33	岩手県沖 岩手県 宮城県 1 一関市室根町*=0.7 住田町世田米*=0.6 釜石市中妻町*=0.5 1 南三陸町志津川=1.1 気仙沼市笹が陣*=0.8 気仙沼市赤岩=0.5	39° 01.6' N	142° 22.8' E	33km	M: 3.9
40	7 13 43	京都府南部 京都府 1 京丹波町本庄*=0.7	35° 09.8' N	135° 29.3' E	8km	M: 2.8
41	7 18 47	千葉県東方沖 千葉県 1 旭市高生*=0.8	35° 38.5' N	140° 51.2' E	13km	M: 3.2
42	7 23 44	有明海 長崎県 1 南島原市深江町*=1.0	32° 44.0' N	130° 23.5' E	10km	M: 2.1
43	8 11 15	福島県沖 福島県 2 南相馬市原町区高見町*=1.7 1 檜葉町北田*=1.4 南相馬市原町区三島町=1.4 富岡町本岡*=1.3 浪江町幾世橋=1.2 川内村上川内早渡*=1.2 南相馬市原町区本町*=1.1 南相馬市鹿島区西町*=1.0 田村市常葉町*=0.9 田村市都路町*=0.9 田村市船引町=0.9 川内村上川内小山平*=0.8 福島広野町下北迫大谷地原*=0.8 川内村下川内=0.6 南相馬市鹿島区栢窪=0.5 浅川町浅川*=0.5 田村市大越町*=0.5 宮城県 1 蔵王町円田*=0.8 岩沼市桜*=0.8	37° 24.1' N	141° 20.2' E	30km	M: 4.1
44	8 12 31	長野県北部 新潟県 2 上越市清里区荒牧*=1.6 1 上越市安塚区安塚*=1.1 上越市浦川原区釜淵*=1.1 上越市牧区柳島*=1.0 妙高市田町*=0.8 上越市板倉区針*=0.7 上越市中郷区藤沢*=0.5 妙高市関山*=0.5 上越市大手町=0.5 長野県 1 飯山市飯山福寿町*=0.7	36° 59.0' N	138° 26.3' E	14km	M: 2.9
45	8 20 22	駿河湾 静岡県 3 伊豆市中伊豆グラウンド=3.2 西伊豆町仁科*=3.1 松崎町江奈*=3.1 牧之原市静波*=3.1 西伊豆町一色*=3.0 東伊豆町奈良本*=3.0 牧之原市鬼女新田=2.9 河津町田中*=2.9 御前崎市池新田*=2.9 掛川市西大淵*=2.8 袋井市浅名*=2.7 御前崎市御前崎=2.5 静岡菊川市赤土*=2.5 静岡菊川市堀之内*=2.5 2 東伊豆町稲取*=2.4 南伊豆町入間*=2.4 南伊豆町下賀茂*=2.4 富士宮市野中*=2.3 焼津市宗高*=2.3 吉田町住吉*=2.3 袋井市新屋=2.3 島田市金谷代官町*=2.2 下田市中*=2.2 焼津市本町*=2.1 静岡駿河区曲金=2.1 掛川市三俣*=2.1 島田市中央町=2.1 掛川市篠場=2.0 西伊豆町宇久須*=2.0 伊豆の国市長岡*=1.9 掛川市長谷*=1.9 下田市加増野=1.9 富士宮市弓沢町=1.8 磐田市下野部*=1.7 藤枝市岡出山*=1.7 静岡森町森*=1.7 富士市吉永*=1.6 磐田市福田*=1.6 磐田市森岡*=1.6 富士市大淵*=1.6 南伊豆町石廊崎=1.6 富士宮市長貫*=1.6 藤枝市岡部町岡部*=1.5 浜松浜北区西美箇*=1.5 1 伊豆の国市田京*=1.4 静岡葵区駒形通*=1.4 浜松北区細江町*=1.4 函南町平井*=1.3 沼津市戸田*=1.3 富士市永田町*=1.3 静岡清水区千歳町=1.3 磐田市岡*=1.3 熱海市中央町*=1.2 伊豆市八幡*=1.2 島田市川根町家山=1.2 藤枝市瀬戸新屋*=1.2 浜松北区三ヶ日町=1.2 浜松天竜区佐久間町*=1.2 熱海市網代=1.1 静岡葵区追手町県庁*=1.1 静岡葵区追手町市役所*=1.1 磐田市見付*=1.1 伊東市大原=1.1 浜松天竜区春野町*=1.1 伊豆市市山*=1.1 磐田市国府台*=1.0 伊豆の国市四日町*=1.0 浜松東区流通元町*=1.0 静岡葵区梅ヶ島*=1.0 浜松北区引佐町*=1.0 三島市東本町=1.0 静岡清水区蒲原新栄*=1.0 富士市本市場*=0.9 小山町藤曲*=0.9 熱海市泉*=0.9 浜松南区江之島町*=0.9 沼津市高島本町*=0.8 浜松天竜区龍山町*=0.8 富士市岩淵*=0.8 静岡清水町堂庭*=0.7 静岡清水区由比北田*=0.7 浜松天竜区二俣町鹿島*=0.7 湖西市新居町浜名*=0.7 湖西市吉美*=0.7 浜松中区元城町*=0.7 浜松西区雄踏*=0.7 川根本町東藤川*=0.6 浜松中区三組町*=0.6 伊豆市小立野*=0.5 千葉県 2 鋸南町下佐久間*=1.9 1 館山市長須賀=0.8 東京都 2 新島村本村*=2.1 新島村大原=2.0 新島村式根島=1.7 東京利島村東山=1.7 伊豆大島町波浮港*=1.6 1 神津島村金長=1.4 神津島村役場*=1.4 伊豆大島町元町=1.2 伊豆大島町差木地=1.1 町田市中町*=0.7 山梨県 2 富士河口湖町長浜*=1.7 甲府市飯田=1.6 南アルプス市寺部*=1.6 笛吹市役所*=1.6 1 甲斐市下今井*=1.5 笛吹市八代町南*=1.5 1 甲府市下曾根町*=1.4 笛吹市境川町藤袋*=1.4 市川三郷町六郷支所*=1.4 甲州市役所*=1.4	34° 41.9' N	138° 31.1' E	23km	M: 4.6

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		山梨南部町富士*=1.3 甲府市古閑町*=1.3 中央市成島*=1.3 甲州市塩山下於曾=1.2 甲州市塩山上於曾*=1.2 笛吹市春日居町寺本*=1.2 甲州市勝沼町勝沼*=1.2 山梨北杜市長坂町*=1.2 中央市白井阿原*=1.2 富士河口湖町船津=1.2 鳴沢村役場*=1.1 山梨市牧丘町窪平*=1.1 山梨南部町栄小学校*=1.1 中央市大島居*=1.1 昭和町押越*=1.1 甲州市大和町初鹿野*=0.9 富士河口湖町本栖*=0.9 大月市大月=0.9 山梨市小原西*=0.8 甲斐市篠原*=0.8 身延町梅平*=0.8 身延町大磯小磯=0.7 上野原市役所*=0.7 上野原市上野原=0.5 大月市御大刀*=0.5 愛知県 2 新城市矢部=1.7 1 新城市作手高里繩手上*=1.3 新城市作手高里松風呂*=1.1 豊川市赤坂町*=1.0 新城市東入船*=1.0 豊田市長興寺*=1.0 豊田市一宮町*=0.9 愛知県みよし市三好町*=0.9 新城市長篠*=0.8 東郷町春木*=0.8 名古屋南区鳴尾*=0.7 西尾市矢管根町*=0.7 名古屋瑞穂区塩入町*=0.6 岡崎市若宮町=0.6 刈谷市寿町*=0.6 安城市横山町*=0.6 知立市弘法*=0.6 高浜市稗田町*=0.6 新城市乗本=0.6 豊田市小坂本町=0.5 豊田市小坂町*=0.5 豊橋市向山=0.5 群馬県 1 群馬上野村川和*=0.9 埼玉県 1 秩父市中津川*=0.7 神奈川県 1 湯河原町中央=1.4 相模原緑区中野*=1.1 横須賀市光の丘=0.8 横浜中区山手町=0.6 長野県 1 泰阜村役場*=1.2 佐久市白田*=1.1 長野高森町下市田*=1.0 天龍村天龍小学校*=1.0 茅野市葛井公園*=1.0 飯田市南信濃*=1.0 平谷村役場*=0.9 佐久市中込*=0.8 長野川上村大深山*=0.8 飯田市高羽町=0.8 飯田市上郷黒田*=0.8 豊丘村神稲*=0.7 長野南牧村海ノ口*=0.7 泰阜村梨久保=0.7 諏訪市湖岸通り=0.6 下條村睦沢*=0.6 岐阜県 1 土岐市泉町*=0.7 恵那市明智町*=0.6 恵那市山岡町*=0.6				
46	8 20 46	和歌山県北部 和歌山県 1 海南市下津*=0.7 海南市日方*=0.6	34° 08.9' N	135° 10.6' E	6km	M: 2.2
47	8 21 22	千葉県東方沖 茨城県 1 神栖市溝口*=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 日立市助川小学校*=0.5 千葉県 1 銚子市川口町=0.7 香取市仁良*=0.6	35° 52.4' N	140° 54.2' E	14km	M: 3.7
48	9 05 22	千葉県東方沖 茨城県 1 土浦市常名=0.7 稲敷市江戸崎甲*=0.7	35° 52.1' N	140° 54.2' E	13km	M: 3.6
49	9 13 45	宮城県沖 宮城県 1 石巻市桃生町*=1.0 福島県 1 檜葉町北田*=0.5	37° 50.1' N	141° 50.3' E	41km	M: 3.9
50	9 16 56	大阪府北部 大阪府 1 能勢町今西*=0.9 能勢町役場*=0.6	34° 58.1' N	135° 28.0' E	8km	M: 2.1
51	10 03 50	大分県中部 大分県 1 由布市湯布院町川上*=1.0	33° 16.0' N	131° 22.4' E	7km	M: 1.6
52	10 06 51	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市川口町=0.8	35° 31.2' N	140° 56.0' E	40km	M: 3.7
53	11 00 24	福島県沖 福島県 1 白河市新白河*=0.5	37° 10.5' N	141° 04.8' E	58km	M: 2.9
54	11 08 25	茨城県北部 茨城県 1 常陸太田市大中町*=0.7	36° 46.2' N	140° 33.9' E	8km	M: 2.9
55	11 09 08	奈良県 和歌山県 2 田辺市本宮町本宮*=1.8 田辺市中辺路町栗栖川*=1.6 湯浅町湯浅*=1.6 1 白浜町日置*=1.4 田辺市龍神村西*=1.0 みなべ町土井=0.9 串本町串本*=0.9 田辺市中辺路町近露=0.8 田辺市鮎川*=0.8 太地町役場*=0.7 田辺市中屋敷町*=0.6 海南市日方*=0.6 すさみ町周参見*=0.6 有田川町下津野*=0.6 古座川町高池=0.6 串本町古座*=0.5 日高川町土生*=0.5 三重県 1 尾鷲市南浦*=0.8 尾鷲市南陽町=0.8 熊野市有馬町*=0.5 尾鷲市中央町*=0.5 奈良県 1 十津川村小原*=1.2 天川村沢谷*=1.2 天川村洞川=1.0 曾爾村今井*=0.8 黒滝村寺戸*=0.6 桜井市初瀬=0.6 吉野町上市*=0.6 下北山村寺垣内*=0.5 東吉野村小川*=0.5	33° 55.3' N	135° 40.6' E	56km	M: 3.8
56	11 15 45	根室半島南東沖 北海道 2 根室市瑠瑠瑠*=2.3 根室市牧の内*=1.6 1 別海町常盤=1.4 根室市落石東*=1.3 根室市豊里=0.8 浜中町霧多布*=0.8 別海町本別海*=0.5	43° 06.7' N	146° 00.2' E	45km	M: 4.3
57	12 02 22	福島県会津 福島県 1 柳津町大成沢=0.6	37° 23.1' N	139° 42.2' E	3km	M: 2.0
58	12 05 49	東京湾 東京都 5弱 調布市西つつじヶ丘*=4.8 4 八王子市堀之内*=4.2 東京中野区中野*=4.1 小平市小川町*=4.1 多摩市関戸*=4.1 小金井市本町*=4.0 東京練馬区豊玉北*=4.0 日野市神明*=4.0 東京北区西ヶ原*=4.0 三鷹市野崎*=4.0 東京世田谷区三軒茶屋*=3.9 昭島市田中町*=3.9 町田市中町*=3.9 東京世田谷区成城*=3.9 東京新宿区上落合*=3.9 八王子市石川町*=3.9 東京足立区神明南*=3.8	35° 33.2' N	139° 49.7' E	57km	M: 5.2

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		町田市忠生*3.8 東京大田区本羽田*3.8 東京千代田区大手町*3.8 あきる野市伊奈*3.7 東京大田区多摩川*3.7 東京荒川区東尾久*3.7 東京世田谷区世田谷*3.7 東村山市本町*3.7 西東京市中町*3.7 東京新宿区百人町*3.7 稲城市東長沼*3.7 東京北区赤羽南*3.6 国分寺市戸倉*3.6 国分寺市本多*3.6 東京足立区伊興*3.6 羽村市緑ヶ丘*3.5 東京国際空港=3.5 東京練馬区東大泉*3.5 東村山市美住町*3.5 東京新宿区西新宿=3.5 町田市森野*3.5 国立市富士見台*3.5 狛江市和泉本町*3.5 東大和市中央*3.5 東京目黒区中央町*3.5 3 東京渋谷区本町*3.4 東京杉並区桃井*3.4 東京豊島区南池袋*3.4 東京足立区千住中居町*3.4 東京葛飾区立石*3.4 東京江戸川区中央=3.4 東京江戸川区船堀*3.4 東京府中市寿町*3.4 東京府中市白糸台*3.4 多摩市鶴牧*3.3 東京中野区中央*3.3 東京世田谷区中町*3.3 東京江戸川区鹿骨*3.3 武蔵野市吉祥寺東町*3.3 東京板橋区相生町*3.3 清瀬市中里*3.3 武蔵村山市本町*3.3 青梅市日向和田*3.2 東京杉並区高井戸*3.2 東京荒川区荒川*3.2 立川市泉町*3.2 東京新宿区歌舞伎町*3.2 東京文京区大塚*3.2 東京品川区平塚*3.2 瑞穂町箱根ヶ崎*3.2 東京中野区江古田*3.1 東京練馬区光が丘*3.1 東京文京区本郷*3.1 八王子市大横町*3.1 東京江東区越中島*3.1 東京江東区森下*3.1 東京江東区塩浜*3.1 調布市小島町*3.1 福生市福生*3.1 東京大田区蒲田*3.1 東京千代田区富士見*3.0 東京文京区スポーツセンタ*3.0 東京葛飾区金町*3.0 武蔵野市緑町*3.0 東京渋谷区宇田川町*3.0 青梅市東青梅=3.0 日の出町平井*3.0 東京板橋区板橋*3.0 東京足立区中央本町*2.9 東京品川区北品川*2.9 東京杉並区阿佐谷=2.9 東京港区海岸=2.9 東京板橋区高島平*2.9 清瀬市中清戸*2.9 東京台東区千束*2.8 東京墨田区東向島*2.8 東京大田区大森東*2.8 東京千代田区麴町*2.8 東京港区白金*2.8 東久留米市本町*2.8 東京江東区亀戸*2.7 東京中央区日本橋兜町*2.7 東京中央区勝どき*2.7 東京江東区青海=2.7 東京江東区東陽*2.7 東京港区南青山*2.6 東京品川区広町*2.6 東京台東区東上野*2.5 2 東京中央区築地*2.4 檜原村本宿*2.4 伊豆大島町波浮港*2.4 東京港区芝公園=2.3 東京墨田区吾妻橋*2.3 東京墨田区横川=2.2 伊豆大島町元町=2.1 東京利島村東山=2.1 伊豆大島町差木地=2.0 奥多摩町氷川*1.8 三宅村神着=1.8 檜原村役場*1.7 御蔵島村西川=1.5 1 三宅村役場臨時庁舎=1.4 新島村大原=1.2 新島村本村*1.2 新島村式根島=0.8 神津島村金長=0.6 4 さいたま岩槻区本丸*3.7 狭山市入間川*3.6 さいたま北区宮原*3.6 さいたま大宮区天沼町*3.6 春日部市粕壁*3.5 春日部市谷原新田*3.5 3 久喜市下早見*3.4 川口市中青木分室*3.4 所沢市北有楽町*3.4 入間市豊岡*3.4 新座市野火止*3.4 杉戸町清地*3.4 さいたま見沼区堀崎*3.4 戸田市上戸田*3.3 草加市高砂*3.3 埼玉三芳町藤久保*3.2 川島町平沼*3.2 宮代町笠原*3.2 久喜市青葉*3.2 加須市大利根*3.2 川口市青木*3.2 鶴ヶ島市三ツ木*3.2 さいたま緑区中尾*3.1 1 岡崎市千駄野*3.1 久喜市菖蒲*3.1 幸手市東*3.1 吉川市吉川*3.1 さいたま南区別所*3.1 上尾市本町*3.0 加須市騎西*3.0 毛呂山町中央*3.0 川越市旭町=3.0 さいたま大宮区大門*3.0 さいたま中央区下落合*3.0 さいたま浦和区高砂=3.0 春日部市金崎*3.0 和光市広沢*2.9 八潮市中央*2.9 富士見市鶴馬*2.9 鴻巣市中央*2.9 川越市新宿町*2.9 鴻巣市川里*2.9 久喜市栗橋*2.8 朝霞市本町*2.8 熊谷市大里*2.7 ふじみ野市福岡*2.7 行田市南河原*2.7 飯能市征矢町*2.7 鴻巣市吹上富士見*2.7 蕨市中央*2.7 志木市中宗岡*2.7 さいたま桜区道場*2.6 川口市三ツ和*2.6 桶川市上日出谷*2.6 三郷市幸房*2.6 飯能市名栗*2.6 越谷市越ヶ谷*2.6 久喜市鷲宮*2.6 さいたま西区指扇*2.6 所沢市並木*2.5 日高市南平沢*2.5 伊奈町小室*2.5 越生町越生*2.5 吉見町下細谷*2.5 ときがわ町桃木*2.5 加須市北川辺*2.5 東松山市松葉町*2.5 2 行田市本丸*2.4 飯能市双柳*2.4 蓮田市黒浜*2.4 坂戸市千代田*2.4 ふじみ野市大井*2.4 松伏町松伏*2.3 さいたま浦和区常盤*2.3 熊谷市妻沼*2.3 本庄市児玉町=2.3 埼玉美里町木部*2.3 北本市本町*2.3 熊谷市江南*2.2 加須市下三俣*2.2 羽生市東*2.2 嵐山町杉山*2.2 飯能市苑生=2.2 秩父市上町=2.2 秩父市近戸町*2.2 小鹿野町小鹿野*2.1 東松山市市ノ川*2.1 熊谷市宮町*2.0 鳩山町大豆戸=2.0 東秩父村御堂*2.0 熊谷市桜町=1.9 秩父市荒川*1.9 横瀬町横瀬*1.9 長瀨町野上下郷*1.9 小川町大塚*1.9 ときがわ町玉川*1.9 皆野町皆野*1.8 小鹿野町役場両神庁舎*1.8 滑川町福田*1.8 秩父市吉田*1.7 深谷市仲町*1.7 深谷市川本*1.7 長瀨町本野上*1.7 埼玉神川町植竹*1.6 寄居町寄居*1.6 深谷市岡部*1.5 1 本庄市本庄*1.4 埼玉神川町下阿久原*1.4 上里町七本木*1.4 秩父市中津川*1.4 秩父市大滝*1.2 小鹿野町両神薄=1.0 4 浦安市猫実*3.8 富津市下飯野*3.7 木更津市役所*3.7 市原市姉崎*3.6 浦安市日の出=3.6 3 長南町長南*3.2 千葉中央区都町*3.2 袖ヶ浦市坂戸市場*3.2 千葉緑区おゆみ野*3.1 野田市鶴奉*3.1 柏市柏*3.1 白井市復*3.1 木更津市太田=3.1 君津市久保*3.1 千葉中央区中央港=3.0 千葉花見川区花島町*3.0 柏市旭町=3.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*3.0 南房総市岩糸*3.0 長柄町桜谷*2.9 君津市久留里市場*2.9 鋸南町下佐久間*2.9 南房総市谷向*2.9 成田市花崎町=2.9 千葉佐倉市海隣寺町*2.8 八千代市大和田新田*2.8 印西市大森*2.8 山武市蓮沼ハ*2.8 千葉中央区千葉市役所*2.8 千葉稲毛区園生町*2.8 野田市東宝珠花*2.8 茂原市道表*2.7 東金市日吉台*2.7 旭市南堀之内*2.7 九十九里町片貝*2.7 鴨川市横渚*2.7 長柄町大津倉=2.7 山武市塩谷*2.7 南房総市富浦町青木*2.7 大網白里市大網*2.7 千葉若葉区小倉台*2.7 船橋市湊町*2.7 松戸市西馬橋*2.7 大多喜町大多喜*2.6 市川市八幡*2.6 松戸市根本*2.6 多古町多古=2.6 習志野市鷲沼*2.6 白子町関*2.6 柏市大島田*2.6 市原市国分寺台中央*2.6 流山市平和台*2.6 我孫子市我孫子*2.6 八街市八街*2.6 山武市殿台*2.6 成田市北条*2.6 千葉美浜区心ひ野=2.5 勝浦市墨名=2.5 一宮町一宮=2.5 長生村本郷*2.5 成田市中台*2.5 2 芝山町小池*2.4 匝瑳市今泉*2.4 横芝光町栗山*2.4 千葉美浜区稲毛海岸*2.4 成田国際空港=2.4 印西市笠神*2.4 栄町安食台*2.4 館山市長須賀=2.4 南房総市上堀=2.4 南房総市千倉町瀬戸*2.4 東金市東新宿=2.3 香取市役所*2.3 横芝光町宮川*2.3 山武市松尾町富士見台=2.3 山武市松尾町五反田*2.3 印西市美瀬*2.3 いすみ市国府台*2.3 南房総市白浜町白浜*2.3 東金市東岩崎*2.2 旭市ニ*2.2 睦沢町下之郷*2.2 四街道市鹿渡*2.2 鴨川市八色=2.2 いすみ市岬町長者*2.2 香取市佐原諏訪台*2.1				
		埼玉県				
		千葉県				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>南房総市和田町*2.1 香取市仁良*2.1 成田市役所*2.1 富里市七栄*2.1 神崎町神崎本宿*2.1 鴨川市内浦*2.1 成田市猿山*2.0 成田市松子*2.0 勝浦市新宮*2.0 匝瑳市八日市場*2.0 香取市岩部*2.0 旭市高生*1.9 いすみ市大原*1.9 香取市佐原平田*1.9 香取市羽根川*1.9 酒々井町中央*1.8 旭市萩園*1.8 南房総市久枝*1.7 鴨川市天津*1.6 東庄町笹川*1.6 銚子市若宮町*1.6 1 銚子市川口町=1.2 御宿町須賀*1.1 4 川崎中原区小杉町*4.1 横浜青葉区榎が丘*4.0 川崎麻生区片平*4.0 相模原中央区上溝*4.0 相模原緑区久保沢*4.0 横浜港北区日吉本町*3.9 相模原中央区水郷田名*3.9 横浜青葉区市ヶ尾町*3.8 愛川町角田*3.8 相模原緑区橋本*3.8 横浜神奈川区神大寺*3.7 横浜戸塚区鳥が丘*3.7 川崎宮前区宮前平*3.7 大和市下鶴間*3.7 横浜磯子区磯子*3.6 横浜緑区十日市場町*3.6 川崎川崎区宮前町*3.6 川崎多摩区登戸*3.6 横浜鶴見区鶴見*3.6 横浜鶴見区馬場*3.6 相模原緑区大島*3.6 横浜神奈川区広台太田町*3.6 横浜保土ヶ谷区上菅田町*3.6 川崎高津区下作延*3.5 川崎宮前区野川*3.5 横浜中区山手町*3.5 相模原中央区中央*3.5 3 横浜鶴見区末広町*3.4 横浜港南区丸山台東部*3.4 横浜旭区川井宿町*3.4 横浜緑区鴨居*3.4 横浜瀬谷区中屋敷*3.4 横浜都筑区池辺町*3.4 座間市緑ヶ丘*3.4 相模原南区磯部*3.4 相模原緑区中野*3.4 横浜旭区今宿東町*3.3 横浜瀬谷区三ツ境*3.3 横浜都筑区茅ヶ崎*3.3 川崎川崎区千鳥町*3.3 横須賀市光の丘*3.3 藤沢市辻堂東海岸*3.3 三浦市城山町*3.3 清川村煤ヶ谷*3.3 横浜港北区大倉山*3.2 相模原南区相模大野*3.2 横浜磯子区洋光台*3.1 横浜旭区大池町*3.1 横浜旭区上白根町*3.1 川崎中原区小杉陣屋町*3.1 横浜中区日本大通*3.0 横浜金沢区白帆*3.0 横浜金沢区釜利谷南*3.0 横浜港北区綱島西*3.0 横浜戸塚区平戸町*3.0 横浜栄区小菅ヶ谷*3.0 横須賀市坂本町*3.0 横浜西区浜松町*3.0 横浜泉区岡津町*2.9 横浜中区山下町*2.9 茅ヶ崎市茅ヶ崎*2.9 二宮町中里*2.9 厚木市中里*2.9 箱根町湯本*2.9 藤沢市長後*2.8 横浜中区山吹町*2.8 横浜保土ヶ谷区神戸町*2.8 小田原市荻窪*2.8 横浜戸塚区戸塚町*2.8 横浜港南区丸山台北部*2.8 横浜栄区桂台南*2.7 横浜青葉区美しが丘*2.7 藤沢市朝日町*2.7 藤沢市大庭*2.7 藤沢市打戻*2.7 逗子市桜山*2.7 綾瀬市深谷*2.7 横浜西区みなとみらい*2.6 横浜金沢区寺前*2.6 厚木市下津古久*2.5 山北町山北*2.5 湯河原町中央*2.5 横浜泉区和泉町*2.5 横浜南区六ツ川*2.5 川崎麻生区万福寺*2.5 海老名市大谷*2.5 2 寒川町富山*2.4 葉山町堀内*2.3 大磯町月京*2.3 秦野市曾屋*2.3 南足柄市関本*2.3 相模原緑区与瀬*2.3 横浜南区大岡*2.2 平塚市浅間町*2.2 鎌倉市御成町*2.2 伊勢原市伊勢原*2.2 松田町松田惣領*2.2 相模原緑区小淵*2.2 秦野市平沢*2.1 相模原緑区若柳*2.1 開成町延沢*1.9 真鶴町岩*1.6 3 取手市井野*3.2 坂東市馬立*3.1 坂東市岩井*3.1 取手市寺田*3.0 笠間市石井*3.0 下妻市鬼怒*2.9 筑西市舟生*2.9 土浦市下高津*2.9 茨城古河市長谷町*2.8 牛久市城中町*2.8 つくば市小荊*2.8 石岡市柿岡*2.8 笠間市笠間*2.8 水戸市内原町*2.8 五霞町小福田*2.7 土浦市常名*2.7 牛久市中央*2.7 坂東市山*2.7 茨城古河市下大野*2.7 茨城古河市仁連*2.7 阿見町中央*2.7 守谷市大柏*2.6 龍ヶ崎市役所*2.6 小美玉市小川*2.6 土浦市藤沢*2.6 稲敷市役所*2.6 笠間市中央*2.6 桜川市真壁*2.6 つくばみらい市加藤*2.6 取手市藤代*2.6 小美玉市堅倉*2.5 下妻市本城町*2.5 稲敷市江戸崎甲*2.5 河内町源清田*2.5 高萩市下手綱*2.5 筑西市門井*2.5 境町旭町*2.5 石岡市若宮*2.5 つくば市研究学園*2.5 笠間市下郷*2.4 茨城町小堤*2.4 石岡市八郷*2.4 美浦村受領*2.4 行方市玉造*2.4 つくば市天王台*2.3 桜川市岩瀬*2.3 桜川市羽田*2.3 城里町石塚*2.3 八千代町菅谷*2.3 利根町布川*2.3 稲敷市柴崎*2.3 稲敷市結佐*2.3 筑西市海老ヶ島*2.3 かすみがうら市土上土田*2.3 かすみがうら市大和田*2.3 茨城鹿嶋市鉢形*2.2 日立市十王町友部*2.2 常陸大宮市北町*2.2 常陸大宮市野口*2.2 鉾田市造谷*2.2 常陸大宮市山方*2.1 筑西市下中山*2.1 水戸市千波町*2.0 城里町阿波山*2.0 結城市結城*2.0 ひたちなか市南神敷台*2.0 神栖市溝口*2.0 東海村東海*2.0 水戸市金町*2.0 鉾田市汲上*2.0 那珂市福田*1.9 鉾田市鉾田*1.9 那珂市瓜連*1.9 大子町池田*1.9 高萩市安良川*1.9 常陸大宮市上小瀬*1.9 行方市麻生*1.9 日立市役所*1.8 稲敷市須賀津*1.8 常陸太田市金井町*1.8 潮来市辻*1.8 行方市山田*1.7 茨城鹿嶋市宮中*1.7 潮来市堀之内*1.7 常陸太田市高柿町*1.7 ひたちなか市東石川*1.7 日立市助川小学校*1.7 城里町徳蔵*1.7 常陸大宮市高部*1.6 常陸大宮市中富町*1.6 常陸太田市町屋町*1.5 常陸太田市大中町*1.5 1 北茨城市磯原町*1.3 神栖市波崎*1.2 常陸太田市町田町*1.2 ひたちなか市山ノ上町*1.0 大洗町磯浜町*0.9 3 真岡市石島*3.0 市貝町市塙*2.8 栃木市岩舟町静*2.8 宇都宮市明保野町*2.7 鹿沼市晃望台*2.7 佐野市亀井町*2.6 下野市石橋*2.5 2 栃木市大平町富田*2.4 真岡市市田町*2.4 益子町益子*2.4 芳賀町祖母井*2.4 下野市田中*2.4 大田原市湯津上*2.3 宇都宮市中里町*2.3 栃木市藤岡町藤岡*2.3 壬生町通町*2.3 野木町丸林*2.3 真岡市荒町*2.2 日光市芹沼*2.2 茂木町茂木*2.2 足利市大正町*2.2 鹿沼市今宮町*2.2 栃木市旭町*2.1 日光市今市本町*2.1 佐野市田沼町*2.1 佐野市葛生東*2.1 高根沢町石末*2.1 下野市小金井*2.1 日光市鬼怒川温泉大原*2.1 小山市神島谷*2.1 宇都宮市白沢町*2.1 上三川町しらさぎ*2.0 矢板市本町*2.0 栃木市西方町本城*2.0 鹿沼市口栗野*1.9 塩谷町玉生*1.9 宇都宮市塙田*1.9 日光市中鉢石町*1.8 那須塩原市塩原庁舎*1.8 宇都宮市旭*1.8 那須塩原市あたご町*1.7 日光市瀬川*1.7 日光市日蔭*1.7 佐野市中町*1.7 那須町寺子*1.7 栃木市都賀町家中*1.6 那須烏山市中央*1.6 栃木那珂川町馬頭*1.6 日光市湯元*1.6 茂木町北高岡天矢場*1.6 日光市足尾町中才*1.6 小山市中央町*1.6 栃木市万町*1.5 日光市藤原*1.5 1 日光市中宮祠*1.4 栃木さくら市氏家*1.4 栃木さくら市喜連川*1.4 栃木那珂川町小川*1.4 那須烏山市大金*1.3 日光市足尾町通洞*1.2 大田原市黒羽田町*1.2 大田原市本町*1.2 那須塩原市鍋掛*1.1 那須塩原市中塩原*1.0 那須塩原市共墾社*1.0 那須烏山市役所*0.9</p>				
		<p>神奈川県</p>				
		<p>茨城県</p>				
		<p>栃木県</p>				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>群馬県</p> <p>那須塩原市藁沼=0.7 3 邑楽町中野*=2.5 2 沼田市白沢町*=2.3 館林市美園町*=2.3 千代田町赤岩*=2.3 太田市西本町*=2.2 大泉町日の出*=2.2 安中市安中*=2.1 群馬明和町新里*=2.1 板倉町板倉=2.0 片品村東小川=2.0 伊勢崎市西久保町*=2.0 沼田市西倉内町=1.9 前橋市粕川町*=1.9 高崎市新町*=1.9 渋川市吹屋*=1.9 沼田市利根町*=1.8 みどり市大間々町*=1.8 前橋市堀越町*=1.8 桐生市元宿町*=1.8 桐生市黒保根町*=1.8 桐生市新里町*=1.8 太田市浜町*=1.8 太田市粕川町*=1.8 館林市城町*=1.8 神流町生利*=1.8 神流町神ヶ原*=1.8 安中市松井田町*=1.7 前橋市富士見町*=1.7 甘楽町小幡*=1.7 玉村町下新田*=1.7 伊勢崎市東町*=1.6 伊勢崎市境*=1.6 高崎市吉井町吉井川*=1.6 富岡市七日市=1.6 富岡市妙義町*=1.6 高崎市高松町*=1.5 沼田市下久屋町*=1.5 太田市新田金井町*=1.5 桐生市織姫町=1.5 藤岡市鬼石*=1.5 みどり市東町*=1.5 1 前橋市鼻毛石町*=1.4 伊勢崎市今泉町*=1.4 吉岡町下野田*=1.4 高崎市箕郷町*=1.3 太田市大原町*=1.3 群馬上野村川和*=1.3 みどり市笠懸町*=1.3 片品村鎌田*=1.3 前橋市駒形町*=1.3 渋川市伊香保町*=1.2 前橋市大手町*=1.2 長野原町長野原*=1.1 群馬昭和村糸井*=1.1 高崎市倉渕町*=1.1 高崎市足門町*=1.1 中之条町日影=1.1 渋川市有馬*=1.1 渋川市北橋町*=1.1 高崎山下室田*=1.0 渋川市石原*=1.0 榛東村新井*=1.0 東吾妻町本宿*=1.0 東吾妻町奥田*=1.0 下仁田町下小坂*=0.9 群馬高山村中山*=0.9 みなかみ町後関*=0.8 東吾妻町原町*=0.8 渋川市村上*=0.8 前橋市昭和町=0.8 嬭恋村大前*=0.8 群馬南牧村大日向*=0.8 みなかみ町鹿野沢*=0.8 川場村谷地*=0.7 みなかみ町布施*=0.7 草津町草津*=0.6 中之条町中之条町*=0.6</p> <p>山梨県</p> <p>3 富士河口湖町長浜*=3.3 笛吹市境川町藤壘*=3.2 山梨北杜市長坂町*=3.0 都留市上谷*=2.9 上野原市役所*=2.9 甲斐市下今井*=2.8 中央市大鳥居*=2.8 富士河口湖町船津=2.8 笛吹市八代町南*=2.7 上野原市上野原=2.7 忍野村忍草*=2.7 山中湖村山中*=2.7 甲府市飯田=2.6 甲府市相生*=2.6 富士川町鯉沢*=2.6 甲府市下曾根町*=2.5 笛吹市役所*=2.5 山梨北杜市明野町*=2.5 大月市御太刀*=2.5 2 昭和町押越*=2.4 山梨北杜市高根町*=2.4 大月市大月=2.4 道志村役場*=2.4 南アルプス市寺部*=2.3 甲斐市島上条*=2.3 中央市成島*=2.3 西桂町小沼*=2.3 鳴沢村役場*=2.3 笛吹市一宮町末木*=2.2 笛吹市御坂町夏目原*=2.2 甲州市塩山上於管*=2.2 甲州市役所*=2.2 甲州市勝沼町勝沼*=2.2 中央市白井阿原*=2.2 大月市役所*=2.2 富士河口湖町勝山*=2.2 山梨市牧丘町窪平*=2.1 南アルプス市野牛島*=2.1 笛吹市春日居町寺本*=2.1 山梨北杜市役所*=2.1 富士吉田市上吉田*=2.1 甲府市古閑町*=2.1 山梨北杜市大泉町*=2.0 富士吉田市下吉田*=2.0 南アルプス市鮎沢*=2.0 山梨北杜市健康ランド須玉*=2.0 小菅村小菅小学校*=1.9 山梨市小原西*=1.9 身延町大磯小磯=1.9 南アルプス市飯野*=1.9 甲斐市篠原*=1.9 山梨北杜市武川町*=1.9 甲州市塩山下於管=1.9 富士河口湖町本栖*=1.8 富士河口湖町役場*=1.8 丹波山村丹波*=1.8 市川三郷町六郷支所*=1.8 甲州市大和町初鹿野*=1.8 上野原市秋山*=1.8 富士川町天神中条*=1.7 南アルプス市小笠原*=1.7 山梨北杜市白州町*=1.7 山梨北杜市小淵沢町*=1.7 韮崎市水神*=1.6 笛吹市芦川町中芦川*=1.5 早川町葉袋*=1.5 身延町役場*=1.5 市川三郷町役場*=1.5 1 山梨市三富川浦*=1.4 身延町梅平*=1.4 山梨南部町栄小学校*=1.2 市川三郷町上野*=1.2 身延町常葉*=1.1 南アルプス市芦安倉倉*=0.9 山梨南部町内船*=0.8 早川町保*=0.8</p> <p>長野県</p> <p>3 長野南牧村海ノ口*=2.5 2 茅野市葛井公園*=2.4 木曾町日義*=2.4 佐久市白田*=2.3 長野川上村大深山*=2.1 木曾町三岳*=2.1 佐久市中込*=2.0 佐久穂町畑*=2.0 中川村大草*=2.0 長野高森町下市田*=2.0 諏訪市湖岸通り=1.9 原村役場*=1.9 小海町豊里*=1.8 伊那市高遠町荊口=1.8 南箕輪村役場*=1.8 南木曾町役場*=1.8 王滝村役場*=1.8 木曾町新開*=1.8 伊那市長谷溝口*=1.7 辰野町中央=1.7 飯島町飯島=1.7 立科町芦田*=1.7 諏訪市高島*=1.6 宮田村役場*=1.6 木曾町開田高原西野*=1.6 北相木村役場*=1.5 富士見町落合*=1.5 佐久穂町高野町*=1.5 上松町駅前通り*=1.5 南木曾町読書小学校*=1.5 木祖村藪原*=1.5 塩尻市檜川保育園*=1.5 1 佐久市下小田切=1.4 軽井沢町追分=1.4 軽井沢町長倉*=1.4 御代田町御代田*=1.4 伊那市下新田*=1.4 駒ヶ根市赤須町*=1.4 大桑村長野*=1.4 塩尻市木曾平沢*=1.3 箕輪町中箕輪*=1.3 南相木村見上*=1.2 飯田市高羽町=1.2 飯田市上郷黒田*=1.2 喬木村役場*=1.2 王滝村鈴ヶ沢*=1.2 伊那市高遠町西高遠*=1.1 松川町元大島*=1.1 豊丘村神稲*=1.1 大鹿村大河原*=1.1 松本市丸の内*=1.1 上田市上田古戦場公園=1.1 上田市上武石*=1.1 岡谷市幸町*=1.1 佐久市甲*=1.1 佐久市望月*=1.1 小諸市小諸消防署*=1.0 下諏訪町役場*=1.0 筑北村坂井=1.0 上田市役所*=0.9 小諸市相生町*=0.9 飯田市大久保町*=0.9 坂城町坂城*=0.9 大町市八坂*=0.8 泰阜村役場*=0.8 麻績村麻*=0.7 朝日村小野沢*=0.7 長和町古町*=0.7 筑北村西条*=0.7 松本市寿*=0.7 長野市豊野町豊野*=0.7 山形村役場*=0.6 天龍村天龍小学校*=0.6 松本市安曇*=0.5 下條村陸沢*=0.5</p> <p>静岡県</p> <p>3 東伊豆町奈良本*=3.1 熱海市網代=3.0 伊豆市中伊豆グラウンド=2.8 富士宮市野中*=2.8 富士市大淵*=2.6 富士宮市弓沢町=2.5 2 熱海市泉*=2.4 函南町平井*=2.3 伊豆の国市長岡*=2.3 富士市吉永*=2.3 河津町田中*=2.2 伊豆の国市田京*=2.2 御殿場市萩原=2.2 東伊豆町稲取*=2.1 西伊豆町宇久須*=2.1 静岡葵区駒形通*=2.1 静岡葵区追手町市役所*=2.1 熱海市中央町*=2.0 伊豆の国市四日町*=2.0 小山町藤曲*=2.0 静岡葵区追手町県庁*=2.0 御殿場市茱萸沢*=1.9 下田市加増野=1.8 下田市中*=1.8 沼津市戸田*=1.8 静岡駿河区曲金=1.8 南伊豆町下賀茂*=1.7 三島市東本町=1.7 静岡清水区蒲原新栄*=1.7 伊東市大原=1.6 伊豆市八幡*=1.6 富士市永田町*=1.6 富士宮市猪之頭*=1.5 1 松崎町江奈*=1.4 西伊豆町仁科*=1.4 沼津市高島本町*=1.4 富士市岩淵*=1.4 静岡清水町堂庭*=1.4 長泉町中土狩*=1.4 静岡清水区由比北田*=1.4 伊豆市小立野*=1.3 藤枝市岡部町岡部*=1.3 南伊豆町入間*=1.2 三島市大社町*=1.2 富士市本市場*=1.2 裾野市石脇*=1.2 川根本町東藤川*=1.2 南伊豆町石廊崎=1.1 静岡清水区千歳町=1.1 伊豆市市山*=1.0 沼津市御幸町*=1.0 富士宮市長貫*=1.0 富士市富士総合運動公園=1.0</p>				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>裾野市佐野*1.0 静岡菊川市赤土*1.0 静岡葵区梅ヶ島*0.9 牧之原市静波*0.9 西伊豆町一色*0.8 伊豆市土肥*0.8 浜松北区三ヶ日町*0.8 浜松区竜佐久間町*0.8 島田市金谷代官町*0.7 焼津市本町*0.7 袋井市浅名*0.7 浜松北区細江町*0.6 袋井市新屋*0.5 藤枝市岡出山*0.5</p> <p>2 白河市表郷*2.0 白河市大信*2.0 泉崎村泉崎*2.0 平田村永田*2.0 白河市東*1.9 古殿町松川新桑原*1.9 棚倉町棚倉中居野*1.9 矢祭町東館*1.9 玉川村小高*1.9 須賀川市八幡山*1.8 鏡石町不時沼*1.8 白河市新白河*1.8 郡山市湖南町*1.8 須賀川市岩瀬支所*1.7 西郷村熊倉*1.5 須賀川市長沼支所*1.5 天栄村下松本*1.5</p> <p>1 白河市郭内*1.4 矢吹町一本木*1.4 浅川町浅川*1.4 田村市大越町*1.4 本宮市白岩*1.4 いわき市平梅本*1.4 川内村上川内早渡*1.4 猪苗代町千代田*1.4 浪江町幾世橋*1.3 白河市八幡小路*1.3 南会津町田島*1.3 いわき市三和町*1.3 郡山市朝日*1.3 福島広野町下北迫大谷地原*1.3 田村市滝根町*1.3 いわき市錦町*1.2 郡山市開成*1.2 須賀川市牛袋町*1.2 檜葉町北田*1.2 二本松市針道*1.2 いわき市小名浜*1.2 矢祭町戸塚*1.2 相馬市中村*1.1 下郷町塩生*1.1 福島市五老内町*1.1 田村市常葉町*1.1 田村市都路町*1.1 二本松市油井*1.0 南相馬市鹿島区西町*1.0 南相馬市小高区*1.0 本宮市本宮*1.0 石川町下泉*1.0 桑折町東大隅*1.0 古殿町松川横川*1.0 小野町中通*1.0 小野町小野新町*1.0 田村市船引町*1.0 川俣町樋ノ口*1.0 天栄村湯本支所*1.0 大熊町野上*0.9 いわき市平四ツ波*0.9 猪苗代町城南*0.9 福島広野町下北迫苗代替*0.9 川内村上川内小山平*0.8 福島伊達市霊山町*0.8 福島市松木町*0.8 葛尾村落合落合*0.8 棚倉町棚倉ヶ丘*0.8 鮫川村赤坂中野*0.8 檜枝岐村上河原*0.7 南会津町松戸原*0.7 飯館村伊丹沢*0.7 南会津町滝原*0.6 大玉村曲藤*0.5 南相馬市原町区三島町*0.5 南相馬市原町区高見町*0.5</p>				
		<p>1 岩沼市桜*1.2 角田市角田*1.0 大河原町新南*0.8 蔵王町円田*0.8 松島町高城*0.7 山元町浅生原*0.6 大崎市田尻*0.5</p>				
		<p>1 南魚沼市六日町*1.4 刈羽村割町新田*1.0 南魚沼市塩沢小学校*1.0 南魚沼市塩沢庁舎*1.0 長岡市山古志竹沢*0.8 魚沼市須原*0.5</p>				
		<p>1 中津川市加子母*1.4 中津川市付知町*1.2 中津川市本町*0.9 下呂市下呂小学校*0.8 多治見市笠原町*0.8 中津川市坂下*0.8 中津川市川上*0.8 中津川市かやの木町*0.7 中津川市小栗山*0.7 中津川市山口*0.6 土岐市泉町*0.5 瑞穂市別府*0.5</p>				
		<p>1 新城市作手高里繩手上*0.9 名古屋南区鳴尾*0.7 名古屋北区萩野通*0.5</p>				
59	12 08 38	<p>岩手県沿岸南部 岩手県</p> <p>2 住田町世田米*1.8 遠野市宮守町*1.5 一関市大東町*1.5 1 一関市東山町*1.4 一関市藤沢町*1.4 一関市千厩町*1.2 一関市室根町*1.2 奥州市江刺区*0.9 花巻市東和町*0.8 北上市相去町*0.7 大船渡市大船渡町*0.7 宮古市区界*0.6 遠野市青笹町*0.6 釜石市中妻町*0.6 奥州市胆沢区*0.6 陸前高田市高田町*0.5 盛岡市玉山区薮川*0.5</p> <p>青森県 宮城県</p> <p>1 青森南部町苦米地*0.6 1 気仙沼市赤岩*1.3 気仙沼市笹が陣*1.0 登米市東和町*0.8 石巻市桃生町*0.8 南三陸町志津川*0.7 気仙沼市唐桑町*0.6 栗原市一迫*0.5</p>	39° 07.3' N	141° 46.0' E	67km	M: 3.7
60	12 11 44	<p>茨城県沖 茨城県</p> <p>3 日立市十王町友部*2.6 2 高萩市安良川*2.4 日立市助川小学校*2.1 高萩市下手綱*2.1 笠間市石井*2.1 笠間市笠間*2.1 常陸太田市高柿町*2.0 水戸市内原町*2.0 北茨城市磯原町*2.0 日立市役所*2.0 桜川市岩瀬*2.0 東海村東海*1.9 笠間市中央*1.9 大子町池田*1.8 常陸大宮市北町*1.8 常陸大宮市山方*1.8 那珂市福田*1.8 筑西市門井*1.8 常陸太田市大中町*1.8 常陸太田市金井町*1.8 土浦市常名*1.7 ひたちなか市南神敷台*1.7 桜川市羽田*1.7 常陸大宮市上小瀬*1.7 常陸大宮市野口*1.7 水戸市金町*1.6 城里町石塚*1.6 常陸大宮市高部*1.6 常陸太田市町屋町*1.5 桜川市真壁*1.5 那珂市瓜連*1.5 小美玉市堅倉*1.5</p> <p>1 水戸市千波町*1.4 笠間市下郷*1.4 ひたちなか市東石川*1.4 茨城町小堤*1.3 城里町阿波山*1.3 土浦市下高津*1.3 石岡市柿岡*1.3 筑西市舟生*1.3 石岡市若宮*1.2 石岡市八郷*1.2 取手市寺田*1.2 牛久市城中町*1.2 筑西市海老ヶ島*1.2 かすみがうら市上土田*1.2 鉾田市汲上*1.2 常陸大宮市中富町*1.1 つくば市天王台*1.1 つくば市研究学園*1.1 土浦市藤沢*1.1 城里町徳蔵*1.0 坂東市山*1.0 稲敷市江戸崎甲*1.0 稲敷市役所*1.0 常陸太田市町田町*1.0 かすみがうら市大和田*1.0 つくば市小莖*0.9 美浦村受領*0.9 茨城古河市仁連*0.9 筑西市下中山*0.9 龍ヶ崎市役所*0.9 鉾田市鉾田*0.9 鉾田市造谷*0.9 下妻市本城町*0.9 ひたちなか市山ノ上町*0.8 行方市山田*0.8 茨城鹿嶋市鉢形*0.8 常総市水海道諏訪町*0.8 五霞町小福田*0.8 結城市結城*0.8 下妻市鬼怒*0.8 境町旭町*0.7 茨城鹿嶋市宮中*0.7 阿見町中央*0.7 茨城古河市下大野*0.7 稲敷市柴崎*0.6 行方市麻生*0.6 牛久市中央*0.6 潮来市堀之内*0.5 坂東市岩井*0.5 行方市玉造*0.5</p> <p>福島県</p> <p>2 玉川村小高*2.4 天栄村下松本*2.2 白河市東*2.0 白河市新白河*2.0 棚倉町棚倉中居野*1.9 浅川町浅川*1.9 中島村滑津*1.7 白河市表郷*1.7 泉崎村泉崎*1.6 古殿町松川新桑原*1.6 田村市都路町*1.6 いわき市平梅本*1.5 川内村上川内早渡*1.5 田村市滝根町*1.5</p> <p>1 白河市大信*1.4 須賀川市岩瀬支所*1.4 鏡石町不時沼*1.4 いわき市三和町*1.4 いわき市錦町*1.4 檜葉町北田*1.4 川内村上川内早渡*1.4 田村市大越町*1.3 いわき市小名浜*1.3 郡山市開成*1.3 須賀川市八幡山*1.3 矢祭町戸塚*1.3 川内村上川内小山平*1.2 葛尾村落合落合*1.2 白河市郭内*1.2 矢祭町東館*1.2 西郷村熊倉*1.2 富岡町本岡*1.2 棚倉町棚倉ヶ丘*1.2 郡山市湖南町*1.1 いわき市平四ツ波*1.1 二本松市油井*1.1 須賀川市長沼支所*1.1 小野町中通*1.0 小野町小野新町*1.0 福島広野町下北迫大谷地原*1.0 郡山市朝日*1.0 白河市八幡小路*1.0 平田村永田*1.0 川俣町樋ノ口*0.9 浪江町幾世橋*0.9 塙町塙*0.9 石川町下泉*0.9 須賀川市牛袋町*0.9 二本松市金色*0.9 二本松市針道*0.9</p>	36° 48.5' N	141° 13.7' E	41km	M: 4.5

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>福島伊達市霊山町*0.9 福島市五老内町*0.8 大熊町野上*0.8 本宮市本宮*0.8 田村市船引町=0.8 猪苗代町千代田*0.8 天栄村湯本支所*0.8 田村市常葉町*0.8 大玉村玉井*0.7 本宮市白岩*0.7 飯館村伊丹沢*0.7 福島市松木町=0.6 福島広野町下北迫苗代替*0.6 大玉村曲藤=0.6 古殿町松川横川=0.5 2 市貝町市塙*2.0 真岡市石島*1.8 那須烏山市中央=1.8 大田原市湯津上*1.7 茂木町茂木*1.7 栃木那珂川町馬頭*1.7 宇都宮市白沢町*1.6 高根沢町石末*1.6 栃木那珂川町小川*1.6 真岡市田町*1.5 真岡市荒町*1.5 益子町益子=1.5 芳賀町祖母井*1.5 1 那須町寺子*1.4 宇都宮市明保野町=1.4 那須塩原市鍋掛*1.3 日光市中鉢石町*1.2 下野市田中*1.2 大田原市本町*1.1 鹿沼市今宮町*1.1 小山市神島谷*1.1 那須烏山市大金*1.1 下野市小金井*1.1 那須塩原市共鑑社*1.0 那須塩原市あたご町*1.0 足利市大正町*1.0 鹿沼市晃望台*1.0 那須烏山市役所*1.0 下野市石橋*0.9 日光市今市本町*0.9 那須塩原市塩原原舎*0.8 栃木市旭町=0.8 栃木市岩舟町静*0.8 鹿沼市口栗野*0.8 茂木町北高岡天矢場*0.8 日光市鬼怒川温泉大原*0.8 日光市芹沼*0.8 大田原市黒羽田町=0.8 栃木さくら市喜連川*0.7 佐野市葛生東*0.7 日光市瀬川=0.7 野木町丸林*0.6 栃木市万町*0.5 佐野市中町*0.5 日光市足尾町中才*0.5</p> <p>宮城県 1 岩沼市桜*0.9 角田市角田*0.6</p> <p>群馬県 1 桐生市黒保根町*1.3 桐生市元宿町*1.0 邑楽町中野*1.0 大泉町日の出*0.9 伊勢崎市西久保町*0.8 渋川市吹屋*0.8 千代田町赤岩*0.8 沼田市利根町*0.7 前橋市富士見町*0.7 沼田市白沢町*0.7 桐生市新里町*0.5 伊勢崎市境*0.5 太田市浜町*0.5 太田市粕川町*0.5 沼田市西倉内町=0.5 みどり市笠懸町*0.5 桐生市織姫町=0.5</p> <p>埼玉県 1 加須市大和町*0.7 久喜市下早見=0.7 東松山市松葉町*0.6 春日部市金崎*0.6 宮代町笠原*0.6 さいたま見沼区堀崎*0.6 熊谷市江南*0.6 滑川町福田*0.5 嵐山町杉山*0.5 さいたま見沼区宮原*0.5 さいたま岩槻区本丸*0.5 長瀬町野上下郷*0.5 本庄市児玉町=0.5</p> <p>千葉県 1 野田市鶴泰*1.2 白井市復*1.0 成田市花崎町=0.8 柏市旭町=0.8 野田市東宝珠花*0.7 八千代市大和田新田*0.7 香取市佐原平田=0.6 栄町安食台*0.6 香取市佐原諏訪台*0.5</p> <p>東京都 1 東京千代田区大手町=0.7 東京杉並区高井戸*0.6 調布市西つつじヶ丘*0.5</p>				
61	12 22 23	長野県中部 長野県	36° 20.6' N	138° 00.3' E	5km	M: 2.7
		<p>1 松本市会田*1.1 筑北村西条*1.1 青木村田沢青木*0.8 安曇野市穂高支所=0.8 松本市美須々*0.8 松本市丸の内*0.7 生坂村役場*0.7 安曇野市明科*0.6</p>				
62	12 22 38	浦河沖 北海道	41° 49.5' N	142° 40.2' E	56km	M: 5.4
		<p>4 浦河町築地*3.8 浦河町潮見=3.7 様似町栄町*3.5 3 浦幌町桜町*3.1 十勝大樹町東本通*2.9 えりも町えりも岬*2.8 浦河町野深=2.7 幕別町忠類錦町*2.7 広尾町並木通=2.7 新ひだか町三石旭町*2.6 広尾町白樺通=2.6 2 えりも町目黒*2.4 釧路市音別町中園*2.4 釧路町別保*2.2 新ひだか町静内山手町=2.2 白糠町西1条*2.1 新冠町北星町*2.1 新ひだか町静内御幸町*2.0 十勝大樹町生花*2.0 釧路市阿寒町中央*1.9 豊頃町茂岩本町*1.9 函館市泊町*1.9 安平町追分柏が丘*1.8 安平町早来北進*1.8 えりも町本町=1.8 更別村更別*1.7 芽室町東2条*1.7 標津町北2条*1.7 釧路市音別町尺別=1.7 十勝池田町西1条*1.7 函館市新浜町*1.7 帯広市東4条=1.6 別海町常盤=1.6 別海町西春別*1.6 帯広市東6条*1.6 札幌東区元町*1.6 南幌町栄町*1.6 むかわ町穂別*1.6 厚真町鹿沼=1.6 江別市緑町*1.5 釧路市黒金町*1.5 千歳市若草*1.5 音更町元町*1.5 鹿追町東町*1.5 1 恵庭市京町*1.4 平取町振内*1.4 新ひだか町静内御園=1.4 十勝清水町南4条=1.4 幕別町本町*1.4 本別町北2丁目=1.4 本別町向陽町*1.4 中札内村東2条*1.4 新得町2条*1.3 厚真町京町*1.3 標茶町塘路*1.3 別海町本別海*1.3 札幌白石区北郷*1.3 函館市川汲町*1.3 新篠津村第47線*1.2 札幌南区真駒内*1.2 足寄町南1条*1.2 幕別町忠類明和=1.1 新千歳空港=1.1 日高地方日高町門別*1.1 千歳市支笏湖温泉*1.1 札幌厚別区もみじ台*1.1 釧路市幸町=1.1 厚岸町真栄*1.1 上士幌町上士幌*1.1 千歳市北栄=1.1 根室市落石東*1.1 胆振伊達市大滝区本町*1.1 室蘭市寿町*1.1 足寄町上螺湾=1.0 岩見沢市栗沢町東本町*1.0 士幌町士幌*1.0 鶴居村鶴居東*1.0 三笠市幸町*1.0 長沼町中央*1.0 札幌北区太平*1.0 新ひだか町静内農屋*1.0 札幌北区篠路*1.0 苫小牧市旭町*1.0 弟子屈町弟子屈*1.0 弟子屈町美里=0.9 登別市桜木町*0.9 白老町大町=0.9 厚岸町尾幌=0.9 上士幌町清水谷*0.9 江別市高砂町=0.9 日高地方日高町日高*0.9 北広島市共栄*0.9 札幌北区新琴似*0.9 当別町白樺*0.8 根室市瑤瑤瑠*0.8 札幌清田区平岡*0.8 苫小牧市末広町=0.8 岩見沢市5条=0.8 標茶町川上*0.7 胆振伊達市梅本=0.7 鹿部町宮浜*0.7 小樽市勝納町=0.7 登別市鉦山=0.6 札幌豊平区月寒東*0.6 石狩市聚富=0.6 由仁町新光*0.6 岩見沢市鳩が丘*0.6 羅臼町岬町*0.6 南富良野町役場*0.6 占冠村中央*0.5 白老町緑丘*0.5 函館市尾札部町=0.5 月形町円山公園*0.5 渡島森町上台町*0.5</p> <p>2 東通村砂子又沢内*2.3 階上町道仏*2.0 八戸市南郷*1.8 青森南部町苦米地*1.7 青森南部町平*1.7 野辺地町田沢沢*1.6 七戸町森ノ上*1.5 東通村砂子又蒲谷地=1.5 八戸市湊町=1.5</p> <p>1 野辺地町野辺地*1.4 五戸町古館=1.4 八戸市内丸*1.3 三沢市桜町*1.3 東北町上北南*1.3 おいらせ町中下田*1.3 むつ市金曲=1.3 むつ市大畑町中島*1.3 大間町大間*1.3 むつ市金谷*1.2 六ヶ所村尾駈=1.2 五戸町倉石中市*1.2 七戸町七戸*1.1 六戸町犬落瀬*1.1 三戸町在府小路町*1.0 おいらせ町上明堂*1.0 外ヶ浜町蟹田*1.0 青森南部町沖田面*0.9 十和田市西二番町*0.9 横浜町林ノ脇*0.9 むつ市川内町*0.8 東北町塔ノ沢山*0.8 東通村白糠*0.7 十和田市西二番町*0.7 青森市花園=0.6 東通村尻屋*0.5 六ヶ所村出戸=0.5</p> <p>岩手県 2 盛岡市玉山区藪川*1.6 1 軽米町軽米*1.3 二戸市浄法寺町*1.2 久慈市枝成沢=1.1 盛岡市山王町=0.9 八幡平市田頭*0.9 岩手洋野町種市=0.6 二戸市福岡=0.6 宮古市田老*0.5 九戸村伊保内*0.5 遠野市青笹町*0.5 宮古市川井*0.5</p> <p>宮城県 1 登米市迫町*0.6</p>				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
63	13 00 18	広島県北部 広島県	34° 55.1' N	133° 00.1' E	10km	M: 3.5
		2 広島三次市三次町*=1.7 庄原市西城町大佐*=1.7 庄原市高野町*=1.7 庄原市比和町*=1.7 庄原市口和町*=1.6 庄原市中本町*=1.5				
		1 神石高原町油木*=1.4 広島三次市十日市中=1.1 広島三次市君田町*=1.0 広島三次市吉舎町*=0.8 神石高原町高光*=0.8 庄原市東城町*=0.6 安芸高田市向原町*=0.6 広島三次市三良坂町*=0.5 安芸高田市向原町長田*=0.5 広島安佐北区可部南*=0.5				
		島根県				
		1 雲南市吉田町吉田*=1.4 奥出雲町横田*=1.4 雲南市掛合町掛合*=1.3 奥出雲町三成*=1.1 川本町川本*=0.9 飯南町頓原*=0.9 雲南市大東町大東=0.6 島根美郷町都賀本郷*=0.6 安来市伯太町東母里*=0.6 大田市温泉津町小浜*=0.5				
		岡山県				
		1 新見市哲西町矢田*=0.6				
64	13 09 31	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 11.0' N	141° 46.0' E	57km	M: 3.6
		1 一関市東山町*=0.5				
		1 石巻市桃生町*=1.0 大崎市鹿島台*=0.9 宮城川崎町前川*=0.5 仙台泉区将監*=0.5				
65	13 10 43	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 03.5' N	137° 33.6' E	8km	M: 2.5
		1 高山市高根町*=0.8				
66	13 16 03	日向灘 宮崎県	32° 04.2' N	132° 07.0' E	24km	M: 3.6
		1 宮崎美郷町田代*=0.8 宮崎都農町役場*=0.7 川南町川南*=0.7 門川町本町*=0.5 西都市上の宮*=0.5				
67	13 20 27	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 02.6' N	137° 32.1' E	6km	M: 2.0
		1 高山市高根町*=1.3				
68	14 04 54	岩手県沖 岩手県	39° 11.6' N	142° 13.7' E	49km	M: 3.7
		1 住田町世田*=1.3 釜石市中妻町*=1.1 大船渡市大船渡町=1.1 釜石市只越町=0.7 一関市室根町*=0.6 大船渡市猪川町=0.5 遠野市青笹町*=0.5 陸前高田市高田町*=0.5				
69	14 12 47	父島近海 東京都	26° 55.5' N	141° 22.4' E	121km	M: 4.1
		1 小笠原村母島=0.6				
70	15 20 49	福島県浜通り 福島県	37° 23.6' N	140° 53.5' E	76km	M: 3.8
		2 田村市都路町*=2.3 川内村下川内=1.5				
		1 浪江町幾世橋=1.4 田村市滝根町*=1.3 いわき市三和町=1.3 二本松市金色*=1.3 檜葉町北田*=1.2 川内村上川内早渡*=1.2 田村市常葉町*=1.2 葛尾村落合落合*=1.2 小野町小野新町*=1.1 田村市船引町=1.1 二本松市針道*=1.1 南相馬市原町区三島町=1.1 玉川村小高*=1.0 南相馬市原町区高見町*=1.0 大熊町野上*=0.9 福島広野町下北迫大谷地原*=0.9 飯館村伊丹沢*=0.9 小野町中通*=0.9 南相馬市鹿島区西町*=0.9 二本松市油井*=0.8 富岡町本岡*=0.7 白河市新白河*=0.6 南相馬市鹿島区栲漕=0.5 棚倉町棚倉中居野=0.5				
		宮城県				
		1 山元町浅生原*=1.0 柴田町船岡=0.9 岩沼市桜*=0.9 亶理町下小路*=0.5				
71	15 23 28	滋賀県南部 滋賀県	35° 02.9' N	135° 58.3' E	9km	M: 2.9
		1 草津市草津*=1.4 湖南市中央森北公園*=1.4 湖南市中央東庁舎*=1.3 野洲市西河原*=1.1 湖南市石部中央西庁舎*=0.9 栗東市安養寺*=0.9 守山市石田町*=0.8 大津市真野*=0.8				
		京都府				
		1 宇治田原町荒木*=0.5				
72	16 04 31	長野県中部 長野県	36° 20.6' N	138° 00.2' E	6km	M: 2.9
		2 安曇野市穂高支所=1.6				
		1 松本市美須々*=1.4 松本市会田*=1.2 松本市丸の内*=1.0 生坂村役場*=0.9 筑北村西条*=0.9 安曇野市明科*=0.8 安曇野市穂高福祉センター*=0.8 安曇野市堀金*=0.7 安曇野市豊科*=0.6 松本市沢村=0.5				
73	16 04 37	台湾付近 沖縄県	24° 11.6' N	121° 47.0' E	26km	M: 5.6
		1 与那国町久部良=0.9				
74	16 05 53	茨城県南部 茨城県	35° 59.7' N	140° 12.4' E	41km	M: 3.9
		3 筑西市海老ヶ島*=3.1 石岡市柿岡=2.5 稲敷市江戸崎甲*=2.5 小美玉市小川*=2.5				
		2 笠間市石井*=2.4 坂東市馬立*=2.4 小美玉市上玉里*=2.3 土浦市常名=2.3 水戸市内原町*=2.3 かすみがうら市土上土田*=2.3 土浦市下高津*=2.2 牛久市城中町*=2.2 かすみがうら市大和田*=2.2 つくば市天王台*=2.1 桜川市羽田*=2.1 筑西市門井*=2.0 石岡市若宮*=2.0 取手市寺田*=2.0 桜川市岩瀬*=2.0 笠間市笠間*=2.0 笠間市下郷*=2.0 土浦市藤沢*=2.0 稲敷市役所*=2.0 稲敷市柴崎*=2.0 つくば市研究学園*=1.9 牛久市中央*=1.9 下妻市本城町*=1.9 石岡市八郷*=1.9 桜川市真壁*=1.9 美浦村受領*=1.8 小美玉市堅倉*=1.8 つくばみらい市加藤*=1.7 稲敷市結佐*=1.7 行方市山田*=1.7 行方市麻生*=1.7 筑西市舟生=1.7 笠間市中央*=1.7 つくば市小荻*=1.7 鉾田市造谷*=1.7 潮来市辻*=1.6 常陸大宮市野口*=1.6 下妻市鬼怒*=1.6 城里町徳蔵*=1.6 茨城町小堤*=1.6 茨城鹿嶋市鉢形=1.6 茨城古河市下大野*=1.5 茨城古河市仁連*=1.5 つくばみらい市福田*=1.5 行方市玉造*=1.5				
		1 城里町石塚*=1.4 龍ヶ崎市役所*=1.4 阿見町中央*=1.4 稲敷市須賀津*=1.4 鉾田市鉾田=1.4 鉾田市汲上*=1.4 常総市新石下*=1.4 茨城鹿嶋市宮中*=1.3 坂東市山*=1.3 坂東市岩井=1.2 常陸大宮市山方*=1.2 五霞町小福田*=1.2 境町旭町*=1.2 八千代町菅谷*=1.1 結城市結城*=1.1 常陸大宮市北町*=1.1 水戸市金町=1.1 水戸市千波町*=1.1 常陸太田市町屋町=1.0 守谷市大柏*=1.0				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>ひたちなか市南神敷台*1.0 大子町池田*1.0 ひたちなか市東石川*0.9 常陸大宮市上小瀬*0.9 神栖市溝口*0.9 取手市井野*0.9 那珂市福田*0.9 東海村東海*0.9 潮来市堀之内*0.8 日立市助川小学校*0.8 取手市藤代*0.8 城里町阿波山*0.8 筑西市下中山*0.7 河内町源清田*0.7 高萩市安良川*0.7 常陸大宮市中富町*0.5 利根町布川*0.5</p> <p>2 真岡市石島*2.2 芳賀町祖母井*2.1 下野市石橋*1.8 真岡市田町*1.6 栃木市旭町*1.5 益子町益子*1.5 下野市田中*1.5</p> <p>1 小山市神鳥谷*1.4 市貝町市崎*1.4 宇都宮市明保野町*1.3 鹿沼市晃望台*1.3 真岡市荒町*1.2 野木町丸林*1.2 日光市足尾町中才*1.2 日光市中鉢石町*1.2 上三川町しらすぎ*1.1 下野市小金井*1.0 日光市鬼怒川温泉大原*1.0 茂木町茂木*1.0 栃木市大平町富田*0.9 佐野市葛生東*0.9 鹿沼市今宮町*0.9 小山市中央町*0.8 栃木市岩舟町静*0.8 大田原市湯津上*0.8 鹿沼市口栗野*0.7 栃木市西方町本城*0.7 日光市今市本町*0.7 日光市日蔭*0.7 日光市足尾町通洞*0.7 那須烏山市中央*0.7 日光市藤原*0.6 栃木那珂川町馬頭*0.6 栃木市万町*0.6 宇都宮市旭*0.5 足利市大正町*0.5 日光市湯元*0.5 日光市芹沼*0.5</p> <p>2 野田市鶴奉*2.2 八千代市大和田新田*2.1 千葉花見川区花島町*1.8 成田市花崎町*1.8 香取市役所*1.7 習志野市鷺沼*1.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.6 芝山町小池*1.5 千葉中央区都町*1.5 柏市旭町*1.5 柏市大島田*1.5 白井市復*1.5</p> <p>1 船橋市湊町*1.4 成田市中央*1.4 香取市佐原諏訪台*1.3 山武市埴谷*1.3 成田市猿山*1.3 印西市大森*1.3 神崎町神崎本宿*1.2 香取市岩部*1.2 成田国際空港*1.2 千葉佐倉市海隣寺町*1.2 酒々井町中央台*1.2 松戸市西馬橋*1.1 成田市松子*1.1 柏市柏*1.1 香取市仁良*1.1 印西市美瀬*1.1 栄町安食台*1.1 千葉美浜区稲毛海岸*1.1 八街市八街*1.0 香取市羽根川*1.0 千葉稲毛区園生町*1.0 野田市東宝珠花*1.0 香取市佐原平田*0.9 四街道市鹿渡*0.9 千葉中央区千葉市役所*0.9 千葉若葉区小倉台*0.9 千葉美浜区ひび野*0.9 山武市松尾町富士見台*0.8 印西市笠神*0.8 市川市八幡*0.8 東金市日吉台*0.8 我孫子市我孫子*0.7 松戸市根本*0.7 流山市平和台*0.6 千葉中央区中央港*0.6 成田市役所*0.6 匝瑳市八日市場*0.5 市原市姉崎*0.5 浦安市日の出*0.5 山武市蓮沼*0.5</p>				
		<p>福島県 群馬県</p> <p>1 棚倉町棚倉中居野*0.5</p> <p>1 大泉町日の出*1.3 沼田市利根町*1.3 沼田市西倉内町*0.8 桐生市元宿町*0.8 桐生市黒保根町*0.8 片品村東小川*0.7 前橋市粕川町*0.7 千代田町赤岩*0.7 邑楽町中野*0.7 沼田市白沢町*0.6 桐生市新里町*0.6 伊勢崎市西久保町*0.5 沼田市下久屋町*0.5 片品村鎌田*0.5 前橋市富士見町*0.5</p>				
		<p>埼玉県</p> <p>1 春日部市金崎*1.4 三郷市幸房*1.4 春日部市粕壁*1.3 宮代町笠原*1.2 川口市中青木分室*1.1 幸手市東*1.0 吉川市吉川*1.0 さいたま浦和区高砂*1.0 加須市大利根*1.0 久喜市下早見*1.0 草加市高砂*0.9 戸田市上戸田*0.9 八潮市中央*0.9 久喜市青葉*0.8 白岡市千駄野*0.8 川越市新宿町*0.8 新座市野火止*0.7 北本市本町*0.7 加須市北川辺*0.7 杉戸町清地*0.7 さいたま西区指扇*0.7 久喜市栗橋*0.7 さいたま北区宮原*0.6 さいたま岩槻区本丸*0.6 和光市広沢*0.6 桶川市上日出谷*0.6 川口市三ツ和*0.5 さいたま緑区中尾*0.5 春日部市谷原新田*0.5 上尾市本町*0.5 越谷市越ヶ谷*0.5 東松山市松葉町*0.5 久喜市菖蒲*0.5 久喜市鷺宮*0.5</p>				
		<p>東京都</p> <p>1 東京江戸川区中央*1.4 東京葛飾区立石*1.2 東京江東区森下*1.1 東京中野区江古田*1.1 東京足立区神明南*1.1 東京文京区本郷*1.0 東京千代田区大手町*0.8 東京江東区塩浜*0.8 東京荒川区東尾久*0.8 東京江戸川区鹿骨*0.8 東京千代田区富士見*0.7 東京文京区大塚*0.7 東京中野区中野*0.7 東京北区西ヶ原*0.7 東京足立区伊興*0.7 東京江戸川区船堀*0.7 東京葛飾区金町*0.6 東京千代田区麹町*0.6 東京新宿区百人町*0.6 三鷹市野崎*0.6 調布市西つつじヶ丘*0.6 東京新宿区上落合*0.5 東京文京区スポーツセンタ*0.5 東京江東区東陽*0.5 東京北区赤羽南*0.5 東京板橋区相生町*0.5 武蔵野市吉祥寺東町*0.5</p>				
75	17 08 28	根室半島南東沖 北海道	43° 06.6' N	146° 00.0' E	45km	M: 3.5
		1 根室市瑤瑤*1.0 根室市牧の内*0.9				
76	17 15 49	茨城県沖 茨城県	36° 38.5' N	140° 56.6' E	48km	M: 3.2
		1 日立市助川小学校*1.3 高萩市安良川*0.7				
77	17 17 25	佐渡付近 新潟県	37° 56.6' N	138° 01.3' E	17km	M: 3.8
		1 佐渡市河原田本町*1.0 佐渡市羽茂本郷*0.5 佐渡市相川栄町*0.5				
78	17 20 07	山形県置賜地方 山形県	38° 02.8' N	139° 57.8' E	11km	M: 3.3
		2 山形川西町上小松*2.2 飯豊町椿*1.6				
		1 南陽市三間通*1.4 長井市ままの上*1.3 白鷹町荒砥*0.8 山形小国町岩井沢*0.7 上山市河崎*0.7 飯豊町上原*0.7 米沢市アルカディア*0.6 高島町高島*0.5				
79	17 23 50	栃木県北部 栃木県	36° 56.5' N	139° 47.6' E	8km	M: 2.7
		1 那須塩原市中塩原*0.6				
80	18 01 43	石垣島近海 沖縄県	24° 22.9' N	124° 07.0' E	43km	M: 3.6
		1 竹富町黒島*0.5				
81	18 06 42	青森県東方沖 北海道	41° 22.1' N	142° 03.4' E	62km	M: 4.3
		2 函館市新浜町*1.7				
		1 函館市泊町*1.4 函館市日ノ浜町*1.0 函館市川汲町*0.5				
		2 階上町道仏*2.2 東通村砂子又沢内*2.2 野辺地町田狭沢*2.0 野辺地町野辺地*1.9 外ヶ浜町蟹田*1.7 むつ市金曲*1.6 八戸市湊町*1.6				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 平内町小湊=1.4 八戸市南郷*=1.4 三沢市桜町*=1.4 五戸町倉石中市*=1.4 むつ市金谷*=1.4 むつ市大畑町中島*=1.4 東通村砂子又蒲谷地=1.4 東通村尻屋*=1.4 青森南部町苔米地*=1.3 青森南部町平*=1.3 七戸町森ノ上*=1.3 東北町上北南*=1.3 五戸町古館=1.3 八戸市内丸*=1.3 六ヶ所村尾駈=1.2 中泊町中里*=1.0 むつ市川内町*=1.0 三戸町在府小路町*=0.9 七戸町七戸*=0.9 おいらせ町中下田*=0.9 横浜町林ノ脇*=0.9 青森南部町沖田面*=0.9 むつ市大畑町奥薬研=0.8 青森市浪岡*=0.8 東北町塔ノ沢山*=0.8 大間町大間*=0.7 十和田市奥瀬*=0.7 青森市中央*=0.7 東通村白糠*=0.7 青森市花園=0.7 十和田市西二番町*=0.7 六戸町大落瀬*=0.7 平内町東田沢*=0.6 むつ市脇野沢*=0.6 藤崎町水木*=0.5 岩手県 1 二戸市浄法寺町*=1.2 軽米町軽米*=1.1 久慈市枝成沢=0.9 盛岡市玉山区薮川*=0.7				
82	18 08 46	長野県中部 長野県	36° 20.2' N	138° 00.3' E	6km	M: 2.8
		1 安曇野市穂高支所=0.8 筑北村西条*=0.8 松本市美須々*=0.7 松本市丸の内*=0.7				
83	18 16 46	種子島近海 鹿児島県	30° 20.8' N	130° 57.6' E	8km	M: 3.1
		1 南種子町中之上*=1.0 南種子町西之*=0.9 南種子町中之下=0.5				
84	18 21 41	秋田県内陸南部 秋田県	39° 53.9' N	140° 42.9' E	5km	M: 2.7
		1 仙北市西木町上桧木内*=0.8 仙北市田沢湖田沢*=0.8				
85	19 05 05	茨城県沖 茨城県	36° 24.0' N	141° 01.9' E	47km	M: 3.9
		2 高萩市安良川*=1.9 日立市助川小学校*=1.6 高萩市下手綱*=1.5 1 日立市十王町友部*=1.2 日立市役所*=1.1 東海村東海*=1.1 鉾田市汲上*=1.0 水戸市内原町*=0.9 常陸大宮市野口*=0.9 常陸太田市町屋町=0.9 笠間市石井*=0.8 茨城鹿嶋市宮中*=0.8 北茨城市磯原町*=0.8 常陸大宮市北町*=0.7 土浦市常名=0.6 常陸大宮市上小瀬*=0.5 水戸市金町=0.5 ひたちなか市東石川*=0.5 常陸大宮市山方*=0.5 福島県 1 白河市新白河*=0.5 棚倉町棚倉中居野=0.5 栃木県 1 那須烏山市中央=0.6				
86	19 23 01	網走地方 北海道	43° 29.5' N	144° 03.8' E	0km	M: 3.9
		3 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=3.3 2 弟子屈町弟子屈*=1.8 1 弟子屈町美里=1.3 斜里町ウトロ香川*=1.2 弟子屈町サワンチサップ*=1.1 津別町幸町*=0.9 小清水町小清水*=0.9 足寄町上螺湾=0.7 美幌町東3条=0.6 大空町東藻琴*=0.5				
87	20 09 17	福島県沖 福島県	36° 56.8' N	141° 03.8' E	51km	M: 3.4
		1 川内村下川内=0.9 檜葉町北田*=0.7 小野町中通*=0.6 田村市船引町=0.6				
88	20 17 30	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 16.0' N	141° 48.3' E	56km	M: 3.8
		1 一関市千厩町*=1.2 一関市室根町*=0.6 住田町世田米*=0.6 大船渡市大船渡町=0.5 1 石巻市大街道南*=0.9 女川町女川浜*=0.9 石巻市桃生町*=0.8 大崎市田尻*=0.8 東松島市矢本*=0.6 岩沼市桜*=0.6				
89	21 10 47	岩手県沖 岩手県	39° 25.1' N	142° 26.1' E	25km	M: 3.7
		1 宮古市田老*=0.8				
90	21 16 19	愛媛県南予 広島県 愛媛県 山口県	33° 27.7' N	132° 36.6' E	45km	M: 3.5
		1 呉市川尻町*=0.5 1 砥部町総津*=1.1 久万高原町久万*=0.9 砥部町宮内*=0.8 松山市富久町*=0.8 西条市丹原町鞍瀬=0.7 東温市見奈良*=0.7 東温市南方*=0.6 伊予市中山町*=0.6 内子町内子*=0.6 1 周防大島町東和総合支所*=0.5				
91	21 17 53	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 35.7' N	129° 51.5' E	14km	M: 3.2
		1 鹿児島十島村悪石島*=0.8				
92	21 19 15	新潟県中越地方 新潟県	37° 18.7' N	138° 52.9' E	13km	M: 2.4
		1 小千谷市内=0.6				
93	22 05 55	茨城県南部 茨城県	36° 01.0' N	140° 04.2' E	61km	M: 3.8
		2 取手市寺田*=1.6 土浦市常名=1.6 1 土浦市下高津*=1.4 つくば市小茎*=1.4 笠間市石井*=1.3 筑西市門井*=1.3 桜川市岩瀬*=1.3 桜川市真壁*=1.3 茨城古河市下大野*=1.2 筑西市海老ヶ島*=1.2 牛久市城中町*=1.2 境町旭町*=1.1 石岡市若宮*=1.1 取手市井野*=1.1 笠間市笠間*=1.1 石岡市柿岡=1.1 茨城古河市仁連*=1.0 下妻市本城町*=1.0 笠間市下郷*=1.0 筑西市舟生=1.0 かすみがうら市上土田*=0.9 常陸大宮市北町*=0.9 城里町石塚*=0.9 桜川市羽田*=0.9 常総市新石下*=0.9 水戸市内原町*=0.9 常陸大宮市上小瀬*=0.8 小美玉市上玉里*=0.8 城里町徳蔵*=0.8 つくばみらい市福田*=0.8 坂東市山*=0.8 かすみがうら市大和田*=0.8 稲敷市江戸崎甲*=0.8 常総市水海道諏訪町*=0.7 坂東市岩井=0.7 常陸大宮市野口*=0.7 つくば市天王台*=0.7 つくば市研究学園*=0.6 下妻市鬼怒*=0.6 土浦市藤沢*=0.6 牛久市中央*=0.6 笠間市中央*=0.6 小美玉市堅倉*=0.6 守谷市大柏*=0.5 利根町布川=0.5 石岡市八郷*=0.5 栃木県 2 真岡市石島*=1.8 宇都宮市明保野町=1.6 栃木市旭町=1.5 1 栃木市大平町富田*=1.2 栃木市岩舟町静*=1.2 鹿沼市晃望台*=1.2 真岡市田町*=1.2 鹿沼市口栗野*=1.1 下野市田中*=1.1 足利市大正町*=1.1 宇都宮市中里町*=1.0 真岡市荒町*=1.0				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
94	22 15 59	<p>下野市石橋*1.0 下野市小金井*1.0 鹿沼市今宮町*1.0 佐野市葛生東*0.9 日光市中鉢石町*0.9 日光市足尾町中才*0.8 小山市神鳥谷*0.8 芳賀町祖母井*0.7 栃木市西方町本城*0.7 小山市中央町*0.7 茂木町茂木*0.6 栃木市万町*0.5 日光市日蔭*0.5 佐野市中町*0.5 日光市芹沼*0.5</p> <p>群馬県 1 邑楽町中野*1.0 館林市美園町*0.8 桐生市黒保根町*0.7 太田市西本町*0.7 桐生市元宿町*0.6 桐生市新里町*0.6 沼田市利根町*0.5 千代田町赤岩*0.5</p> <p>埼玉県 1 春日部市粕壁*1.3 宮代町笠原*1.2 加須市騎西*0.9 羽生市東*0.8 春日部市金崎*0.8 加須市大利根*0.7 久喜市下早見*0.7 杉戸町清地*0.7 さいたま浦和区高砂*0.7 白岡市千駄野*0.7 上尾市本町*0.6 東松山市松葉町*0.6 久喜市栗橋*0.5</p> <p>千葉県 1 野田市鶴泰*1.1 柏市柏*0.9 柏市旭町*0.8 野田市東宝珠花*0.6 成田市花崎町*0.6 八千代市大和田新田*0.6 柏市大島田*0.5</p> <p>茨城県沖 36° 41.9' N 141° 01.0' E 18km M: 4.1 茨城県 2 東海村東海*1.7 水戸市内原町*1.6 日立市助川小学校*1.5 1 日立市役所*1.3 笠間市石井*1.3 ひたちなか市南神敷台*1.3 那珂市福田*1.1 笠間市笠間*1.1 高萩市下手綱*1.0 那珂市瓜連*1.0 桜川市岩瀬*1.0 笠間市中央*1.0 ひたちなか市東石川*1.0 鉢田市汲上*0.9 水戸市千波町*0.9 日立市十王町友部*0.9 土浦市常名*0.9 高萩市安良川*0.9 鉢田市鉢田*0.8 水戸市金町*0.8 ひたちなか市山ノ上町*0.7 城里町石塚*0.7 小美玉市堅倉*0.7 小美玉市上玉里*0.7 常陸大宮市野口*0.7 石岡市柿岡*0.7 かすみがうら市上土田*0.7 桜川市羽田*0.6 土浦市下高津*0.6 筑西市舟生*0.6 茨城鹿嶋市鉢形*0.5 常陸大宮市上小瀬*0.5 筑西市門井*0.5</p> <p>福島県 1 天栄村下松本*0.8 白河市新白河*0.7 郡山市湖南町*0.5 栃木県 1 真岡市石島*1.2 下野市田中*1.1 小山市神鳥谷*1.0 市貝町市塙*1.0 益子町益子*0.8 宇都宮市明保野町*0.7 宇都宮市中里町*0.7 真岡市田町*0.6</p> <p>群馬県 1 沼田市利根町*0.5</p>				
95	22 17 56	<p>茨城県沖 36° 41.8' N 141° 01.1' E 19km M: 4.4 福島県 2 川内村上川内早渡*1.6 1 檜葉町北田*1.3 いわき市三和町*1.3 福島広野町下北迫苗代替*1.2 福島広野町下北迫大谷地原*1.2 川内村上川内小山平*1.1 いわき市小名浜*1.0 田村市大越町*1.0 いわき市錦町*1.0 田村市滝根町*1.0 いわき市平四ツ波*0.8 天栄村下松本*0.8 浅川町浅川*0.8 郡山市湖南町*0.7 浪江町幾世橋*0.7 白河市新白河*0.6 郡山市朝日*0.6 福島伊達市霊山町*0.5 大熊町野上*0.5 田村市船引町*0.5</p> <p>宮城県 1 岩沼市桜*0.7 茨城県 1 東海村東海*1.4 日立市助川小学校*1.3 笠間市中央*1.1 笠間市笠間*1.1 水戸市内原町*1.1 日立市十王町友部*1.0 笠間市石井*1.0 日立市役所*0.9 ひたちなか市南神敷台*0.9 高萩市安良川*0.9 土浦市常名*0.9 鉢田市汲上*0.7 水戸市千波町*0.7 ひたちなか市東石川*0.7 小美玉市小川*0.6 水戸市金町*0.6 石岡市柿岡*0.6 筑西市門井*0.6 ひたちなか市山ノ上町*0.6 笠間市下郷*0.6</p> <p>栃木県 1 小山市神鳥谷*0.9 真岡市石島*0.8 宇都宮市明保野町*0.6 益子町益子*0.5 埼玉県 1 加須市北川辺*0.8</p>				
96	22 21 53	<p>福島県中通り 37° 07.5' N 140° 28.6' E 8km M: 2.5 福島県 1 浅川町浅川*0.8</p>				
97	23 04 11	<p>岩手県沖 39° 09.3' N 142° 23.4' E 34km M: 3.7 岩手県 1 住田町世田米*0.9</p>				
98	23 20 37	<p>宮城県沖 38° 51.4' N 142° 03.1' E 46km M: 3.5 岩手県 1 一関市室根町*1.1 一関市千厩町*0.8 宮城県 1 気仙沼市笹か陣*0.8 気仙沼市唐桑町*0.8 南三陸町志津川*0.5</p>				
99	23 23 44	<p>茨城県南部 36° 20.1' N 139° 57.7' E 77km M: 3.7 茨城県 2 桜川市羽田*1.8 1 筑西市門井*1.3 笠間市中央*1.3 笠間市石井*1.2 笠間市下郷*1.1 常陸大宮市野口*1.1 城里町石塚*1.1 土浦市常名*1.0 土浦市下高津*1.0 石岡市柿岡*1.0 桜川市岩瀬*1.0 笠間市笠間*1.0 常陸大宮市山方*0.9 日立市助川小学校*0.9 日立市役所*0.9 小美玉市堅倉*0.8 かすみがうら市上土田*0.8 大子町池田*0.8 水戸市内原町*0.8 茨城古河市下大野*0.8 小美玉市小川*0.8 石岡市八郷*0.8 つくば市小荊*0.8 東海村東海*0.7 城里町阿波山*0.7 常陸大宮市北町*0.7 ひたちなか市東石川*0.7 小美玉市上玉里*0.7 常陸大宮市上小瀬*0.7 筑西市舟生*0.6 石岡市若宮*0.6 つくば市天王台*0.5 かすみがうら市大和田*0.5</p> <p>福島県 1 玉川村小高*1.0 白河市新白河*0.7 栃木県 1 宇都宮市明保野町*1.4 日光市中鉢石町*1.3 宇都宮市中里町*1.2 鹿沼市晃望台*1.2 高根沢町石末*1.2 小山市神鳥谷*1.1 益子町益子*1.1 栃木那珂川町馬頭*1.1 鹿沼市今宮町*1.0 芳賀町祖母井*1.0 大田原市湯津上*1.0 真岡市石島*0.9 下野市石橋*0.9 壬生町通町*0.8 栃木市岩舟町静*0.8 日光市鬼怒川温泉大原*0.7 日光市今市本町*0.7 佐野市中町*0.7 栃木那珂川町小川*0.6 那須烏山市中央*0.6 栃木市旭町*0.5</p> <p>群馬県 1 邑楽町中野*0.9 埼玉県 1 久喜市下早見*0.6 加須市大利根*0.5</p>				
100	24 15 02	<p>秋田県内陸北部 40° 01.7' N 140° 32.0' E 8km M: 2.9 秋田県 2 北秋田市阿仁銀山*1.6</p>				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
101	24 15 19	秋田県内陸北部 秋田県	40° 01.8' N	140° 31.8' E	9km	M: 3.9
		1 北秋田市阿仁水無*=1.2 北秋田市米内沢*=1.0 北秋田市新田目*=1.0 3 北秋田市阿仁銀山*=2.5 2 北秋田市阿仁水無*=2.1 仙北市西木町上桧木内*=2.1 北秋田市新田目*=1.9 大館市比内町扇田*=1.8 北秋田市米内沢*=1.8 1 大館市比内町味増内=1.2 大館市桜町*=1.2 鹿角市花輪*=1.2 上小阿仁村小沢田*=1.1 能代市二ツ井町上台*=1.0 北秋田市花園町=1.0 仙北市田沢湖田沢*=1.0 大館市中城*=0.8 大館市早口*=0.7 小坂町小坂砂森*=0.6 仙北市田沢湖生保内上清水*=0.6 能代市追分町*=0.6				
102	24 19 04	三陸沖 青森県 岩手県	39° 46.1' N	143° 33.4' E	24km	M: 4.8
		1 五戸町古館=0.5 1 盛岡市玉山区薮川*=1.0 宮古市田老*=0.9				
103	24 19 10	岩手県沖 岩手県	39° 22.8' N	142° 04.3' E	41km	M: 3.8
		2 一関市室根町*=1.6 1 住田町世田米*=1.4 釜石市中妻町*=1.3 大船渡市大船渡町=1.2 釜石市只越町=1.2 山田町大沢*=1.1 宮古市鎌ヶ崎=1.0 陸前高田市高田町*=0.8 一関市千厩町*=0.7 遠野市青笹町*=0.7 宮古市茂市*=0.6 一関市大東町=0.6 大船渡市猪川町=0.6 宮古市田老*=0.6 盛岡市玉山区洪民*=0.5 八幡平市田頭*=0.5 一関市東山町*=0.5 大船渡市盛町*=0.5 宮城県 2 気仙沼市唐桑町*=2.0 1 気仙沼市赤岩=1.0				
104	24 19 58	大阪府北部 京都府	34° 50.8' N	135° 42.9' E	12km	M: 3.6
		2 城陽市寺田*=2.4 久御山町田井*=2.4 宇治市宇治琵琶=2.3 井手町井手*=2.0 京都伏見区向島*=1.9 京田辺市田辺*=1.9 八幡市八幡*=1.9 大山崎町円明寺*=1.8 宇治田原町荒木*=1.7 精華町南稲八妻*=1.7 宇治市折居台*=1.7 1 木津川市山城町上狛*=1.3 京都西京区大枝*=1.2 京都伏見区醍醐*=1.2 笠置町笠置*=1.0 木津川市加茂町里*=1.0 亀岡市安町=0.9 長岡京市開田*=0.9 南山城村北大河原*=0.8 和束町釜塚*=0.8 京都伏見区久我*=0.7 亀岡市余部町*=0.6 木津川市木津*=0.6 京都山科区安朱川向町*=0.5 大阪府 2 高槻市立第2中学校*=2.3 高槻市消防本部*=2.2 島本町若山台*=2.1 高槻市桃園町=1.8 枚方市大垣内*=1.6 寝屋川市役所*=1.5 大阪東淀川区柴島*=1.5 1 四條畷市中野*=1.4 箕面市箕面=1.3 大阪東淀川区北江口*=1.2 茨木市東中条町*=1.1 豊能町余野*=1.1 箕面市粟生外院*=1.1 大阪都島区都島本通*=1.0 交野市私部*=1.0 大阪平野区平野南*=1.0 吹田市内本町*=0.8 守口市京阪本通*=0.8 大阪旭区大宮*=0.8 摂津市三島*=0.8 大阪北区茶屋町*=0.8 大東市新町*=0.7 門真市中町*=0.6 池田市城南*=0.5 能勢町今西*=0.5 松原市阿保*=0.5 奈良県 2 奈良市半田開町=1.5 1 大和郡山形市北郡山町*=1.4 奈良市月ヶ瀬尾山*=1.1 奈良市二条大路南*=1.0 奈良川西町結崎*=1.0 生駒市東新町*=0.9 桜井市初瀬=0.8 宇陀市大宇陀迫間*=0.8 平群町吉新*=0.7 広陵町南郷*=0.7 天理市川原城町*=0.7 三郷町勢野西*=0.6 斑鳩町法隆寺西*=0.6 宇陀市榛原下井足*=0.6 三宅町伴堂*=0.5 田原本町役場*=0.5 曾爾村今井*=0.5 宇陀市菟田野松井*=0.5 滋賀県 1 大津市南郷*=1.0 大津市国分*=0.5 草津市草津*=0.5 兵庫県 1 三田市下里*=0.7 西宮市宮前町=0.5				
105	25 05 05	宮城県沖 岩手県	38° 38.2' N	141° 48.5' E	50km	M: 4.1
		3 一関市室根町*=2.5 2 住田町世田米*=2.1 一関市藤沢町*=2.1 一関市千厩町*=2.0 大船渡市大船渡町=1.9 奥州市衣川区*=1.8 陸前高田市高田町*=1.7 一関市大東町=1.6 釜石市中妻町*=1.6 一関市東山町*=1.6 矢巾町南矢幅*=1.6 北上市相去町*=1.5 1 宮古市区界*=1.4 花巻市東和町*=1.4 奥州市前沢区*=1.3 大船渡市猪川町=1.3 遠野市青笹町*=1.3 平泉町平泉*=1.3 北上市柳原町=1.2 奥州市江刺区*=1.2 一関市花泉町*=1.1 釜石市只越町=1.1 盛岡市玉山区薮川*=1.1 花巻市大迫町=1.1 奥州市胆沢区*=1.1 遠野市宮守町*=1.1 一関市竹山町*=1.1 山田町八幡町=1.0 山田町大沢*=0.9 盛岡市山王町=0.9 盛岡市馬場町*=0.9 宮古市田老*=0.9 盛岡市玉山区洪民*=0.9 大船渡市盛町*=0.9 金ヶ崎町西根*=0.9 花巻市石鳥谷町*=0.8 八幡平市田頭*=0.8 久慈市枝成沢=0.8 花巻市大迫総合支所*=0.7 宮古市川井*=0.7 宮古市茂市*=0.6 奥州市水沢区佐倉河*=0.6 一関市川崎町*=0.6 宮古市鎌ヶ崎=0.6 宮古市五月町*=0.5 宮城県 2 石巻市桃生町*=2.1 登米市石越町*=2.0 石巻市北上町*=2.0 大崎市古川三日町=1.9 大崎市古川大崎=1.9 涌谷町新町裏=1.9 登米市東和町*=1.7 栗原市若柳*=1.7 登米市豊里町*=1.6 大崎市古川北町*=1.5 栗原市栗駒=1.5 1 栗原市志波姫*=1.4 登米市中田町=1.4 大崎市田尻*=1.4 色麻町四竈*=1.2 栗原市築館*=1.2 栗原市瀬峰*=1.2 登米市迫町*=1.2 南三陸町志津川=1.2 宮城美里町北浦*=1.2 大崎市松山*=1.2 栗原市一迫*=1.1 栗原市高清水*=1.1 栗原市金成*=1.1 気仙沼市笹が陣*=1.1 大崎市鳴子*=1.1 登米市南方町*=1.0 気仙沼市唐桑町*=1.0 大崎市鹿島台*=1.0 気仙沼市赤岩=1.0 石巻市前谷地*=1.0 石巻市雄勝町*=1.0 登米市米山町*=0.9 栗原市鶯沢*=0.9 栗原市花山*=0.9 宮城加美町中新田*=0.9 松島町高城=0.9 岩沼市桜*=0.8 仙台宮城野区苦竹*=0.8 石巻市相野谷*=0.8 登米市津山町*=0.8 東松島市小野*=0.8 女川町女川浜*=0.8 石巻市泉町=0.7 石巻市大瓜=0.7 石巻市大街道南*=0.7 宮城川崎町前川*=0.7 仙台青葉区大倉=0.7 仙台青葉区作並*=0.7 宮城美里町木間塚*=0.7 登米市登米町*=0.6 南三陸町歌津*=0.6 石巻市鮎川浜*=0.6 気仙沼市本吉町西川内=0.5 青森県 1 階上町道仏*=1.2				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
106	25 05 59	神奈川県西部 神奈川県 1 箱根町湯本*0.9	35° 14.1' N	139° 01.6' E	2km	M: 1.9
107	25 06 07	青森県東方沖 青森県 1 階上町道仏*1.3 八戸市湊町=1.1 八戸市内丸*0.9 八戸市南郷*0.6 五戸町古館=0.5	40° 54.0' N	142° 07.4' E	52km	M: 3.7
108	25 23 58	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市一番丁*0.7	34° 15.5' N	135° 07.5' E	7km	M: 2.2
109	26 03 13	福岡県筑後地方 福岡県 3 みやま市高田町*2.7 2 大牟田市昭和町*1.8 柳川市三橋町*1.8 柳川市大和町*1.6 みやま市山川町*1.6 1 久留米市三潞町*1.4 柳川市本町*1.4 みやま市瀬高町*1.3 久留米市城島町*1.2 大木町八町牟田*1.1 大牟田市有明町*1.0 大川市酒見*1.0 大牟田市笹林=0.9 筑後市山ノ井*0.8 筑前町下高場=0.8 久留米市津福本町=0.8 福岡空港=0.6 福岡早良区板屋=0.6 福岡那珂川町西隈*0.5 筑前町篠隈*0.5 福岡城南区神松寺*0.5 熊本県 2 南関町関町*1.6 1 和水町板橋*1.4 荒尾市宮内出目*1.3 山鹿市鹿北町*1.3 山鹿市菊鹿町*1.0 玉名市築地=0.8 和水町江田*0.8 山鹿市老人福祉センター*0.7 長洲町長洲*0.6 佐賀県 1 みやき町三根*1.2 佐賀市駅前中央=0.9 佐賀市川副*0.9 神埼市千代田*0.9 佐賀市栄町*0.8 上峰町坊所*0.8 太良町多良=0.8 吉野ヶ里町三田川*0.6 みやき町北茂安*0.5 長崎県 1 雲仙市国見町=0.9 島原市有明町*0.6	33° 05.4' N	130° 25.8' E	10km	M: 3.4
110	26 07 31	福島県沖 福島県 1 いわき市錦町*1.3 白河市新白河*1.2 玉川村小高*1.1 川内村下川内=1.1 田村市大越町*1.0 小野町中通*0.9 鏡石町不時沼*0.9 田村市都路町*0.8 小野町小野新町*0.8 田村市船引町=0.8 天栄村下松本*0.8 いわき市小名浜=0.7 浅川町浅川*0.7 須賀川市八幡山*0.7 郡山市開成*0.7 いわき市三和町=0.6 いわき市平梅本*0.6 白河市郭内=0.5 郡山市朝日=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*0.9 日立市十王町友部*0.7 常陸大宮市上小瀬*0.7	36° 56.2' N	141° 07.5' E	51km	M: 3.9
111	26 18 49	苫小牧沖 北海道 2 幕別町忠類錦町*2.3 浦幌町桜町*2.2 浦河町潮見=2.0 鹿部町宮浜*2.0 新冠町北星町*2.0 むかわ町松風*1.9 日高地方日高町門別*1.9 函館市新浜町*1.9 帯広市東4条=1.8 むかわ町穂別*1.7 帯広市東6条*1.7 新ひだか町静内山手町=1.7 十勝池田町西1条*1.7 室蘭市寿町*1.7 本別町向陽町*1.6 函館市泊町*1.6 本別町北2丁目=1.5 浦河町築地*1.5 足寄町南1条*1.5 根室市厚床*1.5 厚真町鹿沼=1.5 1 千歳市若草*1.4 苫小牧市旭町*1.4 安平町早来北進*1.4 新ひだか町静内御幸町*1.4 新ひだか町三石旭町*1.4 十勝大樹町生花*1.4 胆振伊達市梅本=1.3 浦河町野深=1.3 音更町元町*1.3 更別村更別*1.3 平取町振内*1.3 釧路市音別町中園*1.3 南幌町栄町*1.3 十勝大樹町東本通*1.2 函館市川汲町*1.2 広尾町並木通=1.2 登別市桜木町*1.2 中札内村東2条*1.2 苫小牧市末広町=1.2 新得町2条*1.1 広尾町白樺通=1.1 釧路市阿寒町中央*1.1 様似町栄町*1.1 白糠町西1条*1.1 別海町西春別*1.1 士幌町士幌*1.1 豊頃町茂岩本町*1.1 標茶町塘路*1.0 芽室町東2条*1.0 安平町追分柏が丘*1.0 厚真町京町*1.0 江別市緑町*1.0 十勝清水町南4条=1.0 幕別町本町*0.9 函館市尾札部町=0.9 新千歳空港=0.9 新ひだか町静内御園=0.9 登別市鉾山=0.9 平取町本町*0.8 恵庭市京町*0.8 札幌東区元町*0.8 上士幌町上士幌*0.8 幕別町忠類明和=0.8 別海町常盤=0.8 千歳市北栄=0.8 別海町本別海*0.8 根室市瑠瑠瑠*0.8 足寄町上蝶湾=0.7 札幌白石区北郷*0.7 えりも町目黒*0.7 根室市落石東*0.7 白老町大町=0.6 弟子屈町弟子屈*0.6 千歳市支笏湖温泉*0.6 えりも町えりも岬*0.6 長沼町中央*0.6 江別市高砂町=0.6 標津町北2条*0.6 胆振伊達市大滝区本町*0.6 鶴居村鶴居東*0.5 弟子屈町美里=0.5 壮瞥町滝之町*0.5 月形町円山公園*0.5 津別町幸町*0.5 浜中町霧多布*0.5 標茶町川上*0.5 上士幌町清水谷*0.5 青森県 2 東通村砂子又沢内*1.6 階上町道仏*1.5 1 むつ市大畑町中島*1.4 大間町大間*1.3 佐井村長後*1.1 野辺地町田狭沢*1.0 むつ市金谷*1.0 東通村砂子又蒲谷地=1.0 東通村白糠*1.0 佐井村佐井*1.0 むつ市金曲=0.9 八戸市湊町=0.8 むつ市川内町*0.7 八戸市南郷*0.7 野辺地町野辺地*0.7 青森南部町平*0.7 東通村尻屋*0.6 横浜町林ノ脇*0.6 五戸町古館=0.6 むつ市大畑町奥薬研=0.5 八戸市内丸*0.5 岩手県 1 軽米町軽米*0.5	42° 12.7' N	141° 57.4' E	94km	M: 4.5
112	26 20 22	千葉県東方沖 茨城県 2 茨城鹿嶋市鉢形=1.9 神栖市波崎*1.8 神栖市溝口*1.7 茨城鹿嶋市宮中*1.6 1 潮来市辻*1.4 鉾田市汲上*1.3 笠間市石井*1.1 稲敷市須賀津*1.1 土浦市常名=1.0 桜川市羽田*0.9 日立市助川小学校*0.9 石岡市柿岡=0.9 潮来市堀之内=0.9 水戸市内原町*0.9 稲敷市江戸崎町*0.9 ひたちなか市南神敷町*0.9 稲敷市結佐*0.8 鉾田市鉾田=0.8 鉾田市造谷*0.8 筑西市門井*0.8 かすみがうら市大和田*0.7 行方市山田*0.7 桜川市岩瀬*0.7 笠間市笠間*0.7 笠間市下郷*0.6 稲敷市柴崎*0.6 石岡市岩宮*0.6 取手市寺田*0.6 筑西市海老ヶ島*0.6 つくば市小茎*0.6 水戸市金町=0.6 土浦市下高津*0.6 美浦村受領*0.6 小美玉市堅倉*0.5 かすみがうら市上土田*0.5 水戸市千波町*0.5 つくば市天王台*0.5 行方市麻生*0.5 千葉県 2 旭市南堀之内*2.0 銚子市川口町=1.8 旭市萩園*1.8 旭市高生*1.6 銚子市若宮町*1.6 香取市仁良*1.6 旭市二*1.5 匝瑳市八日市場*1.5 東金市日吉台*1.5 1 多古町多古=1.3 東庄町笹川*1.3 山武市埴谷*1.3 横芝光町宮川*1.2 匝瑳市今泉*1.2	35° 47.3' N	140° 53.5' E	17km	M: 4.0

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		成田市花崎町=1.2 山武市蓮沼ハ*=1.1 香取市役所*=1.1 山武市松尾町富士見台=1.0 芝山町小池*=1.0 香取市羽根川*=1.0 市原市姉崎*=1.0 山武市松尾町五反田*=0.9 千葉若葉区小倉台*=0.9 成田市松子*=0.9 山武市殿台*=0.8 香取市佐原平田=0.8 一宮町一宮=0.8 香取市佐原諏訪台*=0.7 野田市鶴奉*=0.7 横芝光町栗山*=0.7 東金市東新宿=0.7 白井市復*=0.7 東金市東岩崎*=0.5 八千代市大和田新田*=0.5				
113	26 21 26	山梨県東部・富士五湖 山梨県 1 富士河口湖町船津=0.7 大月市御大刀*=0.5	35° 32.5' N	139° 00.1' E	20km	M: 2.6
114	27 00 44	沖縄本島近海 鹿児島県 1 知名町瀬利覚=0.8	27° 27.1' N	128° 38.9' E	43km	M: 3.2
115	27 12 54	茨城県沖 茨城県 1 ひたちなか市南神敷台*=1.1 茨城鹿嶋市宮中*=1.0 鉾田市造谷*=0.9 鉾田市汲上*=0.9 日立市助川小学校*=0.8 潮来市堀之内=0.8 鉾田市鉾田=0.8 行方市麻生*=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 稲敷市須賀津*=0.5 稲敷市江戸崎甲*=0.5 千葉県 1 香取市仁良*=0.9 香取市佐原平田=0.6 香取市役所*=0.6	36° 08.3' N	140° 58.0' E	37km	M: 3.4
116	27 20 39	秋田県内陸南部 秋田県 1 大仙市神宮寺*=0.8	39° 29.8' N	140° 24.0' E	10km	M: 2.2
117	28 05 39	熊本県熊本地方 熊本県 1 菊池市旭志*=1.3	32° 58.1' N	130° 54.7' E	5km	M: 2.3
118	28 09 48	千葉県西北部 茨城県 1 坂東市岩井=0.6 埼玉県 1 草加市高砂*=1.2 狭山市入間川*=0.6 千葉県 1 千葉中央区都町*=1.3 千葉花見川区花島町*=1.3 千葉緑区おゆみ野*=1.1 千葉中央区中央港=1.0 長南町長南*=1.0 千葉稲毛区園生町*=0.9 船橋市湊町*=0.8 野田市鶴奉*=0.8 富津市下飯野*=0.7 千葉若葉区小倉台*=0.7 千葉美浜区ひび野=0.7 八千代市大和田新田*=0.7 市原市姉崎*=0.6 君津市久留里市場*=0.5 東京都 1 東京渋谷区本町*=1.2 東京北区西ヶ原*=1.1 小平市小川町*=1.1 東京江戸川区中央=1.0 調布市西つじヶ丘*=0.9 東京江東区塩浜*=0.9 東京練馬区豊玉北*=0.9 東京江戸川区船堀*=0.9 東京江戸川区鹿骨*=0.8 東京新宿区百人町*=0.8 東京荒川区東尾久*=0.8 東京足立区伊興*=0.8 東京世田谷区三軒茶屋*=0.8 八王子市堀之内*=0.7 東京中野区中野*=0.7 西東京市中町*=0.7 東京千代田区大手町=0.7 東京文京区スポーツセンタ*=0.7 東京品川区北品川*=0.7 東京渋谷区宇田川町*=0.7 東京江東区越中島*=0.6 国分寺市戸倉=0.6 東京北区赤羽南*=0.6 東京千代田区富士見*=0.6 東京品川区平塚*=0.6 東京目黒区中央町*=0.6 東京中央区勝どき*=0.6 東京港区海岸=0.6 三鷹市野崎*=0.6 東京大田区本羽田*=0.5 東京新宿区上落合*=0.5 東京世田谷区成城*=0.5 狛江市和泉本町*=0.5 東大和市中央*=0.5 東京葛飾区立石*=0.5 神奈川県 1 川崎中原区小杉町*=1.1 横浜神奈川区神大寺*=1.0 横浜港北区日吉本町*=1.0 横浜神奈川区広台太田町*=0.9 横浜鶴見区末広町*=0.8 横浜青葉区市ヶ尾町*=0.8 三浦市城山町*=0.8 川崎川崎区宮前町*=0.7 横須賀市光の丘=0.7 横浜中区山手町=0.5 大和市下鶴間*=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=0.5	35° 39.3' N	140° 05.8' E	67km	M: 3.6
119	28 10 40	茨城県南部 茨城県 1 土浦市常名=1.1 茨城町小堤*=1.0 つくば市研究学園*=0.8 石岡市若宮*=0.8 つくば市天王台*=0.7 土浦市下高津*=0.7 水戸市内原町*=0.7 土浦市藤沢*=0.6 小美玉市上玉里*=0.6 取手市寺田*=0.5 かすみがうら市上土田*=0.5 栃木県 1 栃木市旭町=1.0 千葉県 1 野田市鶴奉*=0.7	36° 02.4' N	140° 07.4' E	50km	M: 3.1
120	28 12 04	千葉県東方沖 茨城県 2 茨城鹿嶋市鉢形=1.9 神栖市波崎*=1.9 神栖市溝口*=1.7 茨城鹿嶋市宮中*=1.7 稲敷市須賀津*=1.5 1 土浦市常名=1.3 潮来市辻*=1.3 稲敷市江戸崎甲*=1.3 笠間市石井*=1.3 鉾田市汲上*=1.2 石岡市柿岡=1.1 潮来市堀之内=1.1 水戸市内原町*=1.1 取手市寺田*=1.0 筑西市門井*=1.0 土浦市下高津*=0.9 かすみがうら市大和田*=0.9 行方市麻生*=0.9 鉾田市鉾田=0.9 鉾田市造谷*=0.9 ひたちなか市南神敷台*=0.9 稲敷市役所*=0.9 稲敷市柴崎*=0.9 稲敷市結佐*=0.8 笠間市笠間*=0.8 日立市助川小学校*=0.8 行方市山田*=0.8 那珂市福田*=0.8 桜川市羽田*=0.8 龍ヶ崎市役所*=0.8 小美玉市堅倉*=0.8 牛久市城中町*=0.7 桜川市岩瀬*=0.7 つくば市小笠*=0.6 笠間市下郷*=0.6 つくば市天王台*=0.6 美浦村受領*=0.6 石岡市若宮*=0.5 水戸市千波町*=0.5 かすみがうら市上土田*=0.5 水戸市金町=0.5 千葉県 2 旭市南堀之内*=1.7 旭市萩園*=1.7 香取市仁良*=1.6 銚子市川口町=1.5 東庄町笹川*=1.5 成田市花崎町=1.5 1 銚子市若宮町*=1.4 旭市ニ*=1.3 旭市高生*=1.2 多古町多古=1.2 横芝光町宮川*=1.2 香取市役所*=1.1 東金市日吉台*=1.1 山武市蓮沼ハ*=1.1 白井市復*=1.1 八千代市大和田新田*=1.0 匝瑳市八日市場ハ*=0.9 匝瑳市今泉*=0.9 香取市羽根川*=0.9 山武市埴谷*=0.9 千葉若葉区小倉台*=0.9 野田市鶴奉*=0.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.9 柴町安食台*=0.9 山武市松尾町富士見台=0.8 芝山町小池*=0.8 香取市佐原平田=0.8 香取市佐原諏訪台*=0.8 長南町長南*=0.7 市原市姉崎*=0.7 成田市松子*=0.6 山武市松尾町五反田*=0.6 一宮町一宮=0.5 東金市東新宿=0.5 柏市旭町=0.5 柏市大島田*=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.5	35° 47.9' N	140° 52.5' E	15km	M: 4.0

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
121	28 13 10	宮城県沖 宮城県	38° 10.0' N	141° 12.8' E	65km	M: 3.4 1 岩沼市桜*=0.9 名取市増田*=0.8 亙理町下小路*=0.8 塩竈市旭町*=0.6 多賀城市中央*=0.5
122	29 01 33	岩手県沖 岩手県	39° 37.9' N	142° 06.3' E	48km	M: 3.9 2 山田町大沢*=2.2 山田町八幡町=2.0 宮古市鎌ヶ崎=1.9 宮古市田老*=1.9 宮古市五月町*=1.8 宮古市川井*=1.7 1 宮古市茂市*=1.4 釜石市中妻町*=1.3 住田町世田米*=1.2 花巻市大迫町=1.2 宮古市区界*=1.1 田野畑村役場*=1.1 釜石市只越町=1.1 田野畑村田野畑=1.0 宮古市長沢=1.0 花巻市大迫総合支所*=1.0 遠野市宮守町*=1.0 葛巻町葛巻元木=0.8 遠野市青笹町*=0.8 矢巾町南矢幅*=0.8 一関市室根町*=0.8 普代村銅屋*=0.8 岩泉町岩泉*=0.7 盛岡市山王町=0.7 盛岡市玉山区薮川*=0.7 八幡平市田頭*=0.7 北上市相去町*=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 久慈市枝成沢=0.6 盛岡市玉山区洪民*=0.6 大槌町小鎚*=0.6 盛岡市馬場町*=0.5 一関市大東町=0.5 一関市千厩町*=0.5 軽米町軽米*=0.5 岩手洋野町大野*=0.5
		青森県				1 階上町道仏*=1.0 青森南部町苔米地*=0.9 八戸市内丸*=0.7 八戸市湊町=0.7 五戸町古舘=0.5
		宮城県				1 気仙沼市赤岩=0.9 気仙沼市唐桑町*=0.6
123	29 10 21	岐阜県飛騨地方 岐阜県 長野県	36° 03.4' N	137° 33.8' E	8km	M: 3.1 2 高山市高根町*=2.0 1 木曾町開田高原西野*=1.2 木曾町新開*=0.9 木曾町日義*=0.8
124	29 13 24	種子島南東沖 鹿児島県	30° 06.1' N	131° 21.8' E	26km	M: 4.2 1 南種子町西之*=0.9 南種子町中之上*=0.9 中種子町野間*=0.7
125	29 17 46	三陸沖 岩手県	40° 17.8' N	143° 42.9' E	9km	M: 5.2 1 盛岡市玉山区薮川*=0.9
126	29 20 04	長野県南部 長野県	35° 55.8' N	137° 38.8' E	7km	M: 2.5 1 木曾町新開*=1.4 木曾町開田高原西野*=0.8 木曾町三岳*=0.7
127	29 20 35	三陸沖 岩手県	39° 27.8' N	143° 40.1' E	39km	M: 4.7 1 盛岡市玉山区薮川*=0.9 宮古市田老*=0.8 盛岡市山王町=0.6 山田町大沢*=0.6
128	30 01 50	青森県東方沖 青森県	40° 48.1' N	141° 29.6' E	91km	M: 3.0 1 階上町道仏*=1.0 八戸市湊町=0.6 東北町塔ノ沢山*=0.5
129	30 11 53	宮城県沖 岩手県	38° 28.5' N	141° 54.7' E	61km	M: 3.8 2 一関市千厩町*=1.7 1 一関市藤沢町*=1.3 一関市室根町*=1.2 一関市大東町=0.6 陸前高田市高田町*=0.5 住田町世田米*=0.5
		宮城県				2 南三陸町志津川=1.5 1 仙台宮城野区苦竹*=1.0 女川町女川浜*=1.0 気仙沼市唐桑町*=0.9 名取市増田*=0.9 石巻市桃生町*=0.8 松島町高城=0.8 大崎市田尻*=0.8 岩沼市桜*=0.7 気仙沼市笹が陣*=0.7 石巻市北上町*=0.7 涌谷町新町裏=0.6 石巻市大街道南*=0.6 南三陸町歌津*=0.5 登米市中田町=0.5 登米市東和町*=0.5
130	30 21 35	与那国島近海 沖縄県	24° 22.6' N	122° 58.8' E	49km	M: 3.6 1 与那国町久部良=1.2 与那国町役場*=1.0

●付録 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数 ＜平成 26 年（2014 年）10 月～平成 27 年（2015 年）9 月＞

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成 26 年（2014 年）											
10 月	92	35	10	5						142	
11 月	177	67	16	5	1		1			267	22 日 長野県北部（震度 6 弱） 地震活動（震度 6 弱：1 回、震度 5 弱：1 回、 震度 4：2 回、震度 3：9 回、震度 2：25 回、 震度 1：67 回）
12 月	111	38	13	4						166	
平成 27 年（2015 年）											
1 月	94	39	13	3						149	
2 月	100	42	8	3		2				155	6 日 徳島県南部（震度 5 強） 17 日 岩手県沖（震度 5 強） 三陸沖の地震活動 （震度 4：1 回、震度 3：1 回、震度 2：5 回、 震度 1：5 回）
3 月	90	33	17	2						142	
4 月	85	38	8	2						133	
5 月	108	37	10	2	2	2				161	13 日 宮城県沖（震度 5 強） 22 日 奄美大島近海（震度 5 弱） 25 日 埼玉県北部（震度 5 弱） 30 日 小笠原諸島西方沖（震度 5 強） 神奈川県西部の地震活動 （震度 2：2 回、震度 1：19 回）
6 月	107	38	10	4	1					160	4 日 網走地方（震度 5 弱） 神奈川県西部の地震活動 （震度 3：2 回、震度 2：4 回、震度 1：10 回）
7 月	84	36	11	2	1	1				135	10 日 岩手県内陸北部（震度 5 弱） 13 日 大分県南部（震度 5 強） 八丈島近海の地震活動 （震度 2：3 回、震度 1：8 回）
8 月	97	41	23	4						165	
9 月	80	37	11	1	1					130	12 日 東京湾（震度 5 弱）
平成 27 年計	845	341	111	23	5	5	0	0	0	1330	
過去 1 年計	1225	481	150	37	6	5	1	0	0	1905	（平成 26 年 10 月～平成 27 年 9 月）

注）「記事」欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

●付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M)別の月別地震回数 ＜平成26年（2014年）10月～平成27年（2015年）9月＞

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成26年（2014年）								
10月	407	54	10	1		472	65	11日 青森県東方沖 (M6.1)
11月	428	72	9	1		510	82	22日 長野県北部 (M6.7)
12月	369	79	7	2		457	88	11日 石垣島北西沖 (M6.1) 20日 福島県沖 (M6.0)
平成27年（2015年）								
1月	377	82	10			469	92	
2月	461	93	10	5		569	108	14日 台湾付近 (M6.2) 17日 三陸沖 (M6.9) 20日 三陸沖 (M6.5) 21日 三陸沖 (M6.4) 25日 鳥島近海 (M6.1)
3月	406	73	6			485	79	
4月	371	66	11	3		450	81	20日 与那国島近海 (M6.8) 20日 与那国島近海 (M6.0) 20日 与那国島近海 (M6.4)
5月	360	70	10	3	1	444	84	11日 鳥島近海 (M6.3) 13日 宮城県沖 (M6.8) 30日 小笠原諸島西方沖 (M8.1) 31日 鳥島近海 (M6.6)
6月	359	78	13	1		451	92	23日 小笠原諸島西方沖 (M6.8)
7月	363	85	5	1		454	91	7日 北海道東方沖 (M6.3)
8月	375	64	15	1		455	80	17日 硫黄島近海 (M6.1)
9月	335	92	11	1		439	104	2日 鳥島近海 (M6.1)
平成27年計	3407	703	91	15	1	4217	810	
過去1年計	4611	908	117	19	1	5656	1045	(平成26年10月～平成27年9月)

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

● 付録 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 27 年 9 月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した地震の回数は 81 回であった。

震度 5 弱以上を観測し、緊急地震速報（警報）を発表しなかった地震

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度
平成 27 年 09 月 12 日 05 時 49 分	東京湾	5.2	5 弱	4

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（予報）の最終報で発表した予想震度の最大値を示す。

平成 19 年 10 月～平成 27 年 9 月に緊急地震速報を発表した地震の月別回数

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 19 年 (2007 年)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0 (48)	0 (33)	0 (39)	0 (120)
平成 20 年 (2008 年)	0 (35)	0 (41)	0 (48)	1 (42)	1 (70)	3 (75)	2 (63)	0 (47)	1 (58)	0 (46)	1 (40)	0 (57)	9 (622)
平成 21 年 (2009 年)	0 (44)	0 (39)	0 (34)	0 (34)	0 (24)	0 (54)	0 (36)	2 (65)	0 (47)	1 (44)	0 (39)	0 (47)	3 (507)
平成 22 年 (2010 年)	0 (53)	1 (44)	1 (50)	0 (36)	0 (27)	0 (35)	0 (47)	0 (51)	1 (40)	1 (50)	0 (40)	1 (34)	5 (507)
平成 23 年 (2011 年)	0 (50)	0 (74)	45 (1191)	26 (770)	5 (425)	5 (304)	5 (248)	3 (239)	4 (188)	1 (163)	2 (135)	1 (136)	97 (3923)
平成 24 年 (2012 年)	2 (149)	3 (141)	3 (142)	2 (128)	1 (129)	3 (118)	0 (102)	1 (107)	0 (70)	0 (109)	0 (77)	1 (134)	16 (1406)
平成 25 年 (2013 年)	0 (81)	2 (99)	0 (53)	3 (103)	0 (91)	0 (83)	0 (102)	2 (97)	1 (61)	0 (80)	0 (93)	1 (67)	9 (1010)
平成 26 年 (2014 年)	0 (70)	0 (70)	1 (68)	0 (62)	0 (53)	0 (57)	2 (97)	1 (96)	1 (68)	0 (84)	1 (87)	0 (75)	6 (887)
平成 27 年 (2015 年)	0 (67)	1 (88)	0 (90)	1 (77)	3 (71)	0 (84)	1 (74)	0 (88)	0 (81)	/	/	/	6 (720)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、() 内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び国立研究開発法人海洋研究開発機構の地震観測データを利用している。

● 付録 5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

平成 27 年 9 月に長周期地震動階級* 1 以上を観測した地震はなかった。（平成 27 年 8 月は 0 回）

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	2	0	0	1	1	1	0	0	10
平成 26 年 (2014 年)	0	0	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	9
平成 27 年 (2015 年)	0	1	0	1	2	0	2	0	0				6

平成 25 年 3 月～平成 27 年 9 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数
（平成 25 年 3 月 28 日の長周期地震動に関する観測情報（試行）**の提供開始以降）

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 12 月号「付録 5. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

※※ 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 4 月号「特集 3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。

● 正誤表

平成 27 年 8 月号の地震・火山月報（防災編）に誤りがありましたので、正誤表を掲載します。

平成 27 年 8 月 地震・火山月報（防災編）

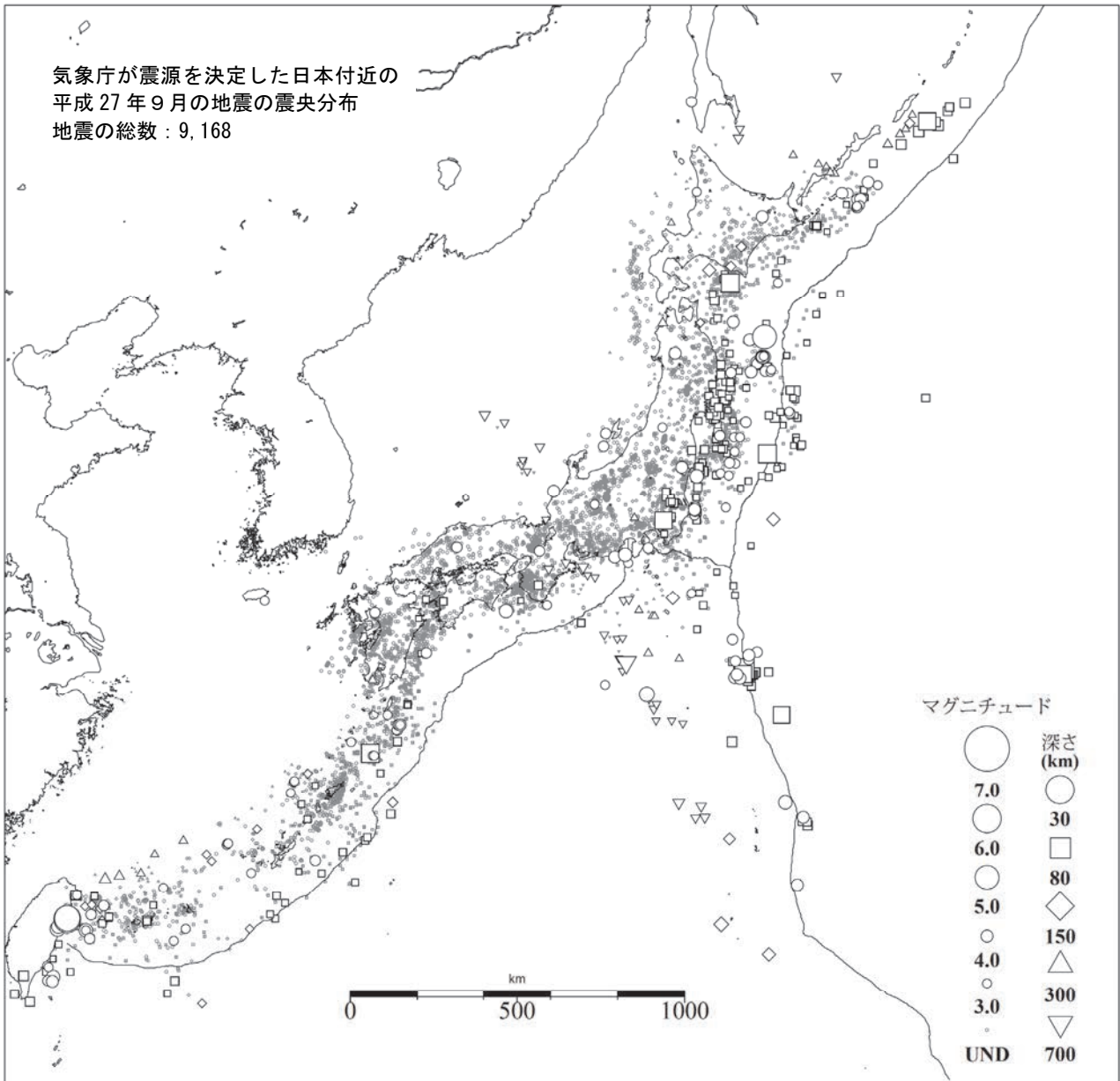
22 ページ

その他の地域の地震活動

・ 本文左段 3 行目の記述（下線部分を修正）

修正後	17 日 23 時 42 分に硫黄島近海で M6.1 の地震（図 10 中の a）が発生した。 国内で震度 1 以上を観測した <u>地点</u> はなかった（p. 23 参照）。
修正前	17 日 23 時 42 分に硫黄島近海で M6.1 の地震（図 10 中の a）が発生した。 国内で震度 1 以上を観測した <u>地震</u> はなかった（p. 23 参照）。

気象庁が震源を決定した日本付近の
平成 27 年 9 月の地震の震央分布
地震の総数 : 9,168



(M3.0以上の地震については白抜きで示す)